お客様メモ：サービスを依頼されるとき、お役にたちます。

購　入　店　名：　　　　　　　　　電話

ご購入年月日：　平成　　　年　　　月　　　日

ーメモー

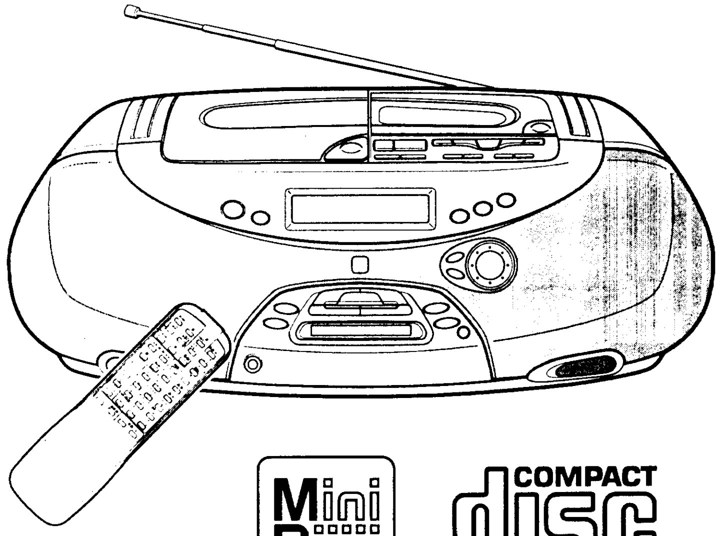
1ADGR1P0535-F

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2−15−12
TEL(03)3502−2111

HITACHI
── 品質を大切にする〈技術の日立〉──

# MD／CDパーソナルシステム
# CX-MD100形
## 取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは"いつでも見られる所"に「保証書」、「ご相談窓口一覧表」とともに大切に保管してください。



この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.

はじめに
準　備
聞きかた
録音する（テープに録音する）（MDに録音する）
録音したMDを編集する
他の機器を接続して使う
タイマーの使いかた
いろいろな機能
その他

● 詳しいもくじは1ページをごらんください。

# もくじ


## はじめに ........ 2~9
- 主な特長 ........ 2
- 安全上のご注意(必ずお読みください。) ........ 3~9

## 準備 ........ 10~20
- 各部のなまえ ........ 10~16
- お使いになる前に ........ 17
- 電源について ........ 18
- 時計の合わせかた ........ 19~20

## 聞きかた ........ 21~44
- 共通な操作のしかた ........ 21~24
- CD·MDを聞く ........ 25~32
- テープを聞く ........ 33~36
- ラジオ·テレビ音声を聞く ........ 37~44

## テープに録音する ........ 45~59
- テープに録音をする前に ........ 45~46
- テープに録音する [CD]➡[テープ] ........ 47~59
  - ■ オートエディット(自動編集)録音 ........ 47~48
  - ■ バックスキップエディット録音 ........ 49~50
  - ■ マニュアルエディット録音 ........ 51~52
  - ■ プログラムエディット録音 ........ 53~54
  - ■ コンティニュアスエディット(連続編集)録音 ........ 55~57
  - ■ マニュアル(手動)録音 ........ 58~59
- テープに録音する [MD]➡[テープ] ........ 58~59
- テープに録音する [ラジオ·テレビ音声]➡[テープ] ........ 58~59

## MDに録音する ........ 60~72
- MDに録音をする前に ........ 60~62
- MDに録音する [CD]➡[MD] ........ 63~71
  - ■ オートエディット(自動編集)録音 ........ 63~64
  - ■ タイムエディット録音 ........ 65~66
  - ■ CD ▶ MD シンクロ録音 ........ 67~68
  - ■ マニュアル(手動)録音 ........ 69~71
- MDに録音する [テープ]➡[MD] ........ 69~71
- MDに録音する [ラジオ·テレビ音声]➡[MD] ........ 69~71
- MD録音をやり直す ........ 72

## 録音したMDを編集する ........ 73~82
- 曲を移動する(MOVE機能) ........ 74
- 曲を分ける(DIVIDE機能) ........ 75
- 曲と曲をつなぐ(COMBINE機能) ........ 75
- 曲を1曲ずつ消す(ERASE機能) ........ 76
- すべての曲を消す(ALL ERASE機能) ........ 76
- ディスク名や曲名をつける前に ........ 77~78
- ディスク名をつける(DISC NAME機能) ........ 79~80
- 曲名をつける(TRACK NAME機能) ........ 81
- 登録しているディスク名と曲名を修正する ........ 82
- 登録しているディスク名と曲名を消去する ........ 82
- 登録しているディスク名とすべての曲名を消去する ........ 82

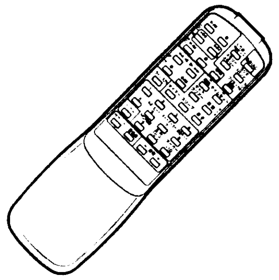
## 他の機器を接続して使う ........ 83~84

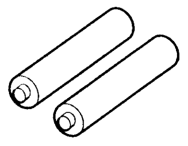
## タイマーの使いかた ........ 85~92
- タイマーで音楽を聞く ........ 85~87
- 留守録音をする ........ 88~90
- 音楽を聞きながら眠る(スリープ) ........ 91~92

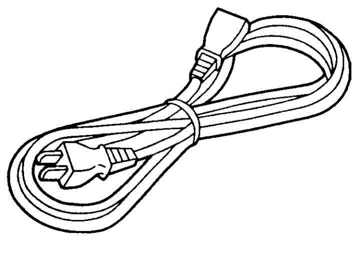
## いろいろな機能 ........ 93~98
- リモコンでできる操作 ........ 93~95
- その他の機能 ........ 96~98

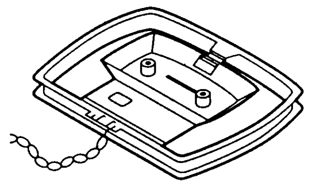
## その他 ........ 99~106
- ご参考に(MDについて) ........ 99~100
- CD·MD·テープの取扱いと保管 ........ 101~103
- 故障?その前にちょっとこれを! ........ 104~106
- 保証とアフターサービス ........ 107
- 仕様 ........ 108


### 付属品をお確かめください


リモコン………1
(RB-MD100)


リモコン用
単3形乾電池………2


電源コード………1


AMループアンテナ………1



# 主な特長



## 多機能MDレコーダー
- CDからMDへワンタッチで録音ができるオートエディット(自動編集)機能 P63
- CDからMDへ効率よく録音するタイムエディット機能 P65
- 録音した年、月、日、時刻が確認できる録音日時自動記録機能 P32
- 録音モード(ステレオ/モノラル)が選べるMDマニュアル録音 P69
  - ■ モノラルで録音すると、録音できる時間が約2倍の長さになります。
- MDの便利な編集機能 P73
  - ■ 分割(DIVIDE)機能
  - ■ 曲と曲をつなぐ合成(COMBINE)機能
  - ■ 曲を1曲ずつ消す(ERASE)機能
  - ■ すべての曲を消す(ALL ERASE)機能
  - ■ 曲を移動する(MOVE)機能
  - ■ ディスク名、トラック名をつける(DISC/TRACK NAME)機能(英文字·数字·カタカナ文字の入力)
  - ■ CDからMDへワンタッチで録音

## 多機能CDプレーヤー
- お好みの曲をお好みの順番で演奏ができるプログラム演奏 P29
- 繰り返し演奏ができるリピート演奏 P32

## 簡単操作の録音·再生機能(カセットデッキ)
- テープ再生時、曲の頭出しが簡単にできる自動頭出し(AMSS) P35
- メタルテープ(再生のみ)(TYPE Ⅳ)やハイポジション(クローム)テープ(TYPE Ⅱ)、ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)が使用可能なオートテープセレクト機能 P33
- 簡単操作のCD ▶ TAPE ワンタッチ録音
  - ■ 倍速/定速(HIGH/NORM)編集(CD ▶ テープ) P48
  - ■ 順番を変えずに全曲を録音できるオートエディット録音 P47
  - ■ テープの終わりで途切れた曲を頭から録音し直すバックスキップエディット録音 P49
  - ■ 指定したテープ長内にお好みの曲だけを録音するプログラムエディット録音 P53
  - ■ マニュアルエディット録音 P58

## エリアバンドチューナーの搭載
- 全国主要の7大都市の放送局をメモリーしたエリアバンドチューナー機能 P37
- TV音声(1ch~3ch)やFMステレオが楽しめる機能 P37

## 便利なタイマー機能
- おめざめ(ON/OFF)タイマー P85
- 留守録音 P88
- おやすみ(スリープ)タイマー P91

## ワンタッチ再生機能
- ボタンを一つ押すだけで電源が入りCD演奏や放送がスタートするワンタッチ動作機能 P24

# 安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- この「安全上のご注意」は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

## 安全のため必ずお守りください

### ■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

| | |
|---|---|
| ⚠警告 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠注意 | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### ■ 絵表示の例

指をはさまれないよう注意

△ の記号は注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△ の中に具体的な注意内容が描かれています。
（左の絵表示は指をはさまれないよう注意することを意味します。）

分解禁止

⃠ の記号は、してはいけない行為（禁止事項）を示しています。
⃠ の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左の絵表示は分解禁止を意味します。）

電源プラグをコンセントから抜け

● の記号は、しなければならない行為を示しています。
● の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左の絵表示は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

左の絵表示は、必ず実行していただかなければならない内容を示しています。

**お願い** この「安全上のご注意」のさし絵（マンガ）と本機とでは若干形状等が異なることがありますがご了承ください。



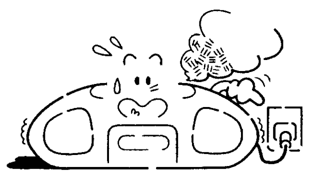
# ⚠警告



### ■ 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

電源プラグをコンセントから抜け



### ■ 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は使用しない

本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

### ■ 電源コードは傷んだまま使用しない

お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

### ■ 電源コードは加工したり、無理に折り曲げたりしない

電源コードは無理な使いかたをすると電源コードが破損して、火災・感電の原因となりますので次のようなことはしないでください。

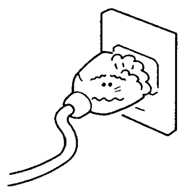
- 途中でつぎ足したりして加工しない。
- 無理に折り曲げない。
- 重いものを乗せない。
- 傷をつけない。
- ねじったり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけて加熱しない。

禁 止

### ■ 電源プラグやコンセントにほこりを付着したまま使用しない

電源プラグやコンセントにほこりやゴミなどを付着したまま使用すると湿気を帯びて火災の原因となります。

禁 止

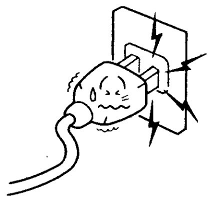


# ⚠警告

■ 中途半端な電源プラグのさし込み状態では使用しない

● 電源プラグのさし込みかたが不完全な状態で使用すると発熱し、火災の原因となります。
● たこ足配線の場合も、コードやプラグが発熱し、火災の原因となります。

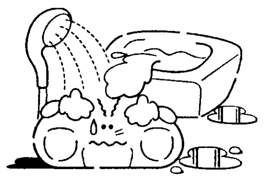
禁 止



■ 水場では使用しない

風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

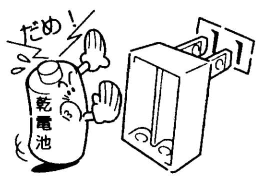
水場での使用禁止



■ 乾電池は充電しない

乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

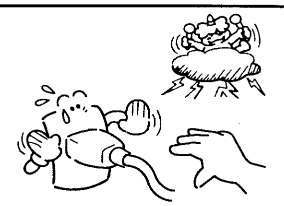
禁 止




■ 雷が鳴り出したら電源プラグなどに触れない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

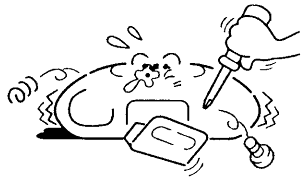
接触禁止



■ 本機のネジをはずして分解したり、改造したりしない

● 本機を分解や改造しないでください。火災・感電の原因となります。
● 内部の点検、調節、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止



■ AC電源は交流（AC）100V以外使用しない

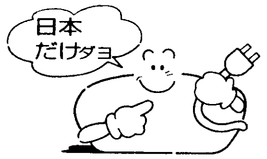
表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁 止

■ 日本国以外では使用しない

本機をAC電源（交流100V）で使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

禁 止






# ⚠警告



■ 本機を落としたり、破損したりしたときは、そのまま使用しない

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

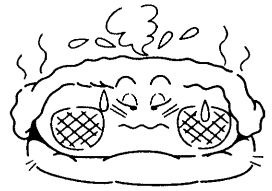
禁 止

電源プラグをコンセントから抜け

■ 通風孔はふさがない

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの後部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
● 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
● 本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
● テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。

禁 止



■ 通風孔やディスク、カセットテープ挿入口に異物を入れない

本機の通風孔やディスク、カセットテープの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。（特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。）

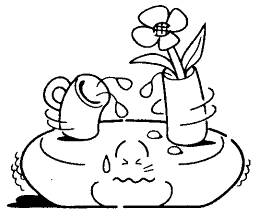
禁 止

■ 水などの入った容器を本機の上に置かない

● 本機の上に水の入った花びん、コップ、薬品、容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
● 万一、内部に水などが入った場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。

禁 止

電源プラグをコンセントから抜け

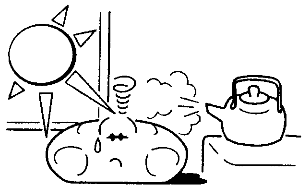


# ⚠注意

■ 置き場所に注意

- 調理台や加湿器のそばなど、また油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- ほこりの多い場所に置かないでください。
  火災、感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えます。

禁止



■ 不安定な場所には置かない

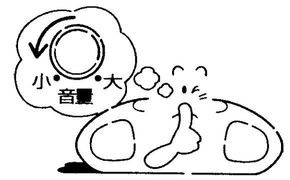
ぐらついた台や傾いた台、不安定な棚などには置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

禁止

■ 音量に注意

電源を切るときは音量を小さくしておいてください。ワンタッチ機能で電源を入れたとき、突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。

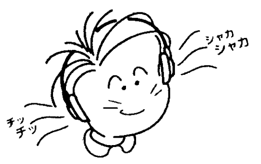
注意




■ ヘッドホン（またはイヤホン）で聞く場合、音を大きくしすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

注意

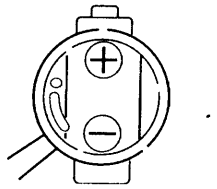


■ 乾電池の挿入に注意

- 電池を挿入する場合、極性表示（プラス⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

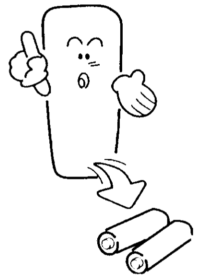
注意

禁止



■ 乾電池を入れたまま長期間放置しない

長期間（1ヵ月以上）使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池装着部についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。





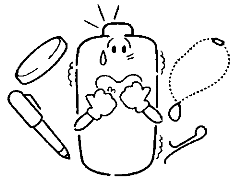
# ⚠注意



■ 乾電池の携帯、保管について

電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス⊖端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

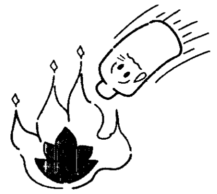
禁止



■ 使い切った乾電池を加熱したり、分解したりしない

電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

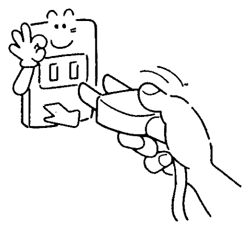
禁止



■ 長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

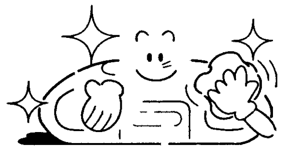
電源プラグを
コンセントから抜け



■ 内部の掃除について

内部の掃除はお買い上げの販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

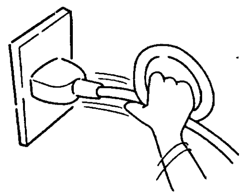
注意



■ 電源プラグを抜くときの注意

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

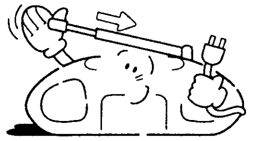
禁止



■ 持ち運びをする場合の注意

- 電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから、抜いてから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ロッドアンテナをたたんでください。伸ばしたまま持ち運びすると ロッドアンテナが引っかかったり、当たったりしてけがの原因となることがあります。

電源プラグを
コンセントから抜け



# ⚠注意

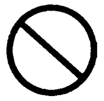
■ ディスクやカセットテープ挿入口には手を入れない

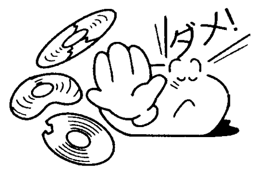
お子様がディスクやカセットテープ挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

■ 特殊な形状、変形やひび割れしたディスクは使用しない

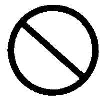
市販されているディスクで特殊な形状のもの、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは本機内で高速回転しますので、偏心による回転のバラつきで飛び散って、けがの原因となることがあります。

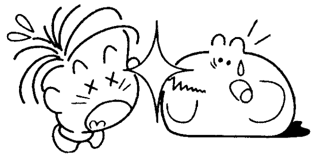

禁　止




■ レーザー光を見ない

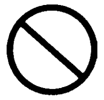
レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

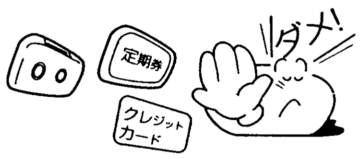

禁　止



■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

本機のスピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどは本機のそばに置かないでください。磁気が壊れて使用できなくなることがあります。


禁　止






# 各部のなまえ

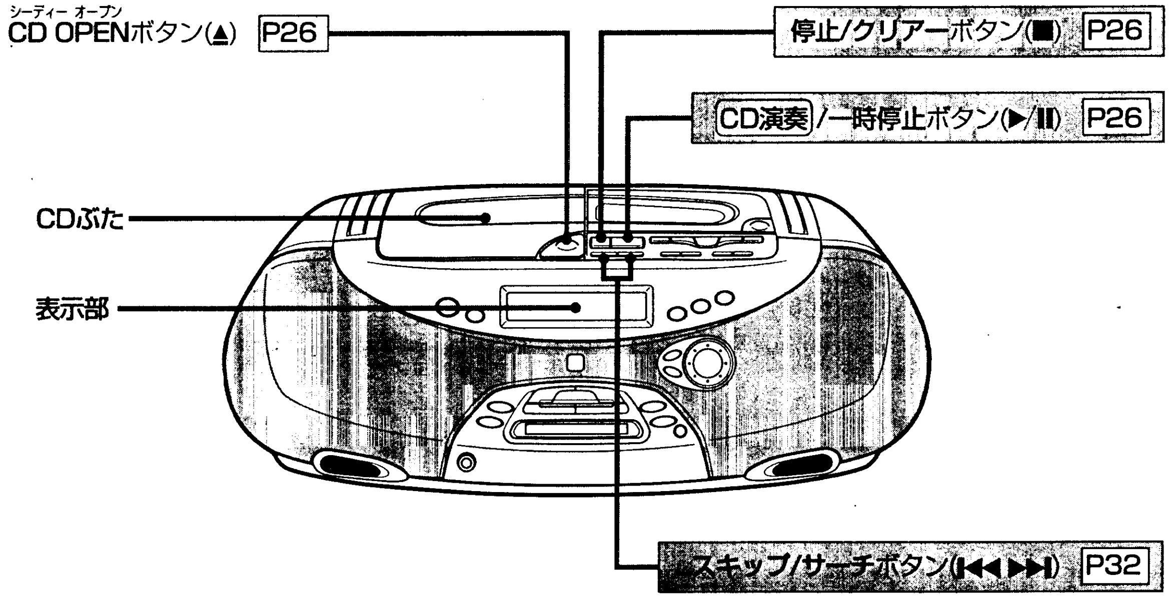
色の部分は、リモコンでも操作できます。

つづく

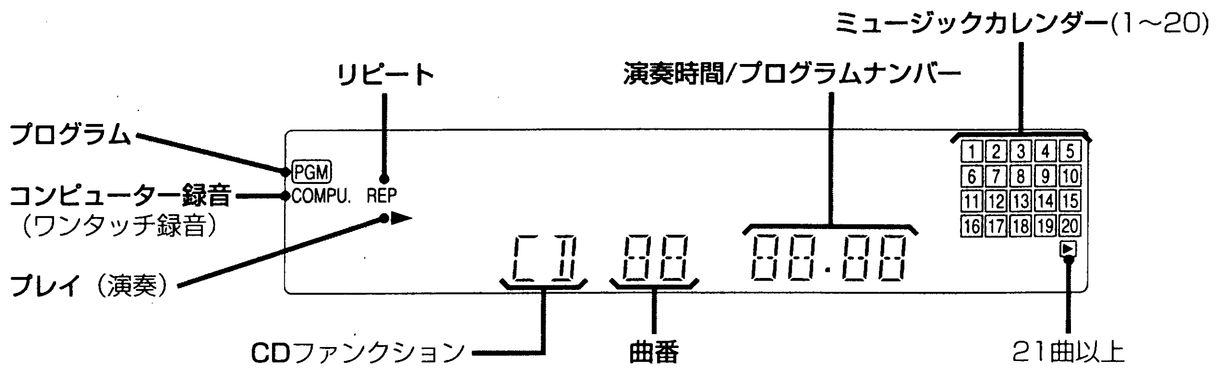


● 本取扱説明書の中で本体とリモコンのどちらでも操作できるものについては基本的に本体で説明しています。リモコンの場合「リモコンでできる操作」表をごらんの上、操作をおこなってください。P93~95

## CDプレーヤー部



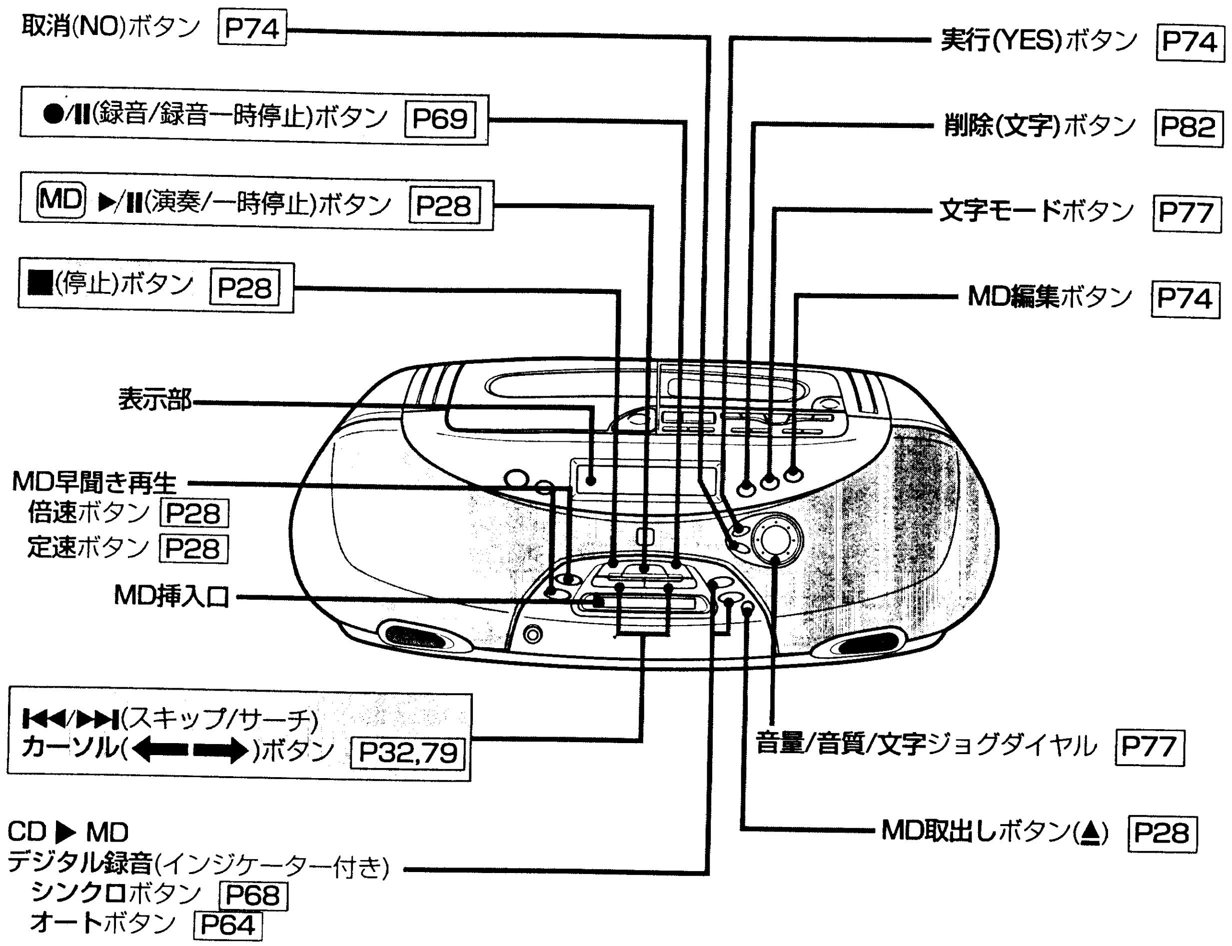

### 表示部（CD操作のとき）



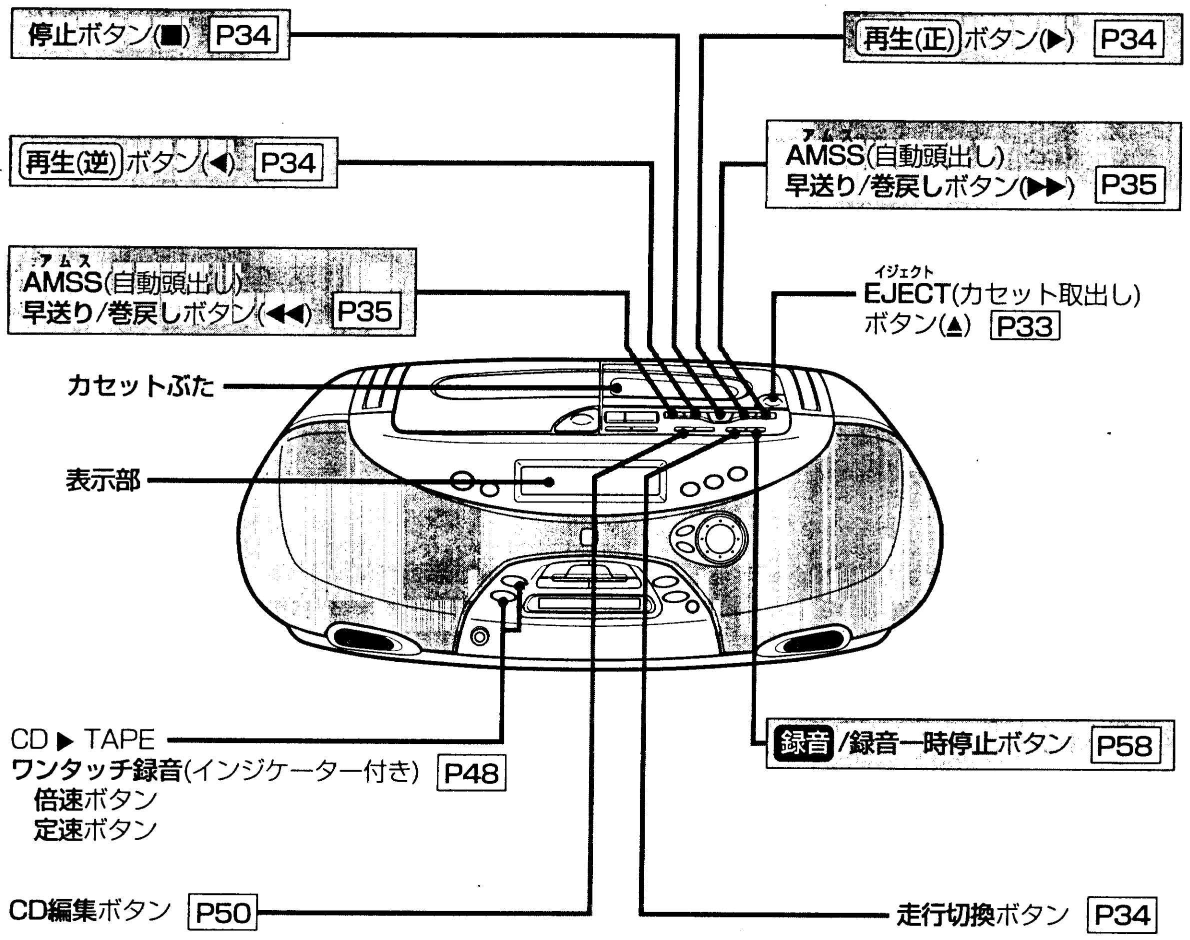
# 各部のなまえ

色の部分は、リモコンでも操作できます。

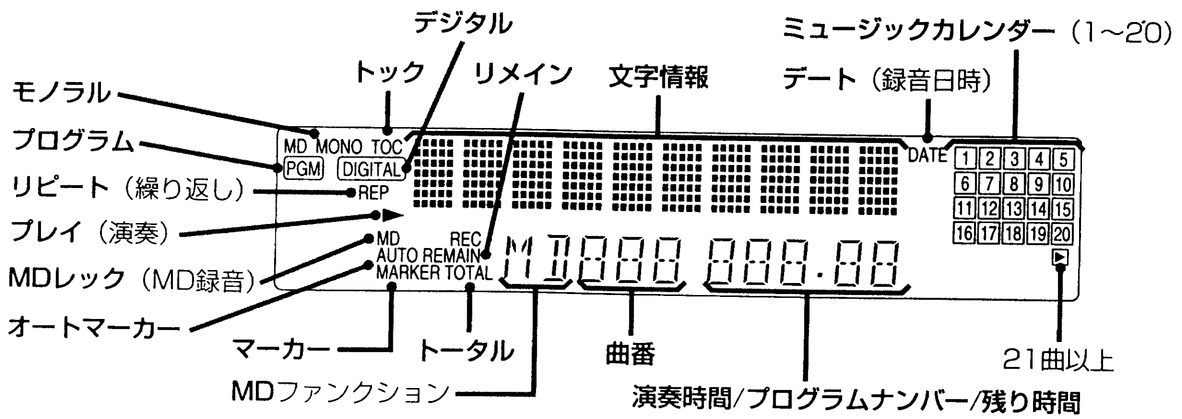
## MDレコーダー部



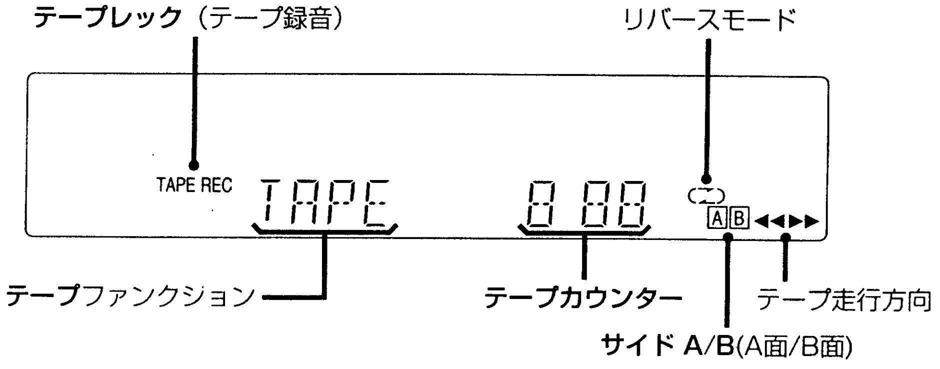

## カセットデッキ部




### 表示部（MD操作のとき）

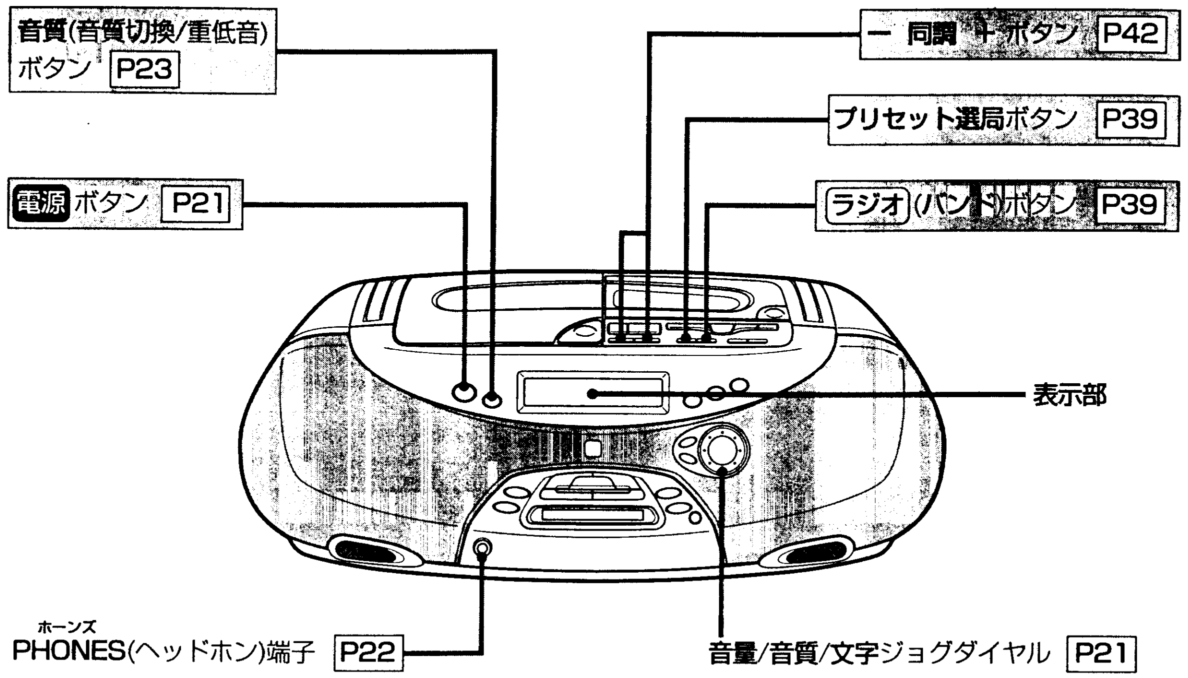



### 表示部（テープ操作のとき）

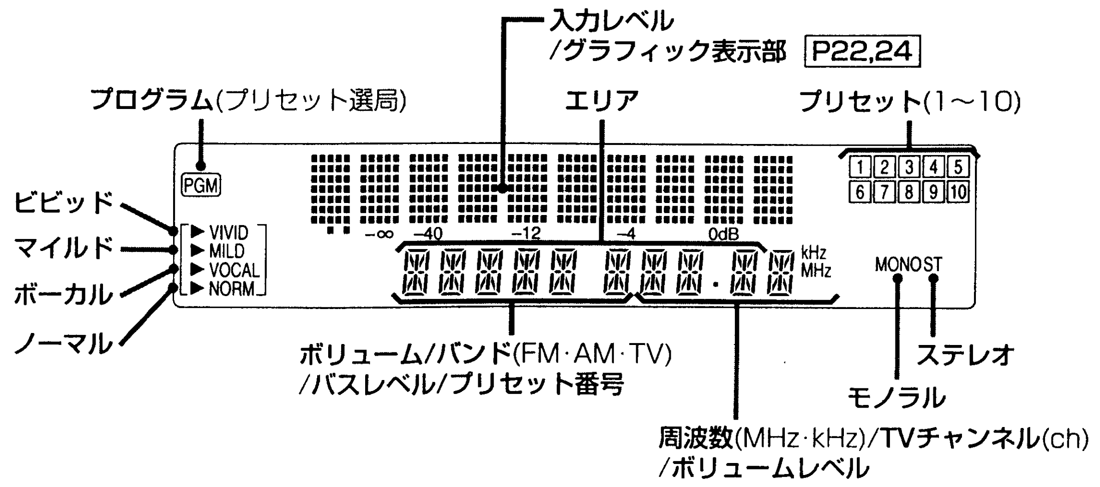



準備

## チューナー部／総合部



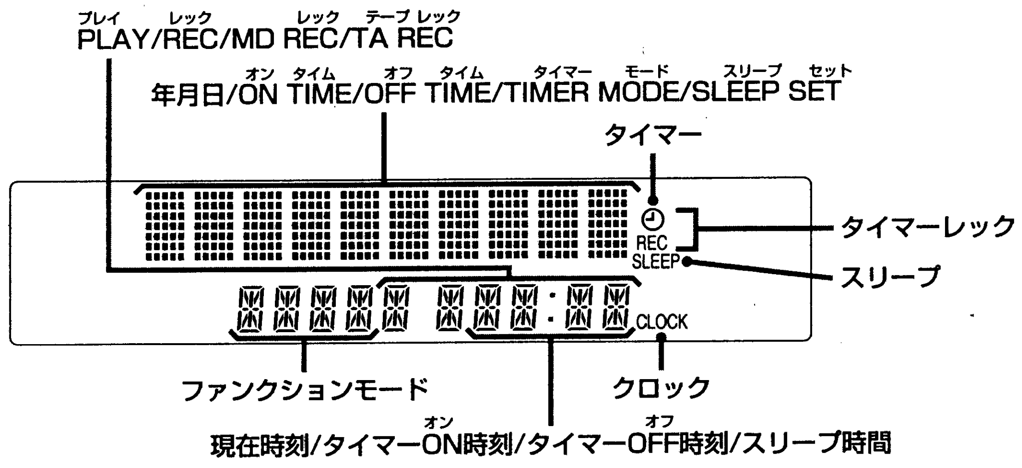

### 表示部（ラジオ・テレビ音声の操作や共通部分の操作のとき）



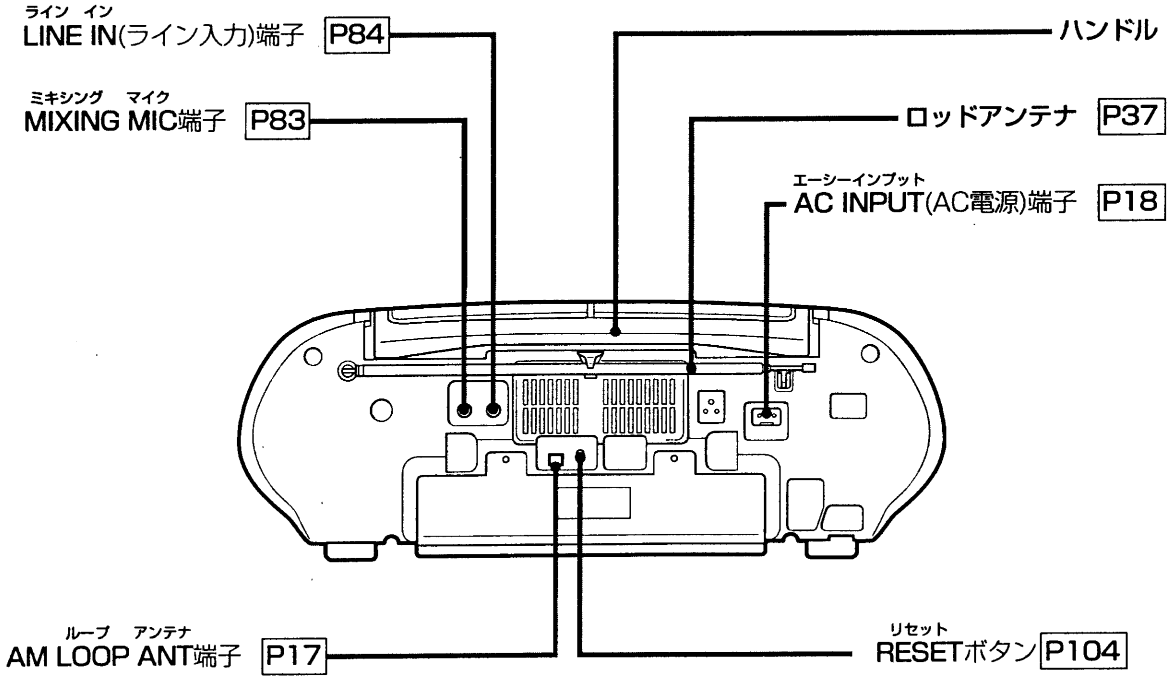

## 時計／タイマー部

時計／タイマー部の操作はリモコンで行ないます。

### 表示部（時計／タイマー操作のとき）




## 背面部




準備

## リモコン

### CD操作部

▶/II (演奏/一時停止)ボタン

■ (停止/取消し)ボタン

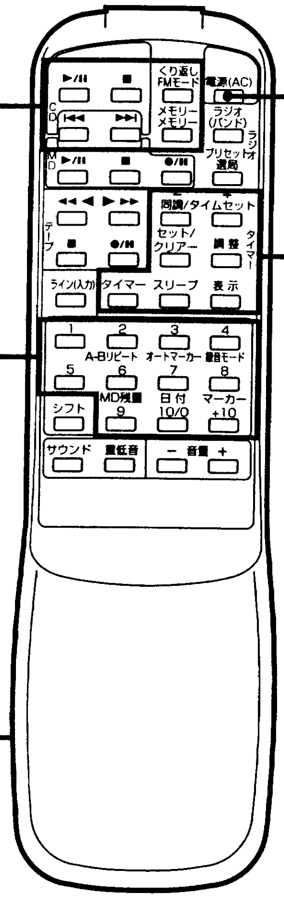
I◀◀ (スキップ/サーチ)ボタン

▶▶I (スキップ/サーチ)ボタン

**くり返し**ボタン

**メモリー**ボタン

**数字**ボタン(1〜9,10/0,+10)



**電源(AC)**ボタン

電池ぶた(背面)

### 時計/タイマー操作部

**タイムセット**
(日付設定/時刻合わせ)
ボタン(+,−)

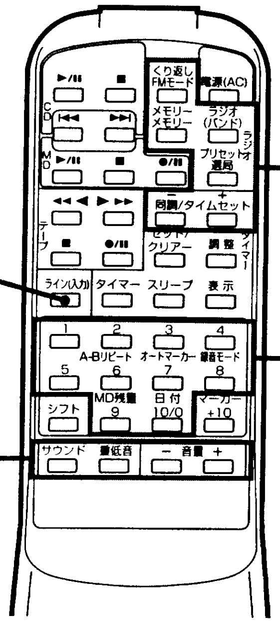
**セット/クリアー**
(タイマー動作待機/解除)ボタン

**調整**ボタン

**タイマー**ボタン

**スリープ**(おやすみ)ボタン

**表示**ボタン



**ライン(入力)**ボタン

### 音響効果操作部

**サウンド**(音質切換)ボタン

**重低音**ボタン

**音量**ボタン(+,−)

### チューナー操作部

**ラジオ(バンド)**ボタン

**プリセット選局**ボタン

**FMモード**ボタン

**メモリー**ボタン

**同調**ボタン(+,−)

**数字**ボタン(1〜10)



## リモコン

### MD操作部

I◀◀ (スキップ/サーチ)ボタン

▶▶I (スキップ/サーチ)ボタン

▶/II (演奏/一時停止)ボタン

■ (停止/取消し)ボタン

●/II (録音/録音一時停止)ボタン

**くり返し**ボタン

**メモリー**ボタン

**A-Bリピート**ボタン

**オートマーカー**ボタン

**録音モード**ボタン

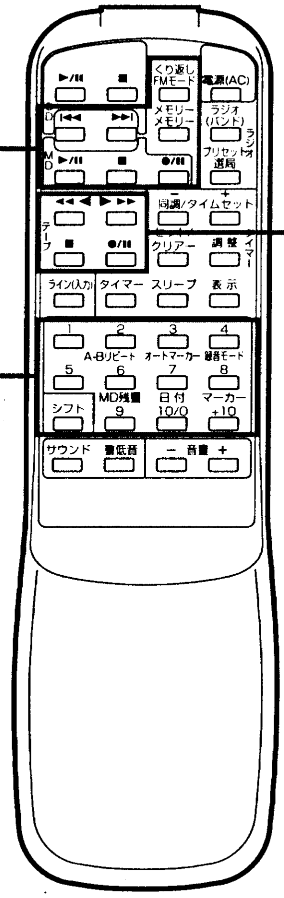
**MD残量**ボタン

**日付**ボタン

**マーカー**ボタン

**数字**ボタン(1〜9,10/0,+10)

**シフト**ボタン



### テープ操作部

◀◀ ◀ (再生(逆)/早送り・巻戻し/自動頭出し)ボタン

▶ ▶▶ (再生(正)/早送り・巻戻し/自動頭出し)ボタン

■ (停止)ボタン

●/II (録音/録音一時停止)ボタン

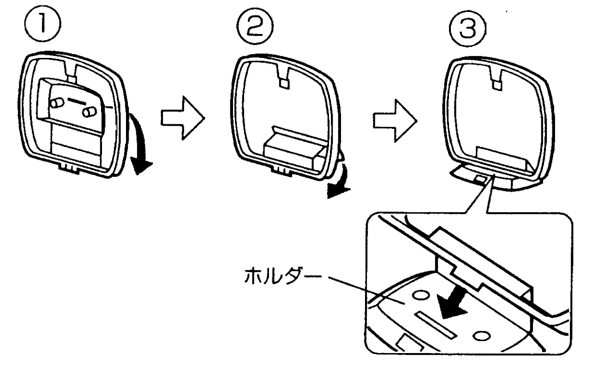
準備

「リモコンでできる操作」P93〜95 もごらんください。

# お使いになる前に

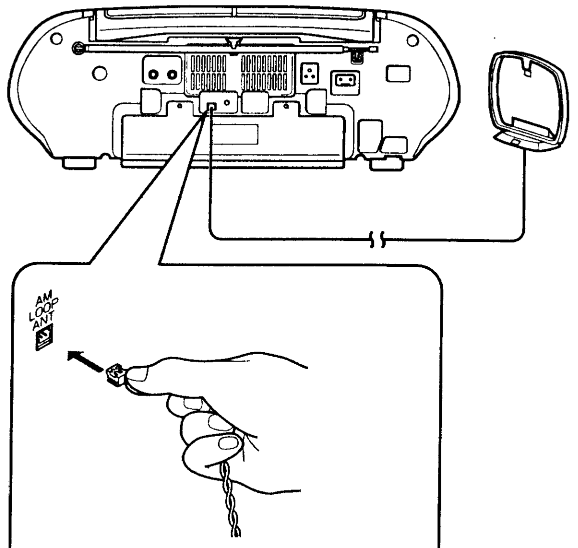
## 付属のAMループアンテナの接続

### AMループアンテナの組み立て



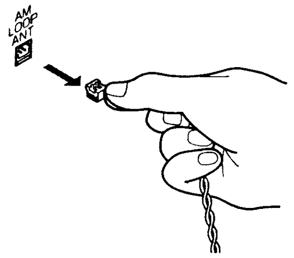

- AMループアンテナは、アンテナホルダーを組み立て、AM放送が良く受信できるところに置くか、またはアンテナホルダーを壁などに取り付けてご使用ください。
  取り付けには市販の木ネジをご用意ください。
- AMループアンテナを本機やテレビなどの機器に近づけると、雑音が入りますので、できるだけ離してご使用ください。
- 鉄筋コンクリート造りの建物では、良好な受信ができない場合があります。

### AMループアンテナの接続




端子の形状に合わせて接続する。

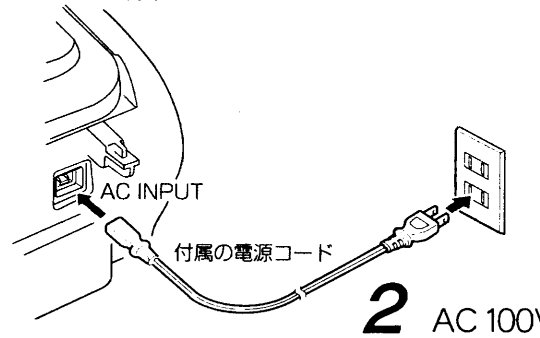
**AMループアンテナをはずすときは**




# 電源について

## 電源コードの接続

**1** AC INPUT端子へ




**2** AC 100V コンセントへ

**ご注意**

電源コードを抜くときは、電源 ボタンで電源を切ってからおこなってください。
CDやMDに傷をつけたり故障の原因になります。



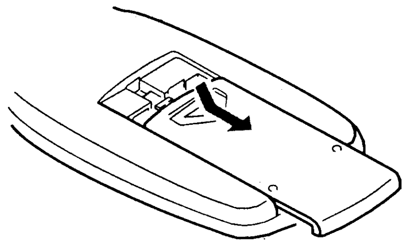
## 時計／メモリーのバックアップについて

停電などで時計表示が初期状態になったときは、時刻や年月日の設定をやり直してください。
タイマーON／OFF時刻も設定をやり直してください。
本機が通電されていた場合は、時計の動作と設定された各種内容を保持します。

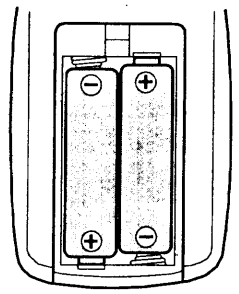
- 停電があった場合、時計／タイマー関係は停電後約50分を経過すると初期表示になりますが、各種内容は常温で2～3日程度保持されます。

## リモコン用乾電池の入れかた

**1** 電池ぶたの ▼ マークの部分を押してふたを開けます。



**2** 付属の単3形乾電池2本を、極性 ⊕⊖ を正しく入れて、ふたを閉めます。



- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンを本体の近くで操作しても動作しなくなりますので、2本とも新しい乾電池に交換してください。
- 付属の乾電池はモニター用ですので、寿命が短いことがありますが、ご了承ください。

# 時計の合わせかた リモコンで操作してください

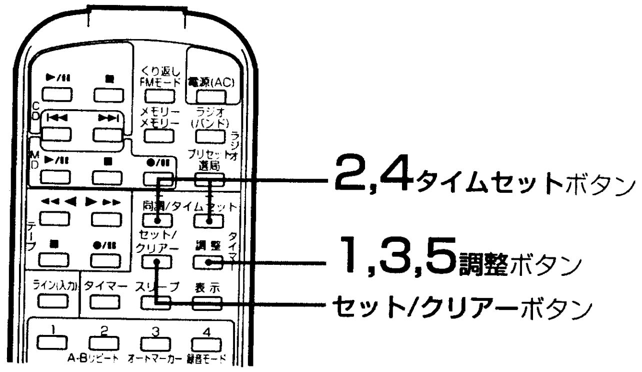
タイマーを設定する前に、必ず時計を現在時刻に合わせてください。

時計の時刻合わせや年月日合わせは、電源を切った状態（表示部が年月日と時刻表示のみ）でおこなってください。

## 時刻の合わせかた

本機の時計は24時間表示です。

- 初めて電源コードを差し込んだときや、停電で時計／タイマー関係が消え、再び通電したときは、「'－－.－－.－－」と「0:00」の表示が出て、時計が動きだします。
- ◆ お好みにより、12時間表示［AM（午前）／PM（午後）表示］に切り換えてご使用いただけます。
切り換えかたについてはP97をごらんください。




（例）18:30（午後6時30分）に合わせるとき

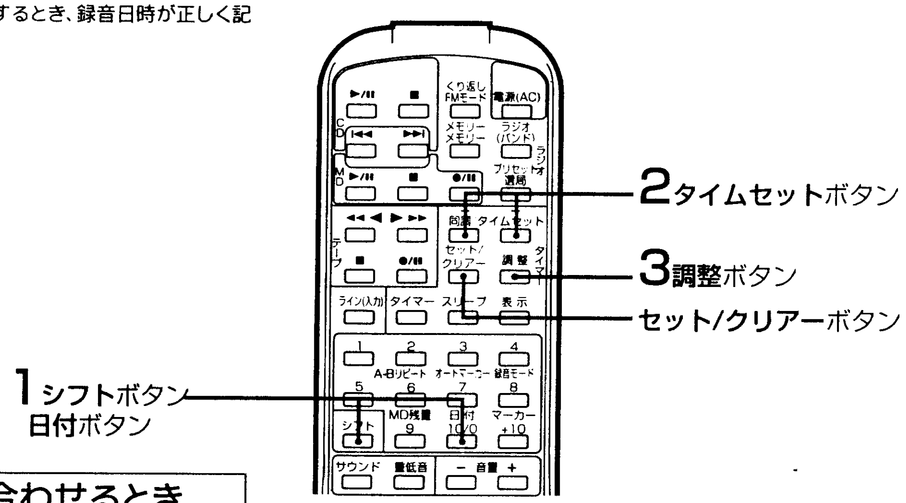
| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 調整 | 調整ボタンを押す。 | TIME SET 0:00 点滅 |
| 2 同調/タイムセット − + | タイムセットボタン「＋」または「－」を押して「時」を合わせる。 | TIME SET 18:00 点滅 |
| 3 調整 | 調整ボタンを押す。 | TIME SET 18:00 点滅 |
| 4 同調/タイムセット − + | タイムセットボタン「＋」または「－」を押して「分」を合わせる。<br>● 分表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰り上がりません。 | TIME SET 18:30 点滅 |
| 5 調整 | 調整ボタンを押す。<br>「30」の点滅が止まり、時計は0秒からスタートします。<br>**秒単位で正しく時刻合わせをするには**<br>電話の情報サービス（117番：有料）を利用すると便利です。<br>あらかじめ上記1～4操作をしておき、時報と同時に調整ボタンを押してください。 | ' 99. 11. 01 18:30<br>' －－.－－.－－ 18:30 |

● 上記1～4の操作中、セット／クリアーボタンを押すと、時刻合わせを中止することができます。この場合、元の時刻の継続表示となります。



## 年月日の合わせかた

● 年月日を正確に設定しないと、MD録音するとき、録音日時が正しく記録されません。




（例）'99年7月10日に合わせるとき

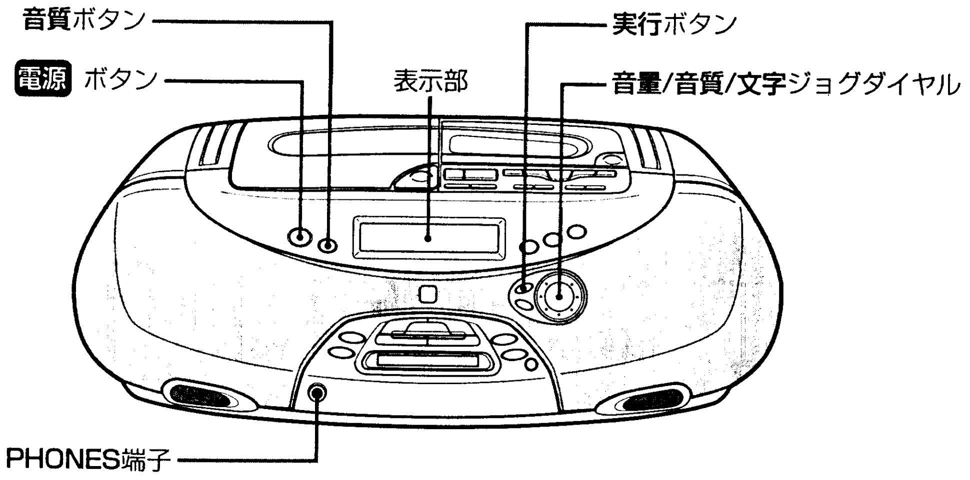
| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 シフト + 日付 10/0 | シフトボタンを押したまま日付ボタンを押す。 | ' 98. 05. 01 18:30 点滅 |
| 2 同調/タイムセット − + | タイムセットボタン「＋」または「－」を押して「年」を合わせる。<br>● 西暦2000年以降のときは、2000年：00、2001年：01と合わせてください。 | ' 99. 05. 01 18:30 点滅 |
| 3 調整 | 調整ボタンを押す。 | ' 99. 05. 01 18:30 点滅 |
| 4 | 上記2，3と同様に「月」を合わせる。 | ' 99. 07. 01 18:30 点滅 |
| 5 | 上記2，3と同様に「日」を合わせる。<br>●「10」の点滅が止まり、「年月日」の設定が終わりました。 | ' 99. 07. 10 18:30 |

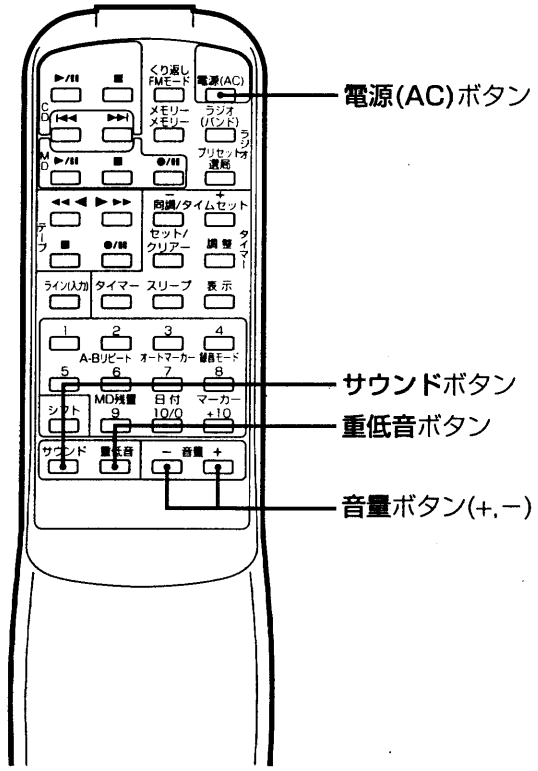
● 上記1～4の操作中、セット／クリアーボタンを押すと、年月日合わせを中止することができます。この場合、元の年月日の継続表示となります。

準備

# 共通な操作のしかた

☞つづく




聞きかた

## 電源を入／切する

本体の 電源 ボタンまたは、リモコンの電源（AC）ボタンを押す。

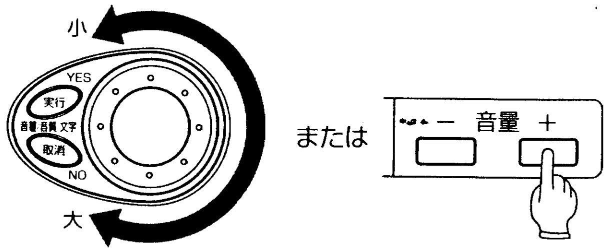
- 表示部に「HELLO!」が表示されます。
- ファンクションモードは電源を切る前のモードになります。

もう一度押すと電源が切れる。

- 表示部に「SEE YOU!」が表示されます。
- 通電中は表示部に現在日付と現在時刻が表示されます。
- 電源は切れても各種メモリーは保持されます。

## 音量を調節する

本体の音量／音質／文字ジョグダイヤルまたはリモコンの音量ボタンで調節する。




音量レベルは表示部にバー表示と数値で表示されます。P24

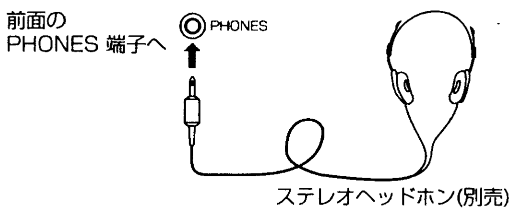
- 電源を切ったときは、切る前の音量が保持されます。
  ただし、音量を最大付近まで上げていた場合は、音量最大の80%（VOL 38）程度のレベルまで自動的にしぼられます。
- 録音中に音量レベルを変えても、録音には影響しません。
- 停電などでメモリーが消えた状態（初期状態）から電源コードを差し込み、動作させますと、前の音量レベルの大小にかかわらずVOL 29の音量レベルで音が出るようになっています。

### 音量調節時のご注意

コンパクトディスクおよびミニディスクはノイズが少なく、通常のレコード、カセットテープのようにノイズを聞きながら音量を調節しますと、思わぬ大音量になることがありますのでご注意ください。

## ヘッドホンで聞く

前面のPHONES端子に接続してください。




- ミニプラグ付のヘッドホンをご用意ください。
  標準プラグ付ステレオヘッドホンの場合は、市販のプラグアダプターをご使用になると接続できます。

### ご注意

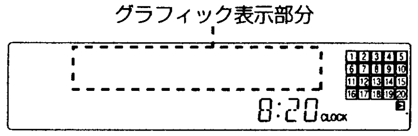
ヘッドホンでお聞きになるときは、耳を刺激するような大きな音量で長時間お聞きにならないように。特に、CDやMDを演奏するときはご注意ください。

### 音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。音量は時間と場所に応じて適度に調節してください。特に夜間の音楽鑑賞には気をくばりましょう。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

## グラフィック表示について

グラフィック表示部分には、以下の内容が表示されます。




**CD、MD、テープファンクション時の動作モード**
■，▶，◀，▶▶，◀◀，▶I，I◀，●，II

**レベル表示**
音量レベル、入力レベル、各音質の周波数特性

**MD動作時**
ディスク名、曲名、録音日付

**時計表示、電源入切時**
現在年月日、HELLO!、SEE YOU!

**タイマー、スリープ設定時**
ON TIME、OFF TIME、TIMER MODE、SLEEP SET

**その他**
各種設定モード表示

## お好みの音質で聞く

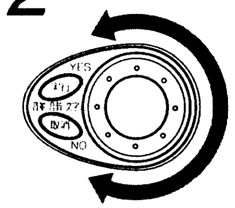
ご希望の音質（VIVID／MILD／VOCAL／NORM）を選んでください。

### <本体で選ぶとき>

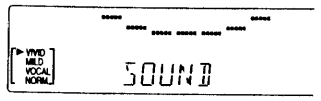
**1**

音質ボタンを1回押す。
周波数特性と「SOUND」が表示されます。

**2**

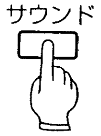



「SOUND」が表示されている間に音量／音質／文字ジョグダイヤルを回し、"▶"を希望の音質にあわせる。




### <リモコンで選ぶとき>

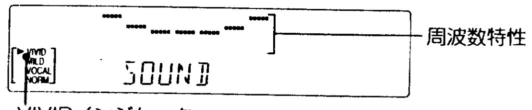
**1**




サウンドボタンを押し、"▶"を希望の音質にあわせる。

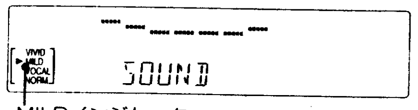
（例）BASSレベルが「4」のとき

● 低音域と高音域を強調したいとき（ロックミュージックなど） →VIVID



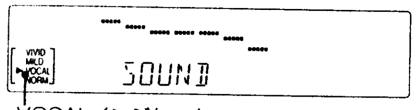

VIVIDインジケーター

● 低音域を強調したいとき（ポップスなど） →MILD



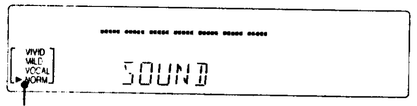

MILDインジケーター

● 高音域をおさえて中低音域を強調したいとき（マイクミキシングを楽しむときなど） →VOCAL




VOCALインジケーター

● 低音域から高音域までフラットな特性で聞きたいとき（クラシックなど） →NORM




NORMインジケーター

● 電源を切ったときは、切る前の音質が保持されます。
● 音質を変えても、録音には影響しません。

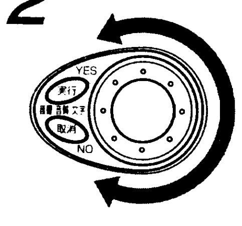
## 重低音を楽しむ

### <本体で選ぶとき>

**1**

音質ボタンを2回押す。
バス表示になります。

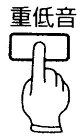
**2**




バス表示がされている間に音量／音質／文字ジョグダイヤルで、BASSレベル（1〜4）を選ぶ。

### <リモコンで選ぶとき>

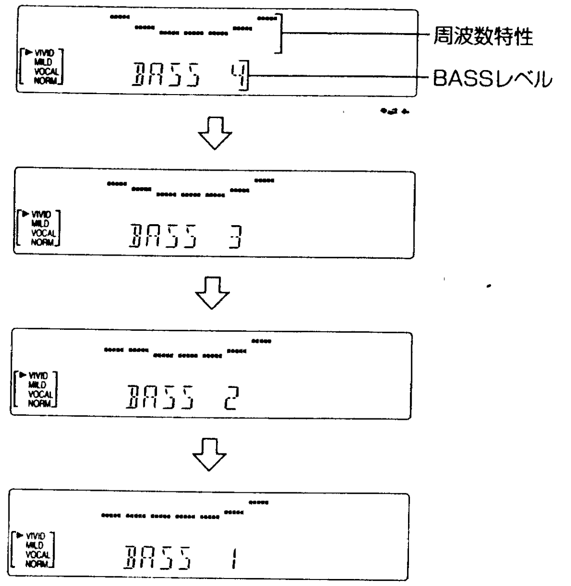
**1**




重低音ボタンを押し、BASSレベル（1〜4）を選ぶ。

表示部に4段階のBASSレベルと設定した音質の周波数特性を表示します。

（例）音質が「VIVID」のとき




● 電源を切ったときは、切る前のレベルが保持されます。
● レベルを変えても、録音には影響しません。
● 各音質（VIVID／MILD／VOCAL／NORM）それぞれでBASSレベルを設定することができます。
● ヘッドホンでお聞きになっているときは、「BASS 1」と「BASS 2」の重低音レベルは同じになります。



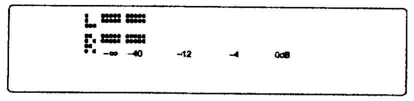
## 音量レベルと入力レベル表示

音量レベルと各音源の入力レベル（L,R）が表示部に次のように表示されます。

### 入力レベル表示になるとき

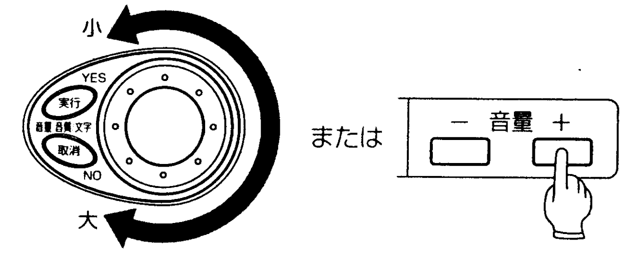
| | |
|---|---|
| CD／MDファンクション | 表示部に「▶ 」が表示されているとき |
| TAPEファンクション | 再生中や表示部に「TAPE REC」が表示されているとき |
| ラジオファンクション | 常に入力レベル表示 |
| LINEファンクション | 常に入力レベル表示 |

（例）入力レベル表示

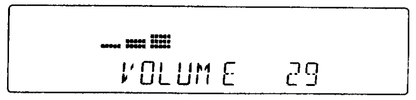



### 音量レベル表示になるとき

上記以外の場合の表示部は、音量レベル表示（8段階のパターン表示）になります。電源が入った状態で、本体の音量／音質／文字ジョグダイヤルまたは、リモコンの音量ボタンを押すと、そのときの表示部の表示内容にかかわらず現在の音量レベルを約2秒間表示します。
回し続けるとパターン表示と音量レベルを確認しながら音量を変えることができます。




（例）音量レベル表示




VOLUME 29のレベル

## デモモードにするには

電源「切」の状態で音質ボタンを押したまま実行ボタンを押す。各モード表示などが順に表示されます。
● 通常使用時はデモモードにしないでください。
● ファンクションが「チューナー／ライン」の時はデモモードにはなりません。

### デモモードを解除するには

電源が「入」の状態でもう一度音質ボタンを押したまま実行ボタンを押す。

## ワンタッチ動作機能について

電源が切れている状態でも、ボタンを一つ押すだけで自動的に電源が入り、演奏や放送が始まります。

● CDが入っているとき、CD操作部の（CD演奏）／一時停止ボタンを押すと、CD演奏が始まります。
● MDが入っているとき、MD操作部の（MD）▶/❚❚ ボタンを押すと、MD演奏が始まります。
● デッキにカセットテープが入っているとき、デッキ操作部の（再生（正））または（再生（逆））ボタンを押すと、テープの再生が始まります。
● チューナー操作部の（ラジオ）（バンド）ボタンを押すと、放送を聞くことができます。
● リモコンのライン（入力）ボタンを押すと、ラインの動作になります。

● 各ファンクション時の演奏方法や、チューナーの選局などは、電源を切る前のモードでスタートします。

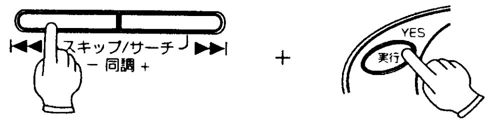
### MDの取り出しもワンタッチで

● MD取出しボタンを押すと、MDが出てきます。

聞きかた

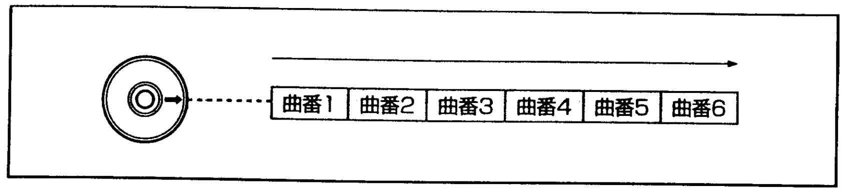
## 表示部の明るさ調節について

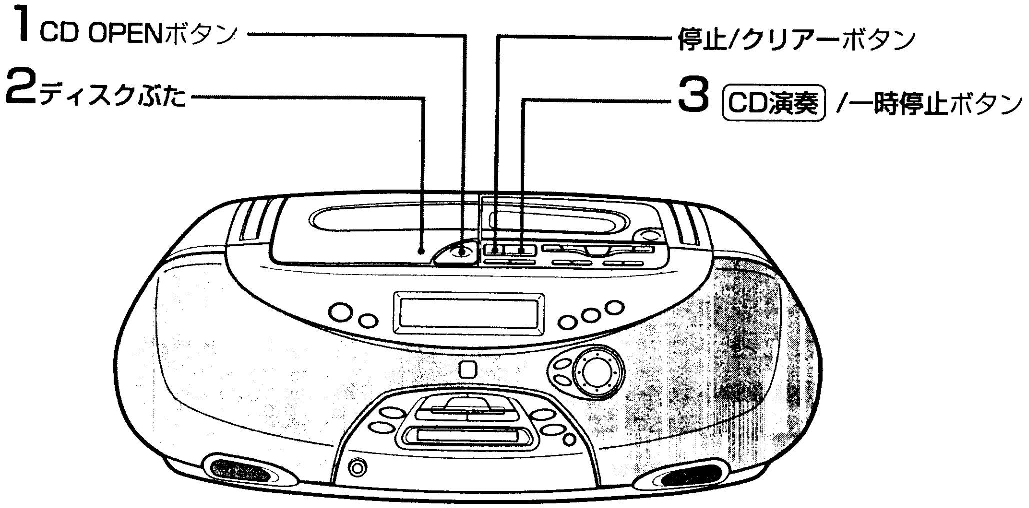
電源を切っている状態での表示部の明るさを変えることができます。
電源を「切」の状態でCDのスキップ／サーチボタン ⏮ を押したまま、実行ボタンを押すと、表示の明るさが暗くなります。再度、同じ操作をしますと明るくなります。
● スリープ操作のときも暗くなりますが、このときも同様になります。



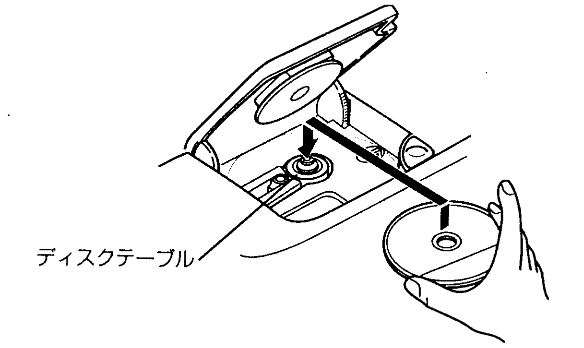
つづく

## CDの通常演奏




### CDの入れかた




ディスク面に触れないように持ち、レーベル面を上側にして入れます。
- 一度に2枚以上のCDを入れることはできません。

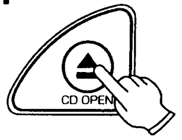
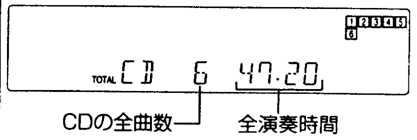
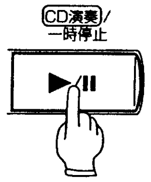
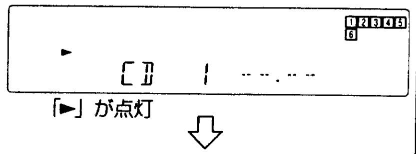
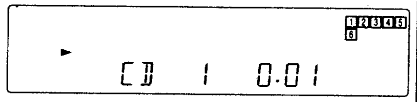
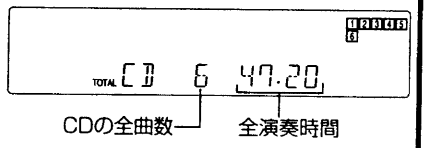
### ちょっとこれを!

- CDが正しい位置にのっていないと、CDに傷をつけたり故障の原因になります。
- CDの裏表を逆に入れると、「NO DISC」を表示して演奏できません。
- CDにキズ、指紋、ほこりがついているときも演奏できないことがあります。
- 市販のCDスタビライザーは使用できません。
- 演奏中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。
- こんなときに音とびを起こしますのでご注意ください。
  - ・本機に強い衝撃を与えたとき。
  - ・薄い板など、振動しやすい場所に置いたとき。
  - ・CDの内容によって音とびを起こすことがあります。このときは音量を下げてお聞きください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったCDをご使用ください。マークのないCDは使用しないでください。
- 本機ではビデオCDは使用できません。



停止/クリアーボタンを押して、CDファンクションにしたとき

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | **CD OPENボタンを押す。**<br>ディスクぶたが開きます。 |  |
| 2 | **CDを入れ、ディスクぶたを閉める。**<br>●「カチッ」と音がするまで確実に閉めてください。<br>CDが回転し、CDの内容が読みとられ、停止します。 |  |
| 3 | **CD演奏 /一時停止ボタンを押す。**<br>1曲目の演奏が始まります。<br>CDの最後の曲が終わると停止状態になります。 |     |

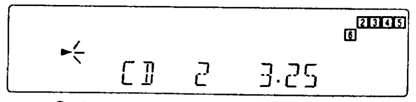


**●演奏を途中で止めるには**
停止/クリアーボタンを押す。

**●CDを取り出すときは**
CDの回転が停止してからCD OPENボタンを押す。

**ご注意**
演奏中は、CD OPENボタンを押さないでください。
押すとCDを傷つけることがあります。

**●演奏を一時的に止めるには**
CD演奏 /一時停止ボタンを押す。
もう一度押すと再び演奏が始まります。

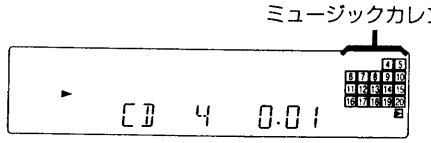


「►」が点滅

### ミュージックカレンダーについて

CDに入っている全部の曲番(20曲まで)をカレンダーのように表示します。

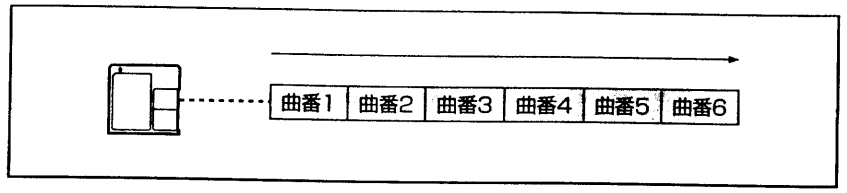
- CDを入れディスクぶたを閉めたときは全曲番を示します。(CDファンクションのとき)
- CDの最後の曲が終わったときや停止/クリアーボタンを押したときも全曲番を示します。
- 21曲以上入っているCDの場合は、"20"の下側の► インジケーターが点灯します。
- 演奏中は、演奏が終わった曲番から自動的に消えていきます。

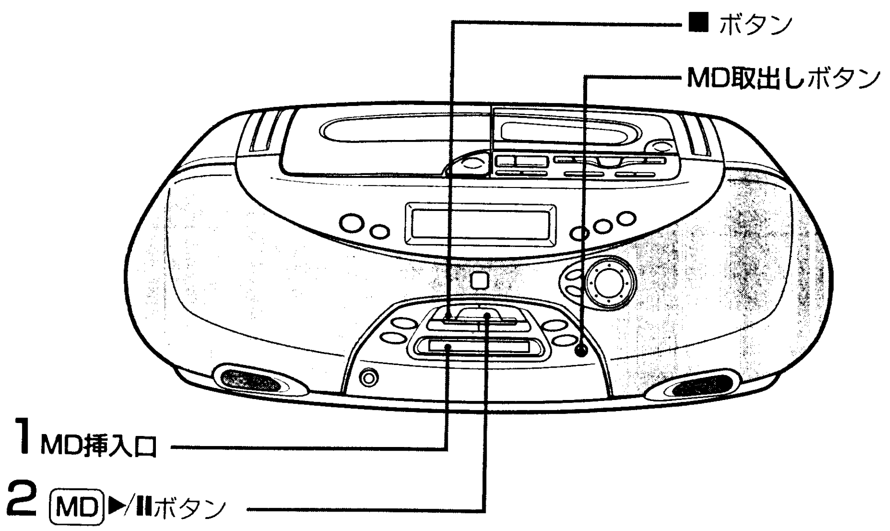



(例)21曲以上入ったCDで4曲目の演奏を開始したところ

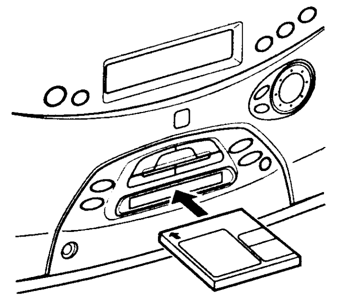
聞きかた CD

## MDの通常演奏




### MDの入れかた



● ラベル面を上にして、MD上面の矢印の向きにしたがって挿入口に確実に差し込みます。MDが自動的に引き込まれます。

### ちょっとこれを!

● 演奏中、近くに置いたテレビに色ズレを生じたり、ラジオに雑音が入る場合は、本機と他の機器とを離してください。

● MDは振動に対して音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

のマークが入ったMDをご使用ください。

● 上記マークのないMDは使用しないでください。故障の原因になります。

● 表示されるMDの全演奏時間はお使いの機器により、多少のズレがある場合があります。

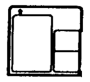
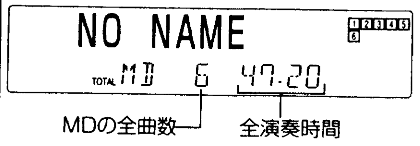
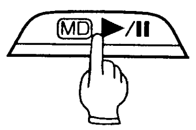
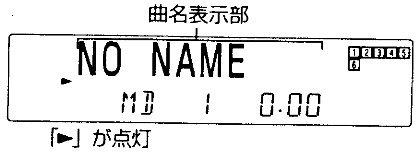
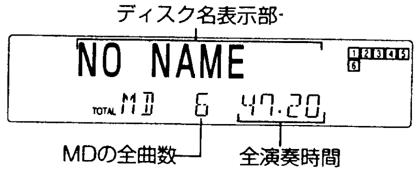
(文字情報／英語) マークについて

● 市販の再生用MD（音楽ソフトなど）に上記のマークがついていると、そのMDの文字情報（曲名など）を表示します。

● ディスク名や曲名が入っていないMDやひらがな、漢字などで入力されている場合は、ディスク名や曲名は表示されません。



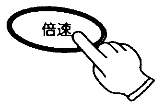
MDの ■ ボタンを押して、MDファンクションにしたとき

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 1  | MDをMD挿入口に入れる。<br>「- - - - - - - - - - -」→「TOC READ」を表示した後、MDの内容が読みとられます。 |   |
| 2  | MD ▶/II ボタンを押す。<br>1曲目の演奏が始まります。<br>● このとき曲名が登録されていれば、4秒間曲名を表示します。（10文字以上の曲名の場合、文字がスクロールします。）<br>MDの最後の曲が終わると停止状態になります。 | 曲名表示部   「▶」が点灯<br>ディスク名表示部   |



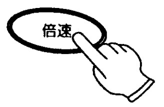
## MDの早聞き再生

MDを再生中に倍速ボタンを押すと、MDを早聞きで再生することができます。音を早聞きしながら好きな所をさがすのに便利です。

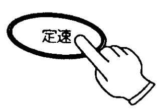



⇨ MDを早聞きで再生します。（一定間隔で音をとばしながら再生しますが、異常ではありません。）

### ●通常再生に戻すには




または




再度倍速または定速ボタンを押します。

### ●演奏を途中で止めるには

MDの ■ ボタンを押す。

### ●演奏途中で取出したいときは

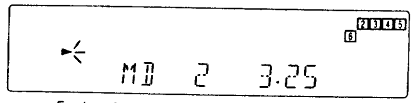
MD 取出しボタンを押す。

MDが出てきます。

### ●演奏を一時的に止めるには

MD ▶/II ボタンを押す。

もう一度押すと再び演奏が始まります。




「▶」が点灯

### ミュージックカレンダーについて

MDに入っている全部の曲番（20曲まで）をカレンダーのように表示します。

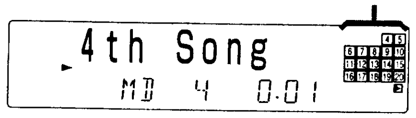
● MDを挿入したときは全曲番を示します。（MDファンクションのとき）

● MDの最後の曲が終わったときやMDの ■ ボタンを押したときも全曲番を示します。

● 21曲以上入っているMDの場合は、"20"の下側の ▶ インジケーターが点灯します。

● 演奏中は、演奏が終わった曲番から自動的に消えていきます。

ミュージックカレンダー

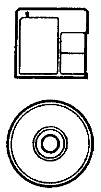



（例）21曲以上入ったMDで4曲目の演奏を開始したところ

☞つづく

## プログラム演奏

お好みの曲をお好みの順番で演奏することができます。
最大24曲まで予約できます。
演奏順例：

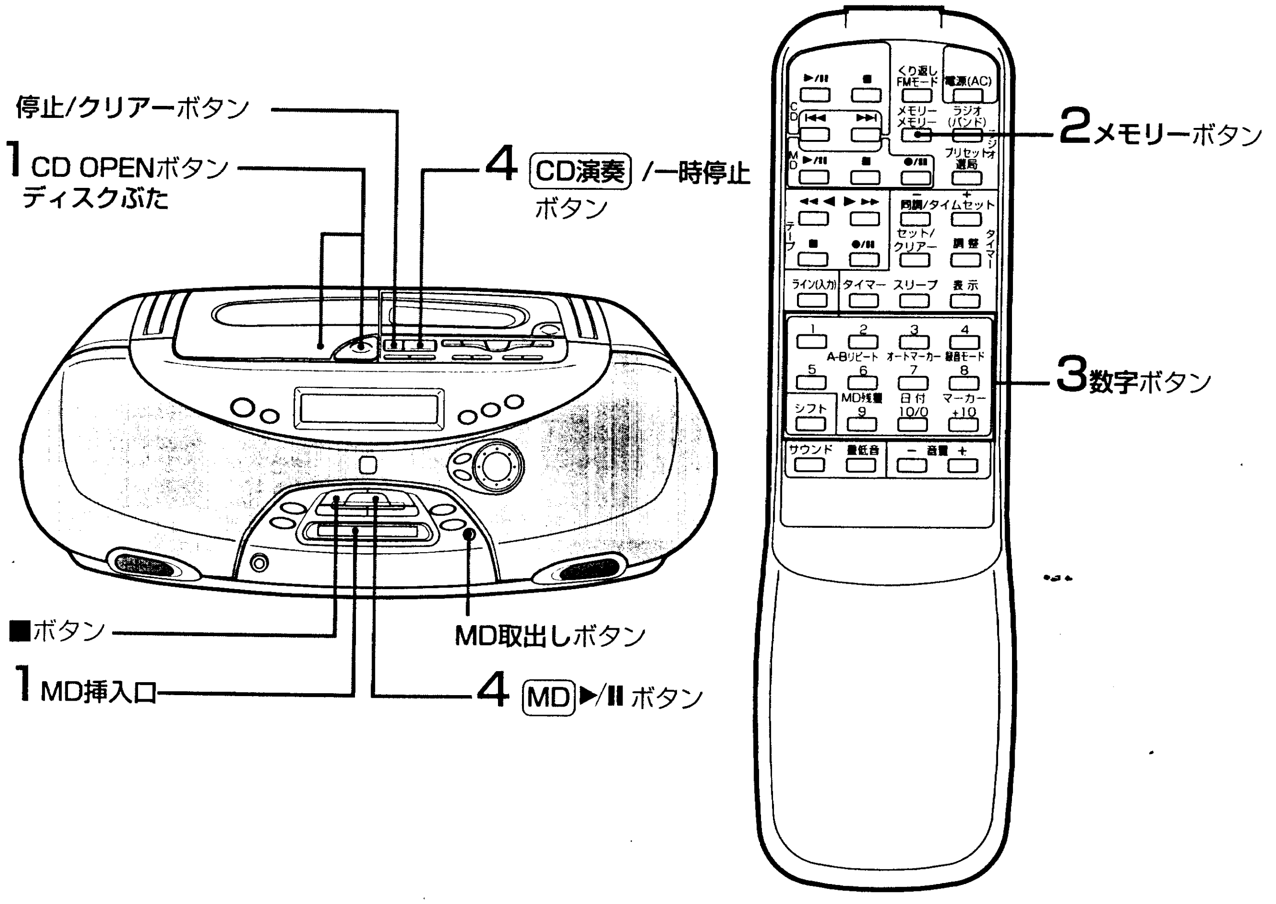


③ ① ② ④

| 曲番1 | 曲番2 | 曲番3 | 曲番4 | 曲番5 | 曲番6 |
|---|---|---|---|---|---|

①→②→③→④の順に演奏します。

**CD・MDどちらでも操作手順は同じです**




### ちょっとこれを！

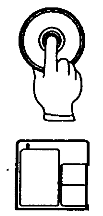
- 演奏中やCDまたはMDを入れていない状態ではプログラムできません。
- 表示部に示される「PR.1」「PR.2」…はプログラム・ナンバー（演奏順）の意味です。



## 操作とはたらき ／ 表示

- プログラムする方のボタン（CD…停止／クリアーボタン、MD…■ボタン）を押す。ファンクションを「CD」または「MD」にしておきます。

**1**

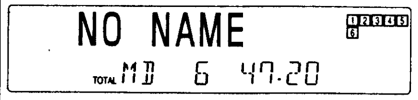


**CD** CD OPENボタンを押してCDを入れ、ディスクぶたを閉める。

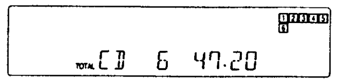
**MD** MDを入れる。

- 演奏している場合は、停止状態にしてください。

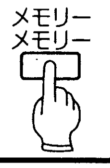
（例）6曲入りで47分20秒のMDの場合




（例）6曲入りで47分20秒のCDの場合



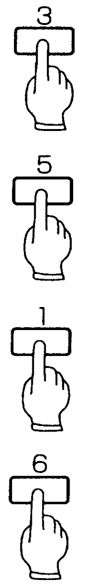

**2**




メモリーボタンを押す。

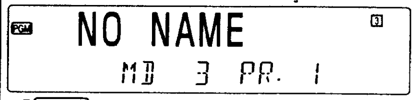
「PGM」が点滅

**3**




演奏したい曲番の数字ボタンを押し、曲番3、曲番5、曲番1、曲番6の順で予約する。

① 3のボタンを押す。




「PGM」が点灯

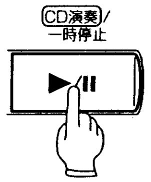
② 5のボタンを押す。

③ 1のボタンを押す。

④ 6のボタンを押す。

これで演奏順の曲番「3」、「5」、「1」、「6」が予約されました。

**4**



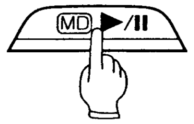

**CD** CD演奏 ／一時停止ボタンを押す。

**MD** MD ▶/II ボタンを押す。

予約した順番で演奏が始まります。
ミュージックカレンダーは、演奏が終わった曲番から自動的に消えて行きます。（同じ曲番を重複して予約したときは、その回数分を演奏し終わると消えます。）

「▶」が点灯

最後に予約した曲が終わると停止状態になります。



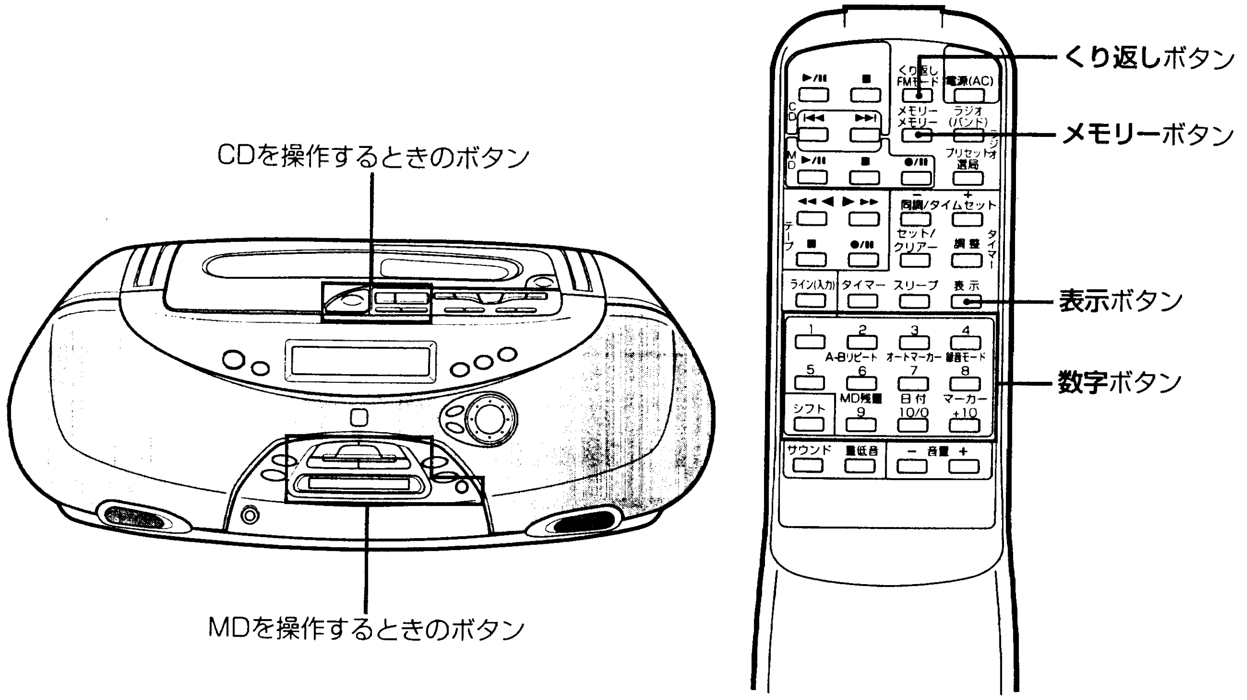
### プログラムを取り消すには

**CD** 停止状態でCD OPENボタンを押す。または停止／クリアーボタンを押す。

**MD** MD取出しボタンを押す。または停止状態でMDの■ボタンを押す。

### 予約内容を確認するには

停止時に、メモリーボタンを押す。
押すたびに予約した曲番と演奏順が表示部で確認できます。
予約曲の追加・変更については次のページをごらんください。




## 予約曲の追加

リモコンで操作してください。

1 停止時にメモリーボタンを繰り返して押し、「-- --  -- --.-- --」を表示させる。

2 リモコンの数字ボタンで追加したい曲番を選ぶ。

## 予約曲の変更

1 停止時にメモリーボタンを繰り返して押し、変更したい曲番を表示させる。

2 リモコンの数字ボタンを押して、新しい曲番を選ぶ。

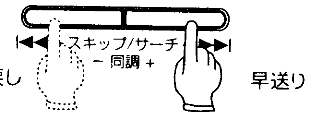
● 予約曲を一部取り消したり、予約曲と予約曲との間に曲番を追加することはできません。

## 早戻し／早送り（サーチ）

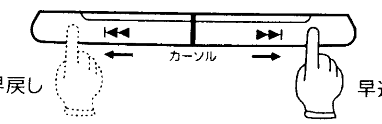
演奏中や一時停止中に、◀◀ または ▶▶ ボタンを押し続け、聞きたいところにきたら指を離す。

● プログラム演奏中のサーチは演奏中の曲の中だけでできます。

CD のとき




MD のとき



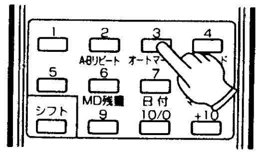

## 聞きたい曲から聞くには（ダイレクト選曲）

リモコンの数字ボタン（1~9、10／0、+10）で聞きたい曲番を選ぶ。

● 演奏中の場合は、すぐにご希望の曲に切り換えることができます。

（例）3曲目から聞くとき

3 のボタンを押す。



（例）10曲目から聞くとき

+10 を押して、10／0 を押す。

（例）25曲目から聞くとき

+10 を2回押して、5 を押す。

● プログラム演奏モードでは、ダイレクト選曲はできません。

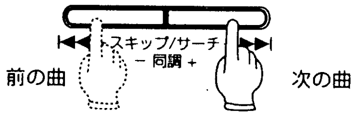
● 本体の◀◀ または ▶▶ ボタンで曲番を指定し、▶/II ボタンを押してスタートすることもできます。

## 曲の頭出し（スキップ）

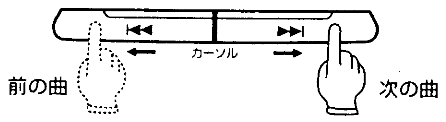
◀◀ または ▶▶ ボタンを軽くポンポンと押す。

プログラム演奏中は、予約順に曲の頭出しをします。

CD のとき




MD のとき

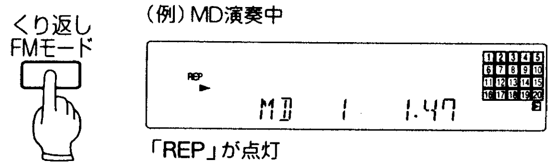



## 繰り返し（リピート）演奏

リモコンで操作してください。

演奏前または演奏中くり返しボタンを押す。

通常演奏でもプログラム演奏でも操作方法は同じです。




● 通常演奏の場合は、最後まで演奏すると、最初の曲に戻り、繰り返し演奏します。

● プログラム演奏の場合は、最後の予約曲の演奏が終わると、最初の予約曲に戻り、繰り返し演奏します。

**リピートを解除するには**

● くり返しボタンをもう一度押す。（「REP」表示が消えます。）

下記の操作でも解除できます。

CD のとき

● 停止状態でCD OPENボタンを押す。

● 停止状態で停止／クリアーボタンを押す。

MD のとき

● MD取出しボタンを押す。

● 停止状態でMDの ■ ボタンを押す。

**一曲だけを繰り返し演奏するには……**

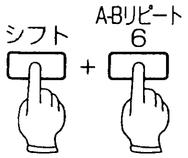
「プログラム演奏」P30 の2と3の手順で一曲予約して演奏し、くり返しボタンを押してください。

## MD A-B繰り返し（リピート）再生

リモコンで操作してください。

MDを再生中に好みの2点（A点、B点）を指定して、その間を繰り返し（リピート）再生します。

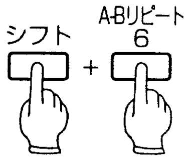
1.くり返し開始点（A点）を指定します。




シフトボタンとA-Bリピートボタンを同時に押す。

## MD A-B繰り返し（リピート）再生（つづき）

2.くり返し開始点（B点）を指定します。




シフトボタンとA-Bリピートボタンを同時に押す。

3.A点とB点の間をくり返し再生します。

● A-Bリピートを解除するには
もう一度シフトボタンとA-Bリピートボタンを同時に押します。通常の再生に戻ります。

## CD表示の切り換え

CDの演奏中にリモコンの表示ボタンを押すと、押すたびに表示部は次のように切り換わります。

現在の曲番、演奏時間
⇩
現在時刻表示
⇩
テープカウンター表示
（最初に戻る）

約10秒後に現在の曲番、演奏時間表示に戻ります。

● 停止中は全曲数、全演奏時間を表示します。

● CDを装着していないときは「NO DISC」を表示します。

## MD表示の切り換え

MDの演奏中にリモコンの表示ボタンを押すと、押すたびに表示部は次のように切り換わります。

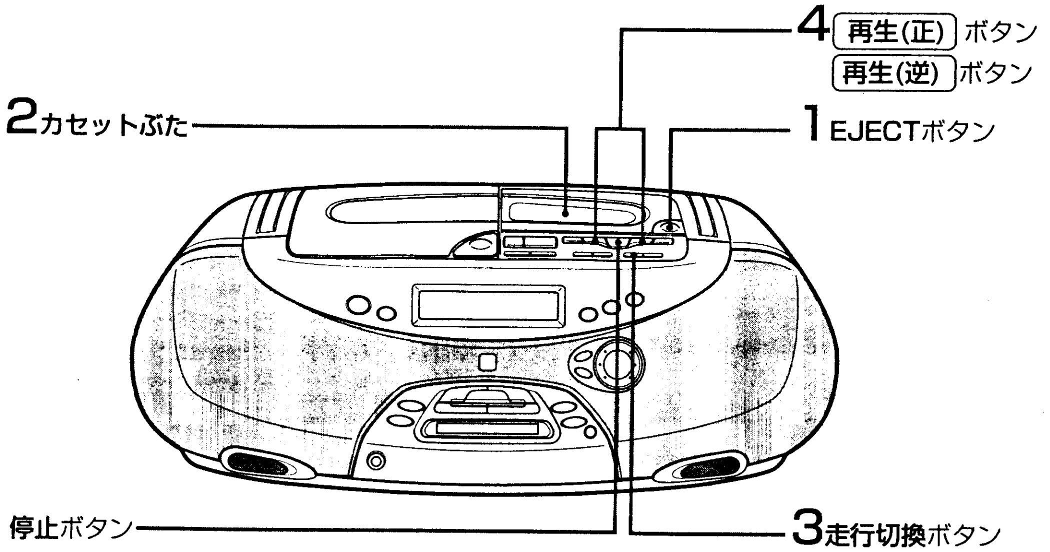
現在の曲番、演奏時間、入力レベル
⇩
現在の曲番、演奏時間、曲名表示
⇩
録音日付と録音時刻表示
●録音日時表示しないものもあります。
⇩
現在時刻表示、入力レベル
⇩
テープカウンター表示、入力レベル
（最初に戻る）

テープカウンター表示以外の表示モードは、約10秒後に現在の曲番、演奏時間表示に戻ります。

● 停止中はディスク名、全曲数、全演奏時間を表示します。

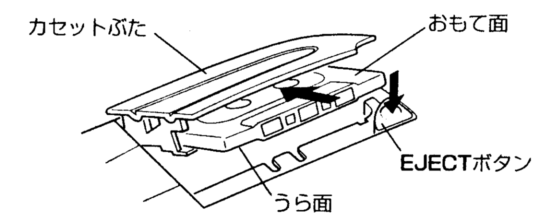
● MDを装着していないときは「NO DISC」を表示します。

つづく



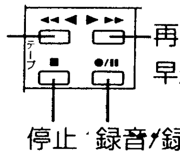

## カセットテープの入れかた

デッキのEJECTボタンを押すとカセットぶたが開きます。




カセットテープを入れたら、カセットぶたを閉めてください。

## リモコンのテープ操作ボタン




リモコンの ◀◀◀ ▶▶▶ ボタンは、再生と自動頭出し（AMSS）・早送り／巻戻しボタンを兼用しています。押しかたによって機能がちがいます。

再生するとき ………………… ポンと押す
AMSS・早送り／巻戻しするとき ‥ 1秒以上押す

### オートテープセレクター機能について

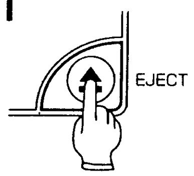
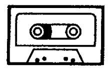
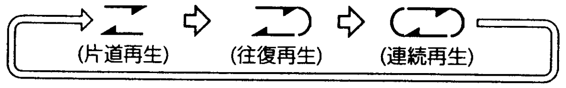
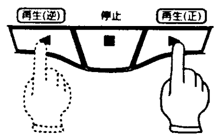
ノーマルテープ（TYPE Ⅰ）、ハイポジション（クローム）テープ（TYPE Ⅱ）、メタルテープ（再生のみ）（TYPE Ⅳ）が使えます。テープの種類を自動的に識別する**オートテープセレクター**がついていますので、テープの種類によって切り換える必要はありません。

### お使いになるカセットテープについて

- エンドレステープは使用できません。
- ツメを折ったカセットテープでは録音できません。
- 片側のツメが折れたテープで録音すると、オートリバースせずにテープは停止します。
- 100分以上の長時間テープは大変薄く、伸びやすいため、機械に巻き込んだりすることがありますので使用しないでください。
- メタルテープで録音はしないでください。十分な性能を発揮することはできません。（メタルテープは再生のみ）



停止ボタンを押して、TAPEファンクションにしたとき

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 1  | **EJECTボタンを押す。**<br>カセットぶたが開きます。 | TAPE -- -- |
| 2  | **カセットテープを入れ、カセットぶたを閉めます。**<br>● テープカウンターの使い方 P35 | TAPE 0 00 |
| 3 走行切換 | **走行切換ボタンを押して、表示部にご希望のリバースモードを表示させる。**<br>● ボタンを押すたびに次の順番で変わります。<br> (片道再生) ⇨ (往復再生) ⇨ (連続再生) | TAPE 0 00<br>片道再生のとき |
| 4  | **再生（正） または 再生（逆） ボタンを押す。**<br>再生（正） ボタンを押すと、おもて面の再生が始まります。ミュージックカレンダー表示は時計回りに回転します。<br>再生（逆） ボタンを押すと、うら面の再生が始まります。ミュージックカレンダー表示は反時計回りに回転します。<br>● 再生中の走行方向と反対向きの再生ボタンを押すと、好きなところでテープの再生面を切り換えられます。 | TAPE 0 01<br>おもて面の再生を開始したとき<br>● ミュージックカレンダーの外側の表示が時計回りに回転する。 |

### 再生を止めるには

停止ボタンを押す。

### テープを取り出すには

EJECTボタンを押す。

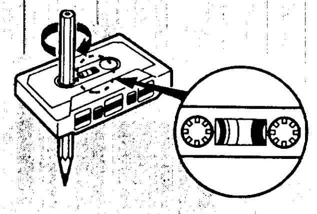
聞きかた
テープ

### ちょっとこれを!

- PHS（簡易型携帯電話機）を近くに置かないでください。再生中にノイズが聞こえることがあります。

### テープにたるみがあるときは

巻き込んだりして故障の原因になりますので、鉛筆などでたるみをとってから入れてください。

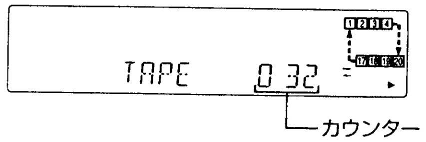


- テープを引き出したり、テープ面にふれないでください。
- リーダーテープ部を巻き取るときは、矢印方向に回してください。逆に回すと巻き込みの原因になります。

## テープカウンターの使いかた

テープの動きに合わせて表示部にカウンターの数字が表示されます。

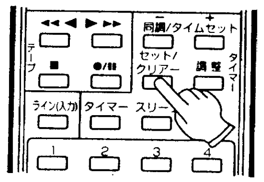
(例)

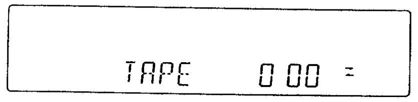



テープを再生するときや録音するときに、曲の始めや終わりなどすぐに探したいところの数字をメモしておけば、その数字が目安になって簡単に見つけ出すことができます。細かい編集録音をするときなどに便利です。

- テープカウンターは「TAPE」のファンクションを選んだときに表示されます。
  他のファンクションのときは**リモコン**の表示ボタンを使って表示させることができます。P98
- カウンターは、テープが右側へ走行中は数字が増加し、左側へ走行中は減少していきます。

**カウンターを「000」にするには**
**リモコンのセット／クリアーボタンを押す。**




- カウンターの数値はリセットしないかぎり、電源を切っても切る前の数値が保持されます。
- テープを入れ替えたときも、前に停止したときのカウンターの数字が表示されますので、カウンターをリセットしてください。
- カウンターの数値は、CD ▶ TAPE ワンタッチ録音をスタートすると自動的に「000」に戻ってスタートします。



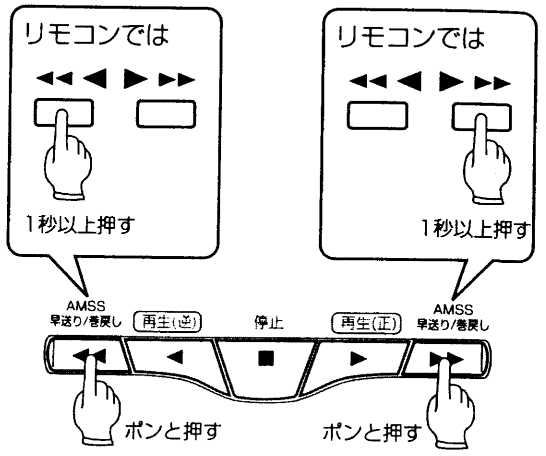
## 曲の頭出し(AMSS(アムス))

再生中、AMSSボタン ◀◀ または ▶▶ を押して、曲の頭出しをします。今聞いているところから前後の曲の頭に飛び越して、再生できます。

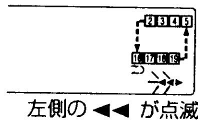
リモコンの ◀◀ ◀ または ▶ ▶▶ ボタンを1秒以上押しても同じです。

(AMSS:Automatic(オートマチック) Music(ミュージック) Select(セレクト) System(システム))

**おもて面を再生中の場合**

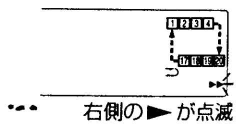



**今、聞いている曲を頭出しする**




今聞いている曲の頭に戻って再生が始まります。

**次の曲を頭出しする**




次の曲の頭から再生が始まります。

- うら面を再生中(◀ が点灯のとき)は、逆のはたらきになります。

**ご注意**

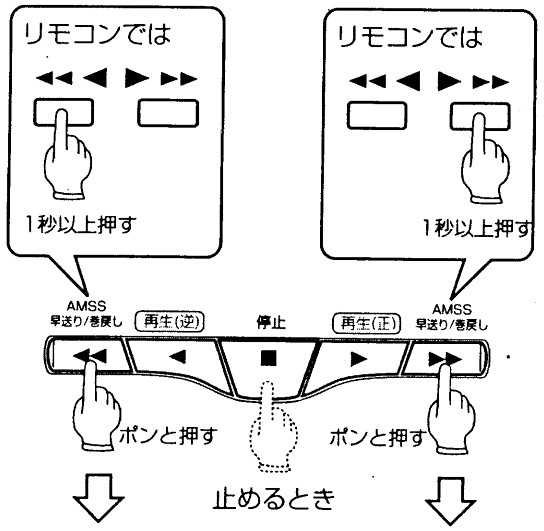
AMSSは、ミュージックテープなどの曲間の無録音部分(約4秒以上)を検出することにより自動的に頭出ししますので、次のようなときは正常に動作しないことがありますが故障ではありません。
- 無録音部分の短いテープ(約4秒以下)を使用のとき。
- 音楽などの中で特に音の小さい部分があるテープを使用のとき。
- 曲間に大きな雑音などが録音されているようなテープを使用のとき。
- 本機をテレビの近くに置いて使用した場合、テレビなどからの電波の影響でAMSSが正常に動作しないことがあります。
  このような場合には、本機をテレビから離してください。

## テープを早巻きする

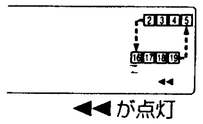
停止中に、早送り／巻戻しボタン ◀◀ または ▶▶ を押す。

リモコンの ◀◀ ◀ または ▶ ▶▶ ボタンを1秒以上押しても同じです。

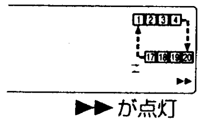
お望みのところまで巻取ったら、停止ボタンを押します。




**左方向へ早巻き**




**右方向へ早巻き**




## フルオートストップについて

再生、録音、早巻き中に、テープが終端までくると自動的にテープが停止します。

ただし、再生時にリバースモードが「⊂⊃」になっているときはオートストップは働きません。

☞つづく

本機では3つの方法で選局ができます。

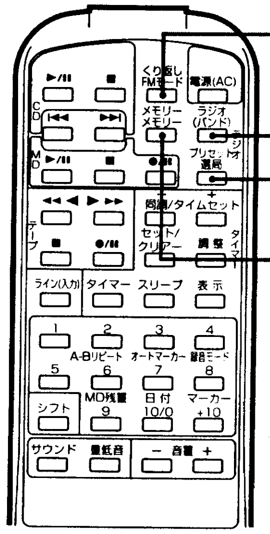
エリアバンド選局 ････ 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡地区でご使用になる場合、地域名（エリア）とプリセット番号を選ぶだけで受信します。P37〜40

アップ／ダウン選局･･ 受信したい放送局の周波数やチャンネルに自動（オートスキャン）または、手動（マニュアル）で合わせます。P41〜42

プログラム選局 ･･････ ご自分でプリセットした放送局を受信するときに使います。P43〜44
FM、AMでそれぞれ10局まで、TVでは1〜3チャンネルまでの3局がプリセットできます。

## エリアバンド選局

エリア（上記7地区）別に主な放送局の周波数やチャンネルがすでに登録（プリセット）されています。P40
本機をお使いになる地域（エリア）にあわせてエリアバンドを切り換え、希望の放送局のプリセット番号を選ぶと放送を受信します。（出荷時は大阪に設定されています。）




### FMステレオ放送の受信について

リモコンのFMモードボタンを押すたびに、ステレオモードとモノラルモードが交互に変わります。ステレオモード時は、ステレオ放送を受信すると、自動的に表示部に「ST」を表示してステレオ放送になります。

（例）

FM 88.1 MHz ST

ステレオモード

受信状態が悪いと「ST」が表示されないことがあります。
この場合、モノラルモード（「MONO」表示）にすると、ステレオにはなりませんが聞きやすくなります。

● 設定されたモードは、バンド、ファンクションの切り換え、受信周波数の変更、電源の切←→入によっても変わりません。

### 受信状態が悪いときは

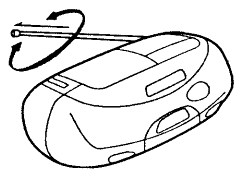
リモコンで次の操作をしてください。

① メモリーボタンを押す。
② PGM が点滅中に ⏮ ボタンを押す。
ボタンを押すたびに「BC‐‐A」←→「BC‐‐B」が表示部に交互に表示されますので受信状態が良くなる方を選んでください。

### よりよい受信をするためには

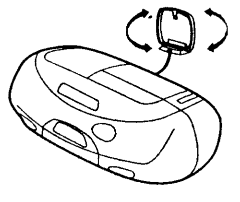
アンテナの調節をしてください。

FM放送やテレビ音声のとき



ロッドアンテナを伸ばし、もっとも良く聞こえるようにします。

AM放送のとき



付属のAMループアンテナを本体から離し、アンテナの向きを変えて、もっとも良く聞こえるようにします。（AMループアンテナの接続 P17 ）

● エリアバンド以外の地域の放送を受信する場合は、プログラム選局 P43〜44 に従ってご自分でプリセットするかまたはアップ／ダウン選局で受信してください。

## エリアバンドを切り換える

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 1 ラジオ（バンド） | **ラジオ（バンド）ボタンを押してチューナーファンクションにする。**<br>どのバンドでもかまいません。 | （例）大阪地区のFM放送のプリセット番号1の局の内容を表示<br>FM 1 80.2 MHz |
| 2 メモリー | **メモリーボタンを押す。**<br>● PGM が点滅中にもう一度押すと取り消されます。 | FM 1 80.2 MHz<br>「PGM」が点滅 |
| 3 ラジオ（バンド） | **PGM が点滅している間に、ラジオ（バンド）ボタンを繰り返し押してご希望のエリアを表示させる。**<br>● ボタンを押すたびに次の順序でエリアが切り換わります。<br>OSAKA（大阪）→HIROSHIMA（広島）→FUKUOKA（福岡）→SAPPORO（札幌）→SENDAI（仙台）→TOKYO（東京）→NAGOYA（名古屋）→OSAKA･･･ | (例)東京<br>AREA NAME<br>TOKYO |
| 4 メモリー | **PGM が点滅している間に、メモリーボタンを押す。**<br>FMバンドのプリセット番号1の局を受信します。<br>このとき、FM、AM、TVバンドのプリセット局は全て、そのエリアの初期状態（工場出荷時のプリセット内容）になります。 | （例）東京地区のFM放送のプリセット番号1の局の内容を表示<br>FM 1 78.0 MHz |

プリセット局を選局する P39
P40 のエリアバンドプリセット一覧表をごらんになり選局してください。

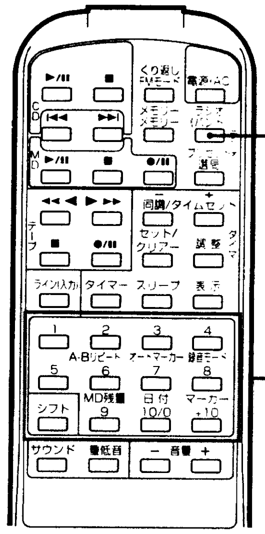
### ちょっとこれを！

● 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。
● テレビに色ズレが生じたり、本機にテレビの雑音が入る場合は、本機とテレビを離してご使用ください。
● 室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でテレビ音声を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
● テレビ音声の場合は、ステレオ・音声多重放送にはなりません。
● テレビ受信範囲は1〜3チャンネルですので、4チャンネル以降の局は受信できません。
● AMステレオ放送には対応していません。

聞きかた ラジオ・テレビ音声

## プリセット局を選局する

### ダイレクト選局のしかた




1 ラジオ（バンド）ボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。

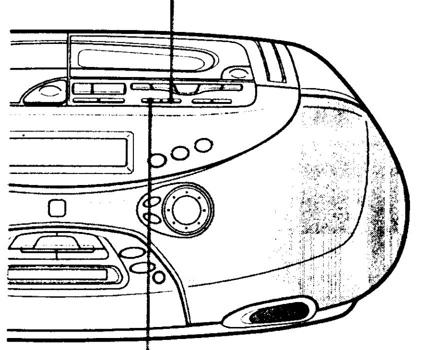
→FM→AM→TV→

2 数字ボタンでご希望のプリセット番号を選ぶ。

FM, AM放送は1～10のいずれか1つを押す。
TV放送は1～3のいずれか1つを押す。

（例）AMバンドを選び3のボタンを押したとき。
（エリアバンド）　（プリセットされた放送局）
東京（TOKYO）ならば「FEN」
大阪（OSAKA）ならば「NHK第2」
名古屋（NAGOYA）はらば「CBC中部日本」を
それぞれ選局します。

### プリセットスキャン選局のしかた




1 ラジオ（バンド）ボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。

2 プリセット選局ボタンを約0.5秒以上押す。

プリセット局を順次約5秒ずつ受信します。
ミュージックカレンダーがFM, AM放送では1～10、TV放送では1～3が順次点滅します。
● 一通り受信すると、ボタンを押す前の放送を受信します。

3 ご希望の放送を受信したとき、約5秒以内にプリセット選局ボタンを押すと、その放送を受信し続けます。

◆ 次の方法でも予約した局を選局できます。（本体側の操作）

① ラジオ（バンド）ボタンを押してご希望のバンドを選ぶ。

② プリセット選局ボタンを軽くポンポンと押して、ご希望のプリセット番号を表示させる。

- プリセット局を受信中は、ボタンを押すたびに次のプリセット局に移ります。
- プリセット局以外を受信中は、ボタンを押すと、最初にプリセット番号「1」の局を受信します。



## エリアバンドプリセット一覧表　（□内数字はプリセット番号を示します。）

**名古屋(NAGOYA)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | NHK第1 | 729kHz |
| 2 | NHK第2 | 909 |
| 3 | CBC中部日本 | 1053 |
| 4 | 東海ラジオ | 1332 |
| 5 | 岐阜ラジオ | 1431 |
| FM放送 | | |
| 1 | FM名古屋 | 77.8MHz |
| 2 | FM三重 | 78.9 |
| 3 | FM愛知 | 80.7 |
| 4 | NHK-FM名古屋 | 82.5 |
| TV放送 | | |
| 1 | 東海テレビ | 1ch |
| 2 | NHK総合 | 3 |

**札幌(SAPPORO)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | NHK第1札幌 | 567kHz |
| 2 | NHK第2札幌 | 747 |
| 3 | 北海道放送 | 1287 |
| 4 | STVラジオ | 1440 |
| FM放送 | | |
| 1 | FM北海道 | 80.4MHz |
| 2 | FMノースウェーブ | 82.5 |
| 3 | NHK-FM札幌 | 85.2 |
| TV放送 | | |
| 1 | 北海道放送 | 1ch |
| 2 | NHK総合 | 3 |

**福岡(FUKUOKA)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | NHK第1 | 612kHz |
| 2 | NHK第2 | 1017 |
| 3 | RKB毎日 | 1278 |
| 4 | 九州朝日 | 1413 |
| FM放送 | | |
| 1 | FM九州 | 78.7MHz |
| 2 | FM福岡 | 80.7 |
| 3 | NHK-FM福岡 | 84.8 |
| TV放送 | | |
| 1 | 九州朝日放送 | 1ch |
| 2 | NHK総合 | 3 |

**仙台(SENDAI)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | NHK第1 | 891kHz |
| 2 | NHK第2 | 1089 |
| 3 | 東北放送 | 1260 |
| FM放送 | | |
| 1 | FM仙台 | 77.1MHz |
| 2 | NHK-FM仙台 | 82.5 |
| TV放送 | | |
| 1 | 東北放送 | 1ch |
| 2 | NHK総合 | 3 |

**広島(HIROSHIMA)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | NHK第2 | 702kHz |
| 2 | NHK第1 | 1071 |
| 3 | 中国放送 | 1350 |
| 4 | 山陽放送 | 1494 |
| FM放送 | | |
| 1 | FM広島 | 78.2MHz |
| 2 | FM香川 | 78.6 |
| 3 | NHK-FM広島 | 88.3 |
| TV放送 | | |
| 1 | NHK総合 | 3ch |

**大阪(OSAKA)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | 関西放送 | 558kHz |
| 2 | NHK第1 | 666 |
| 3 | NHK第2 | 828 |
| 4 | ABC朝日 | 1008 |
| 5 | 京都放送 | 1143 |
| 6 | 毎日放送 | 1179 |
| 7 | ラジオ大阪 | 1314 |
| FM放送 | | |
| 1 | FM802 | 80.2MHz |
| 2 | FMもりぐち | 82.4 |
| 3 | NHK-FM京都 | 82.8 |
| 4 | FM大阪 | 85.1 |
| 5 | NHK-FM神戸 | 86.5 |
| 6 | NHK-FM大阪 | 88.1 |
| 7 | FM京都(α-STATION) | 89.4 |
| 8 | FM兵庫(Kiss FM) | 89.9 |
| TV放送 | | |
| 1 | NHK総合 | 2ch |

**東京(TOKYO)**

| | | |
|---|---|---|
| AM放送 | | |
| 1 | NHK第1 | 594kHz |
| 2 | NHK第2 | 693 |
| 3 | FEN | 810 |
| 4 | TBS | 954 |
| 5 | 文化放送 | 1134 |
| 6 | ニッポン放送 | 1242 |
| 7 | ラジオ日本 | 1422 |
| FM放送 | | |
| 1 | FMサウンド千葉(bayfm) | 78.0MHz |
| 2 | FM富士 | 78.6 |
| 3 | FM埼玉(NACK 5) | 79.5 |
| 4 | 東京FM | 80.0 |
| 5 | FMジャパン(J-WAVE) | 81.3 |
| 6 | NHK-FM東京 | 82.5 |
| 7 | FM横浜 | 84.7 |
| TV放送 | | |
| 1 | NHK総合 | 1ch |
| 2 | NHK教育 | 3 |

**ちょっとこれを！**

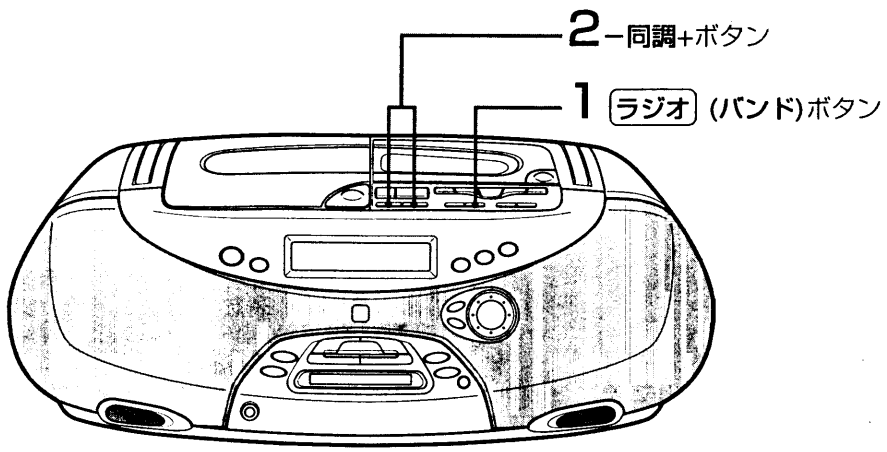
各バンドとも全てのプリセット番号（FM, AMは1～10、TVは1～3）に、上記の放送局やある特定の周波数（チャンネル）がプリセットされています。
従ってFM, AMではミュージックカレンダーの1～10まで、TVでは1～3までが点灯します。

つづく

## アップ／ダウン選局

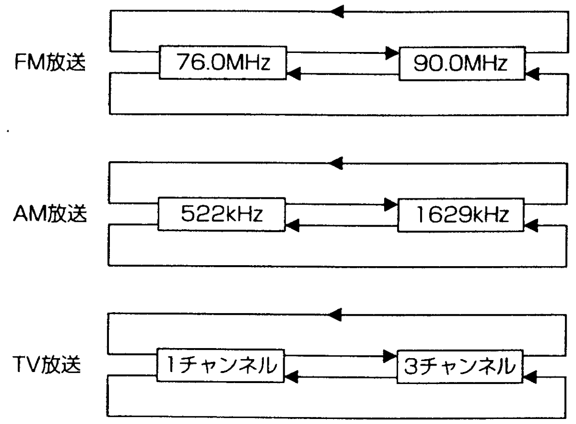
### オートスキャン（自動）選局

自動的に放送局を受信します。



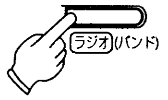
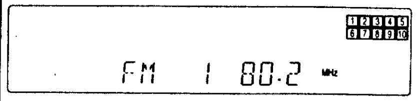
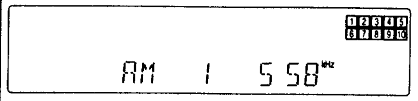
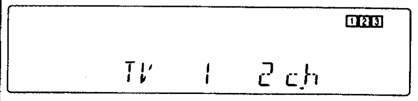
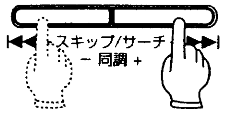

**周波数（チャンネル）は次のように変わります**

選局中、各バンドの上限、下限に達すると、周波数（チャンネル）は各バンドの下限、上限に移ります。




**ちょっとこれを！**

● 選局時、周波数は正しく合わせてください。
新聞の番組欄を利用すると便利です。

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| | ● どのファンクションモードからでも次の手順で選局できます。 | |
| 1  | ラジオ（バンド）ボタンで聞きたいバンドを選ぶ。<br>● 前に受信していたバンドと周波数またはチャンネルが表示されます。<br>● ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。<br>→ FM → AM → TV → |  (例)FM放送　80.2MHz<br> (例)AM放送　558kHz<br> (例)TV放送　2チャンネル |
| 2  | −同調+ボタンを1秒以上押す。<br>周波数が自動的に進み、放送を受信すると自動停止します。<br>● 電波が弱く受信状態が悪い場合は、自動停止しないことがあります。<br>● 周囲に妨害電波がある場合は、それで自動停止することがありますが故障ではありません。<br>● ボタンを押し続けていると、自動停止しません。 | FM 76.0→76.1→76.2→76.3→<br>AM 522→531→540→549→<br>TV 1ch→2ch→3ch→1ch→ |





### マニュアル（手動）選局

1 ラジオ（バンド）ボタンで聞きたいバンドを選ぶ。

2 −同調+ボタンをポンポンと押す。

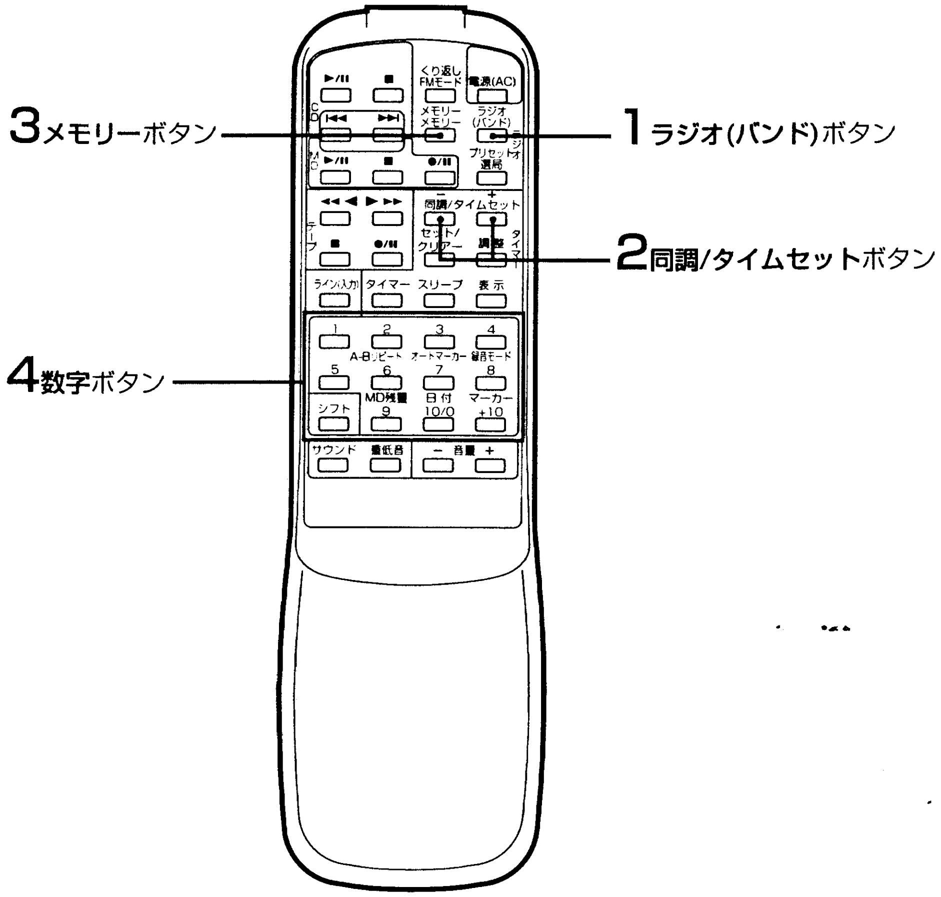
放送局を選びます。

FM：0.1MHzステップで変わります。
AM：9kHzステップで変わります。
TV：1チャンネルステップで変わります。
ボタンを押し続けると連続的に周波数（チャンネル）が変わります。

## プログラム選局

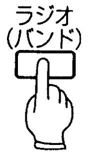
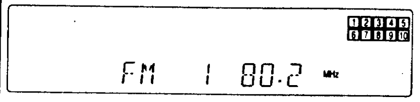
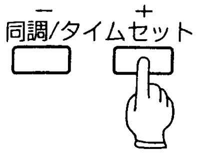
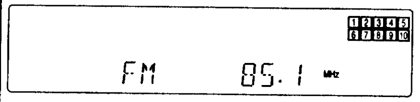
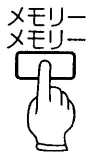
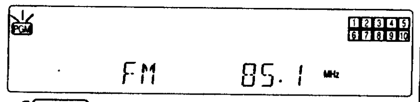
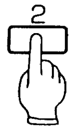
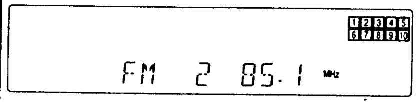
ご希望の局を選局した後、その受信周波数（またはチャンネル）をプリセットしておくと、**リモコンの数字**ボタンや本体の**プリセット選局**ボタンを使って簡単に選局できます。
FM、AMでそれぞれ10局まで、TVでは1〜3チャンネルまでの3局がプリセットできます。

### 希望局をプリセットする




ちょっとこれを！

- 初めて操作するときは、各バンドとも、ある特定の周波数やチャンネルが既にプリセットされています。P37
- すでにプリセットされているプリセット番号に新しくプリセットすると、前のプリセットは取り消されます。

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 1  | **ラジオ（バンド）**ボタンでプリセットしたいバンドを選ぶ。 |  (例)FM放送を受信した場合 |
| 2  | **同調／タイムセット**ボタンの「＋」または「－」を押して希望局を受信する。 |  (例)85.1MHzの放送を受信した場合 |
| 3  | **メモリー**ボタンを押す。<br>● PGM が点滅中にもう一度押すと取り消されます。 |  「PGM」が点滅 |
| 4  | PGM が点滅している間に、**数字**ボタンの2を押す。<br>(例) プリセット番号「2」にプリセットするとき |  プリセット番号「2」を表示 |
| 5 | 同じバンド内で上記2〜4を繰り返す。 | |
| 6 | 他のバンドに切り換え、2〜4を繰り返す。 | |

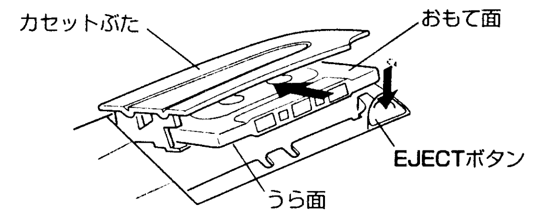
プリセットした局を選局するには、P39 の方法でおこなってください。

# テープに録音をする前に

テープへの録音…CD、MD、ラジオ・テレビ音声、マイク、ライン入力から録音できます。

## カセットテープの入れかた

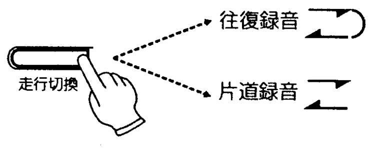
デッキのEJECTボタンを押してカセットテープを入れます。




録音を始める面を上側に向け、テープの露出している方を手前にして入れます。
入れ終わったら、カセットぶたを閉めてください。

## オートリバース録音のしかた

走行切換ボタンを使って、テープを裏返すことなく、往復録音と片道録音を選べます。録音をスタートする前に、ボタンを押して表示部に次のマークを表示させてください。




- リバースモードとテープ走行方向については P96 をごらんください。
- 「往復」にしたときは、録音状態にすると自動的に「片道」表示になります。
- カセットテープのB面のツメが折れている場合は、「片道」表示は出ても、B面には録音されません。

## CD ▶ テープ ワンタッチ録音（倍速／定速）について

CD ▶ テープ ワンタッチ録音で次のような編集録音ができます。

### オートエディット（自動編集）録音 P47〜48

曲番を変えずに全曲を録音します。最も簡単な方法です。
**基本操作:**
① CDを入れる。
② 倍速または定速ボタンを押して録音に必要なテープ長を確認する。
③ 適当なテープ長のテープを入れる。
④ 倍速または定速ボタンを押す。

### バックスキップエディット録音 P49〜50

テープ終端で曲が切れる場合、テープが反転した後、曲の頭に戻って録音をスタートします。
**基本操作:**
① CDを入れる。
② 倍速または定速ボタンを押して録音に必要なテープ長を確認する。
③ 録音に必要なテープ長のテープをいれる。
④ CD編集ボタンで「BACK EDIT」を表示させる。
⑤ 倍速または定速ボタンを押す。

### マニュアルエディット録音 P51〜52

テープ巻き戻しをおこなわず録音します。テープエンド処理はバックスキップエディット録音と同じです。
**基本操作:**
① CDを入れる。
② 途中まで録音済みのテープを入れる。
③ CD編集ボタンで「MANU EDIT」を表示させる。
④ 倍速または定速ボタンを押す。

### プログラムエディット録音 P53〜54

指定したテープ長内にお好みの曲順にならびかえてテープがつくれます。
**基本操作:**
① CDを入れる。
② テープを入れる。
③ CD編集ボタンでテープ長を指定する。
④ メモリーボタンを押してからリモコンの数字ボタンで希望曲を予約する。
⑤ 倍速または定速ボタンを押す。

### コンティニュアスエディット（連続編集）録音 P55〜57

何枚ものCDの中のお好みの曲を、連続して編集できます。
**基本操作:**
① CDを入れる。
② テープを入れる。
③「CD編集ボタンでテープ長を指定する」または「BACK EDIT」を表示させる」または「なにも指定しない」
④ メモリーボタンを押してからリモコンの数字ボタンで希望曲を予約する。または希望曲を特に予約しない。
⑤ 倍速または定速ボタンを押す。
- 2枚目以降の録音スピードは変えることはできません。

⑥ 演奏終了後、「DISC CHANG」が表示される。
⑦ CDを交換する。
⑧「④」からの繰り返し。



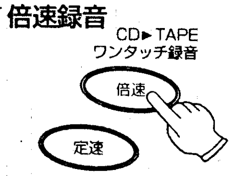
## CD ▶ テープ ワンタッチ録音の自動動作の流れ

CDプレーヤーもテープデッキも停止状態になっていることを確認した後、倍速または定速ボタンを押すだけで、本機は自動的に次の動作をおこない、CDの演奏と録音が同時にスタートします。

- CDファンクションの状態にしておきます。

**押すとボタンが点滅**

**倍速録音**




**定速録音**

⇨

| | | | |
|---|---|---|---|
| デッキ部 | テープの自動巻き戻し<br>◀◀ が点灯 | → | 録音状態になる<br>●「TAPE REC」「▶」点灯<br>● 倍速または定速ボタン点灯 |
| CD部 | 録音する曲の頭で一時停止<br>●「▶」点灯<br>●「COMPU.」点滅 | → | デッキが録音状態になってから8秒後（倍速では4秒後）に CD演奏開始<br>「COMPU.」点灯 |

⇩

**録音中、曲間に約5秒間のオートスペースを作る**

⇦

**テープが残っている場合**

録音終了後、CDは停止します。
デッキは録音待機状態
- A面で録音を終了した場合は、A面に入っている曲番をミュージックカレンダーに表示し、「DISC CHANG」を表示する

**テープが残っていない場合**

録音終了時、「END－－」表示をし、録音された曲番をミュージックカレンダーに表示(A面、B面に振り分けられているときは3秒ずつ交互に表示)

⇦ 次の録音へ

- CDが入った状態でデッキにテープを入れる前に倍速または定速ボタンを押すと、そのCDの録音に必要なテープ長を表示します。（プログラムされているときは、表示されません。）
- テープA面・B面のリーダーテープ部では、録音の頭切れをなくすため、自動的に8秒後（倍速では4秒後）から録音を開始します。
- 録音を開始すると、自動的に約5秒の曲間をつくりながら録音します。（オートスペース）
オートスペースが不要な場合は、マニュアル録音 P58〜59 をしてください。
- 倍速録音時、CDのモニター音は正常に聞きとれませんので音量はしぼっておいてください。
- ワンタッチ録音を途中でやめるときは、CD操作部の停止／クリアーボタンもしくはデッキ操作部の停止ボタンを押します。CDもテープデッキも停止状態になります。
- ワンタッチ録音をスタートすると、テープデッキのカウンター数値は自動的に「000」に戻ってスタートします。
- 録音中に定速 ⟷ 倍速の切り換えはできません。
- 粗悪なCDで倍速録音を行なった場合、テープを再生したときにノイズが発生することがあります。その場合は定速録音をしてください。

テープの途中から録音したいときは、マニュアルエディットまたはマニュアル録音をしてください。P51、58

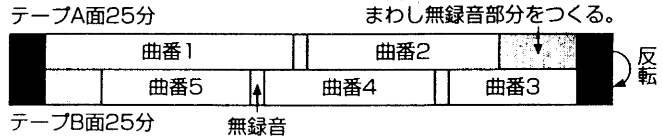
録音

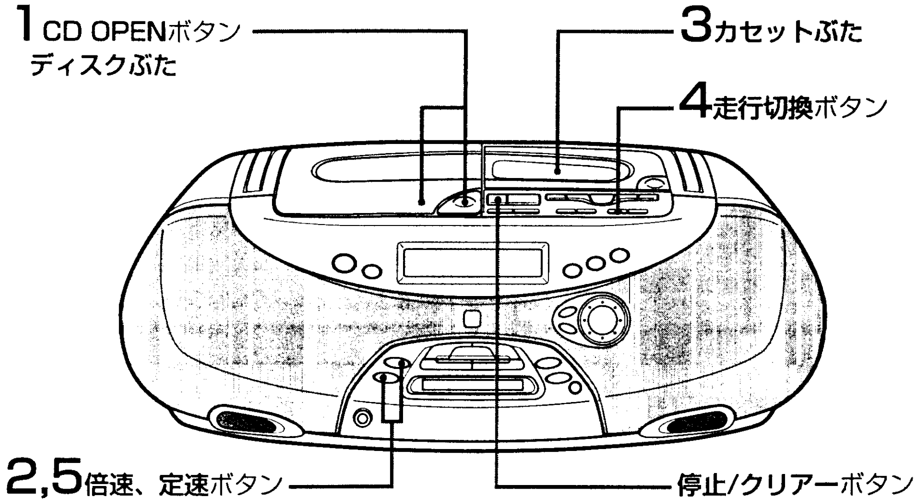
# テープに録音する CD ➡ テープ

つづく

## オートエディット（自動編集）録音

5曲入りのCD(全演奏時間47分20秒)を、
曲順を変えずにC-50テープに全部録音する場合。

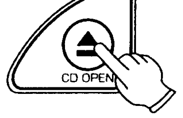



停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする

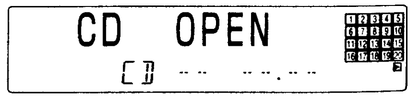
| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| ● CDが入っているときは、停止状態にして2から始めてください。 | |

### 1

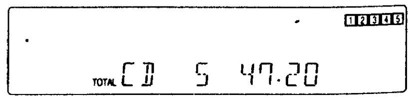



CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。

**表示**

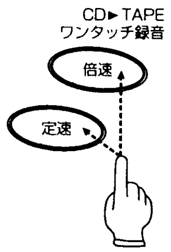



(例)




5曲入り　全演奏時間47分20秒のCDです

### 2




倍速または定速ボタンを押す。

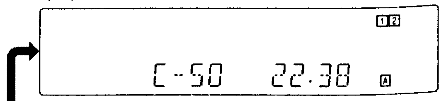
このCDの録音に必要なテープ長をC-46,50,54,60,70,74,90の中から選んで表示します。
またA面に入る曲番とその全演奏時間、B面に入る曲番とその全演奏時間を交互に表示します。

● CDによっては「ERROR」（エラー）表示をすることがあります。その場合はマニュアル録音 P58〜59 をしてください。

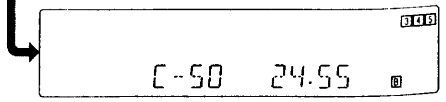
**ご注意**
このとき、デッキにテープが入っていると、5の動作になります。

**表示**

(例)C-50テープが適当




A面に曲番1、2を録音
その全演奏時間は22分38秒

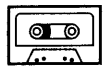



B面に曲番3、4、5を録音
その全演奏時間は24分55秒



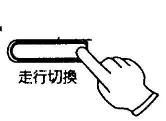
| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|

### 3



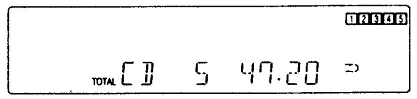
デッキにCD演奏時間に合った録音用テープを入れる。

### 4

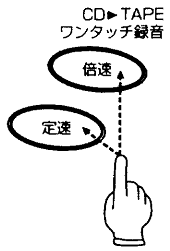



走行切換ボタンを押して表示部に「⊐⊃」を表示させる。

**表示**




### 5




（ボタンが点灯）

押した後は、全て自動的にはたらきます。

倍速録音するときは倍速ボタンを、定速録音するときは定速ボタンを押す。

リーダーテープ分の約8秒間（倍速では4秒間）送りをした後、曲番1から録音を始めます。
● テープの巻き取りが途中になっているテープを入れたときは、はじめまで自動的に巻き戻します。録音スタートまで時間がかかる場合があります。

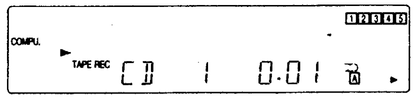
デッキがA面の終端までくると、CDは演奏途中の曲の頭に戻り一時停止します。
このときデッキは録音が途中できれた曲の頭（この例では3曲目）まで戻り、その後、A面の終端まで消去します。

デッキはA面の終端で反転し、リーダーテープ送りをした後B面の録音を始めます。

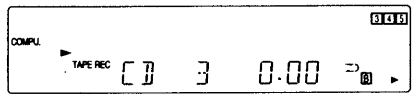
全曲録音終了後、「DISC CHANG」が表示されます。
デッキは録音待機状態になります。
CD OPENボタンを押すと、テープの残時間を表示し、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。
● A面で録音を終了した場合は、「DISC CHANG」を表示します。CD OPENボタンを押すと、「CONT EDIT」（連続）表示をします。
● B面の最後まで録音された場合は、「END - - - -」を表示します。このとき、録音が途中できれた曲は自動的に消去します。

**表示**

録音をスタートしたとき




⇩




A面に録音されていた3曲目を消去中

⇩

B面の録音を開始

### これで録音を止めるには

CDを取り出し、ディスクぶたを閉める。

### 録音を途中で止めるには

停止／クリアーボタンまたは、停止ボタンを押す。

### 続けて録音するには

次のCDを入れてディスクぶたを閉め、5で押した点滅しているボタンを押す。

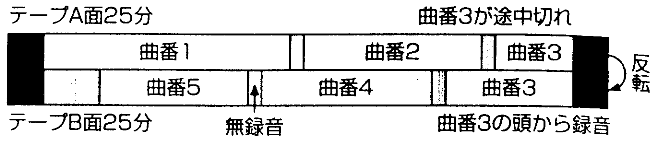
**ちょっとこれを！**

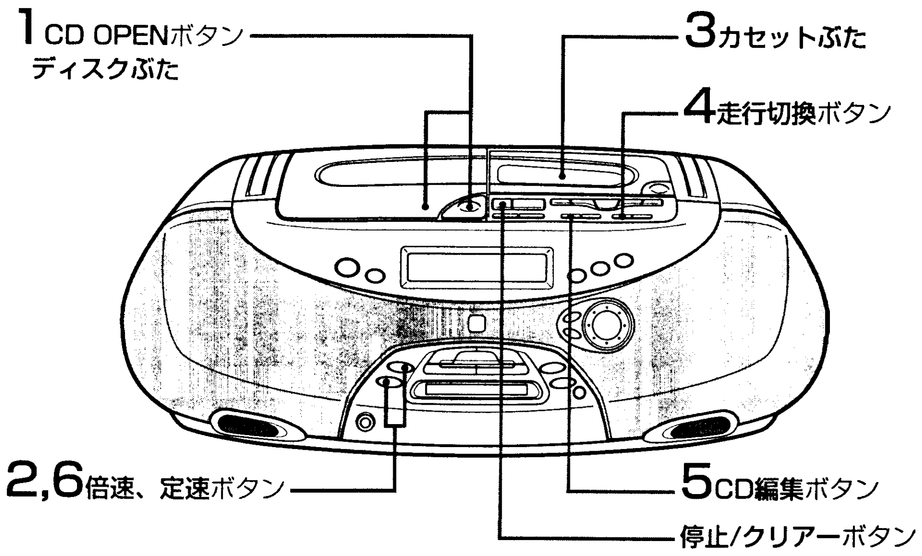
● ディスクぶたを開けた状態で、5で押した点滅しているボタンを押すと、テープの残り部分を消去します。

# バックスキップエディット録音

5曲入りのCD(全演奏時間47分20秒)を、
曲順を変えずにC-50テープに全部録音する場合。

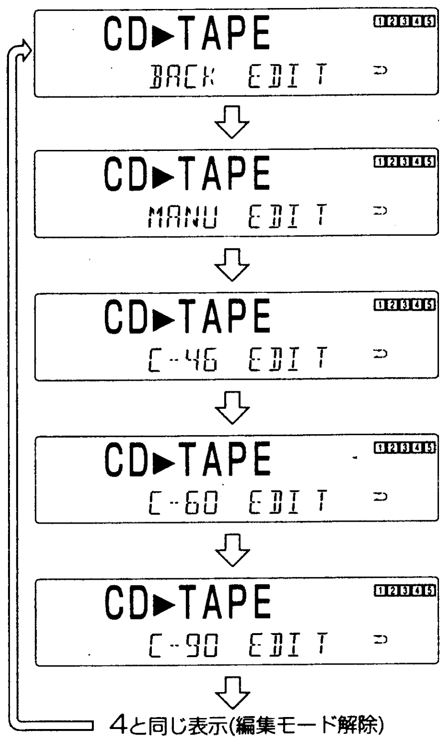
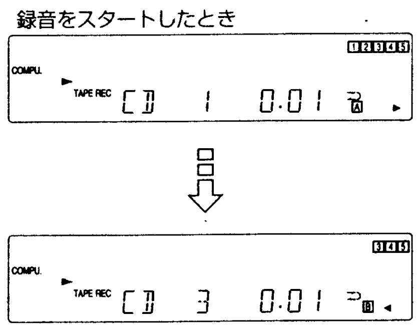
●テープ終端で曲が途中で切れた場合、テープが反転したあと、曲の頭に戻って録音をスタートします。




（停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする）

| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| ● CDが入っているときは、停止状態にして2から始めてください。<br>**1** CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。 | (例)<br>TOTAL CD 5 47.20<br>5曲入り 全演奏時間47分20秒のCDです |
| **2** (CD▶TAPE ワンタッチ録音 倍速 定速)<br>倍速または定速ボタンを押し、このCDの録音に必要なテープ長を確認する。<br>（P47 の2） | (例)<br>C-50 22.38 |
| **3** デッキにCD演奏時間に合った録音用テープを入れる。 | |
| **4** (走行切換)<br>走行切換ボタンを押して表示部に「⊐」を表示させる。 | (例)<br>TOTAL CD 5 47.20 ⊐ |

| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| **5** (CD編集 プリセット選局)<br>CD編集ボタンを押して、「BACK EDIT」を表示させる。<br>● ボタンを押すたびに、「BACK EDIT」→「MANU EDIT」→「C-46 EDIT」→「C-60 EDIT」→「C-90 EDIT」→（編集モード解除）→「BACK EDIT」……の順で変わります。 |  |
| **6** (CD▶TAPE ワンタッチ録音 倍速 定速)<br>（ボタンが点灯）<br>押した後は、全て自動的にはたらきます。<br>倍速録音するときは倍速ボタンを、定速録音するときは定速ボタンを押す。<br>リーダーテープ分の約8秒間（倍速では4秒間）送りをした後、曲番1から録音を始めます。<br>● テープの巻き取りが途中になっているテープを入れたときは、始めまで自動的に巻き戻します。録音スタートまで時間がかかる場合があります。<br>デッキがA面の終端までくると、CDは演奏途中の曲の頭に戻り一時停止します。<br>デッキはA面の終端で反転し、リーダーテープ送りをした後、途中切れした曲の頭から再度録音を開始します。<br>全曲録音終了後、「DISC CHANG」が表示されます。<br>デッキは録音待機状態になります。<br>CD OPENボタンを押すと、テープの残時間を表示し、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。<br>● A面で録音を終了した場合は、「DISC CHANG」を表示します。CD OPENボタンを押すと、「CONT EDIT」（連続）表示をします。<br>● B面の最後まで録音された場合は、「END----」を表示します。 |  |



録音をスタートしたとき



(例)B面に曲番3の頭から録音

### これで録音を止めるには
CDを取り出し、ディスクぶたを閉める。

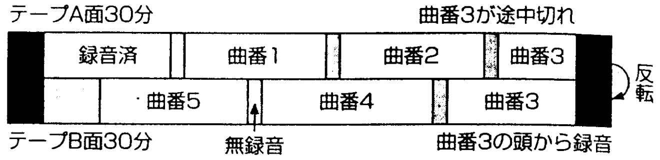
### 録音を途中で止めるには
停止／クリアーボタンまたは、停止ボタンを押す。

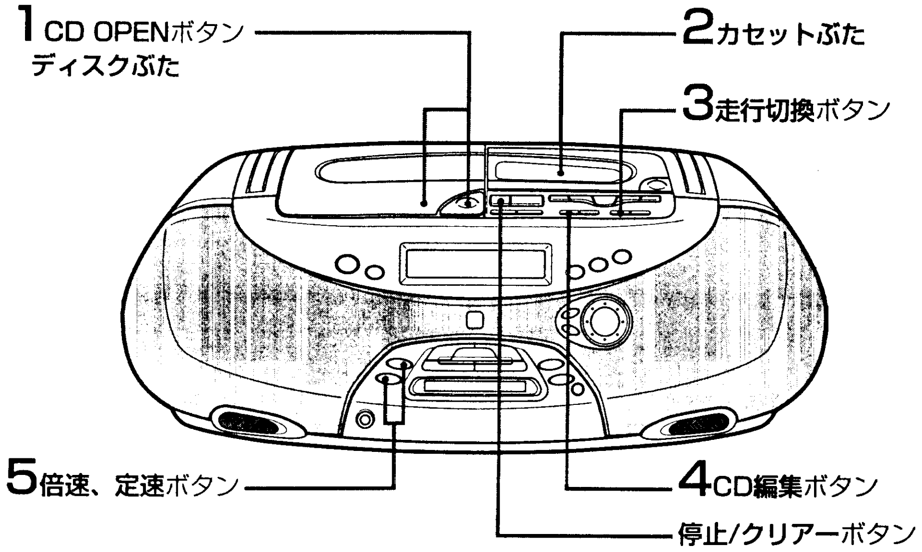
### 続けて録音するには
次のCDを入れてディスクぶたを閉め、6で押した点滅しているボタンを押す。

☞つづく

## マニュアルエディット録音

5曲入りのCD(全演奏時間47分20秒)を、曲順を変えずにC-60テープの途中から録音する場合。

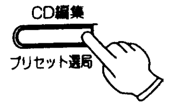
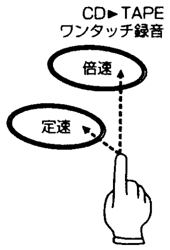



停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする

| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| ● CDが入っているときは、停止状態にして2から始めてください。<br>1 CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。 | (例)<br>TOTAL CD 5 47.20<br>5曲入り 全演奏時間47分20秒のCDです |
| 2 デッキに途中まで録音され、その位置で止まっているテープを入れる。 | |
| 3 走行切換<br>走行切換ボタンを押して表示部に「⊃」を表示させる。 | (例)<br>TOTAL CD 5 47.20 ⊃ |



| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 4  CD編集 プリセット選局 | CD編集ボタンを2度押して、「MANU EDIT」を表示させる。 | CD▶TAPE<br>MANU EDIT ⊃ |
| 5  CD▶TAPE ワンタッチ録音 倍速 定速<br>(ボタンが点灯)<br>押した後は、全て自動的にはたらきます。 | 倍速録音するときは倍速ボタンを、定速録音するときは定速ボタンを押す。<br>デッキは無録音部分をつくった後、CDがスタートして曲番1から録音を始めます。<br>デッキがA面の終端までくると、CDは演奏途中の曲の頭に戻り一時停止します。<br>デッキはA面の終端で反転し、リーダーテープ分の約8秒間（倍速では4秒間）送りをした後、途中切れした曲の頭から再度録音を開始します。<br>録音終了後、「DISC CHANG」が表示されます。<br>デッキは録音待機状態になります。<br>CD OPENボタンを押すと、「CONT EDIT」（連続）を表示し、ミュージックカレンダーにA面に録音した曲番とB面に録音した曲番を3秒間ずつ交互に表示します。<br>● B面の最後まで録音された場合は、「END - - - -」を表示します。 | 録音をスタートしたとき<br>COMPU. TAPE REC CD 1 0.01<br>⇩<br>COMPU. TAPE REC CD 3 0.01 ⊃<br>(例)B面に曲番3の頭から録音 |

### これで録音を止めるには

CDを取り出し、ディスクぶたを閉める。

### 録音を途中で止めるには

停止／クリアーボタンまたは、停止ボタンを押す。

### 続けて録音するには

次のCDを入れてディスクぶたを閉め、5で押した点滅しているボタンを押す。

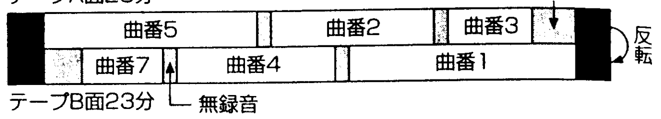
つづく

## プログラムエディット録音

ここに次の8曲入りCDがあります。

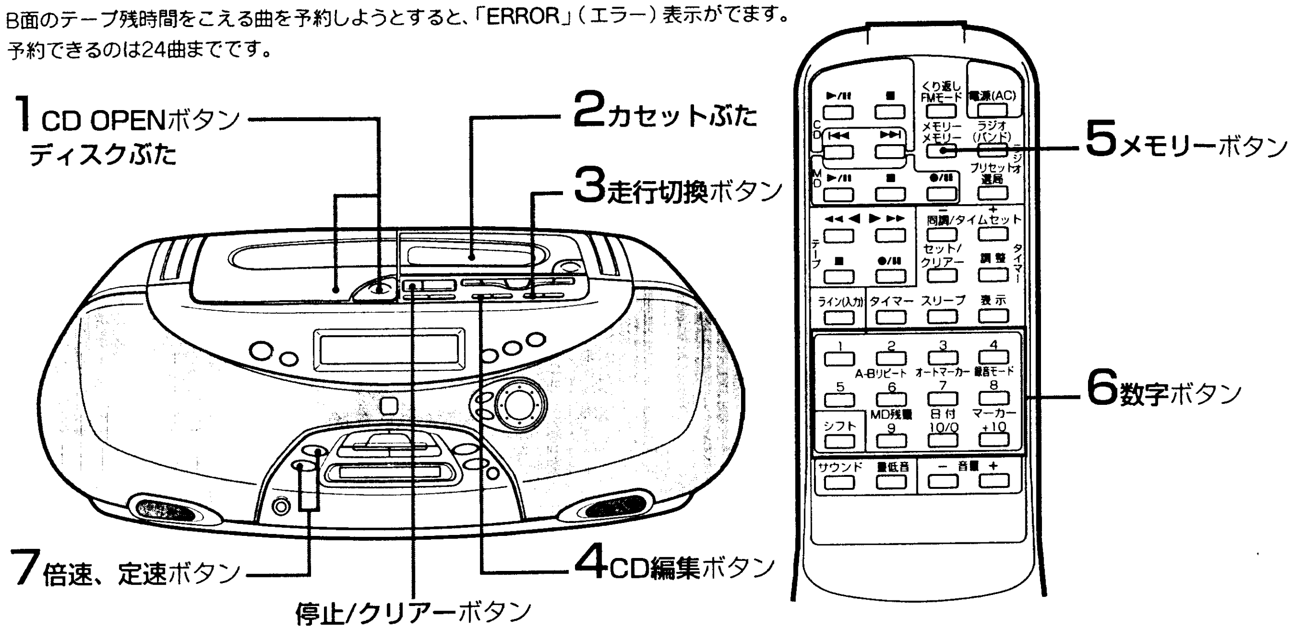
曲番 1:1分09秒　曲番2:7分26秒　曲番3:4分37秒
曲番4:9分21秒　曲番5:10分00秒　曲番6:3分48秒
曲番7:1分10秒　曲番8:2分59秒

C-46テープに次のプログラムで録音します。

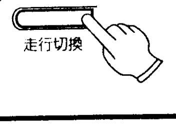
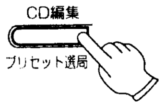
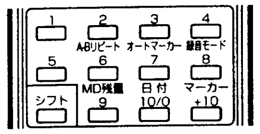
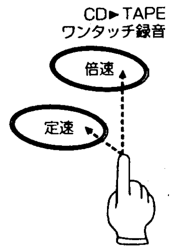


**ちょっとこれを!**

- B面のテープ残時間をこえる曲を予約しようとすると、「ERROR」(エラー)表示がでます。
- 予約できるのは24曲までです。




停止/クリアーボタンを押して、CDファンクションにする

| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| ● CDが入っているときは、停止状態にして2から始めてください。<br>**1** CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。 | (例)<br>TOTAL CD 8 50:30<br>8曲入り 全演奏時間50分30秒のCDです |
| **2** デッキにC-46の録音用テープを入れる。 | |
| **3**  走行切換ボタンを押して表示部に「 ⊐ 」を表示させる。 | TOTAL CD 8 50:30 |
| **4**  CD編集ボタンを3度押して、入れたテープのテープ長C-46を表示させる。<br>● C-99まで任意のテープ長に合わせることもできます。<br>① C-46、60、90のいずれかを表示させる。<br>② 数字ボタンで任意のテープ長を入力する。 | CD▶TAPE<br>C-46 EDIT |
| **5** メモリーボタンを押す。 | CD▶TAPE<br>CD 1 PR. 1<br>「PGM」が点滅 |
| **6**  録音したい曲番の数字ボタンを押し、予約する。<br>曲番5、曲番2、曲番3、曲番1、曲番4、曲番7の順で予約する。<br>① 5のボタンを押す。<br>1番目に曲番5が予約されました。<br>② 2のボタンを押す。<br>③ 3のボタンを押す。<br>2番目に曲番2が、3番目に曲番3が予約されました。<br>④ 1のボタンを押す。<br>4番目に曲番1が予約されました。<br>A面の残時間をこえたので、B面への録音となります。<br>⑤ 4のボタンを押す。<br>⑥ 7のボタンを押す。<br>5番目に曲番4が、6番目に曲番7が予約されました。 | CD▶TAPE<br>CD 5 PR. 1<br>「PGM」が点灯<br>⇩<br>CD▶TAPE<br>CD 5 13:00<br>A面のテープ残時間が表示される<br>CD▶TAPE<br>CD 3 0:47<br>CD▶TAPE<br>CD 1 11:51<br>「B」が点灯<br>CD▶TAPE<br>CD 7 1:10 |
| **7**  (ボタンが点灯)<br>押した後は、全て自動的にはたらきます。<br>倍速録音するときは倍速ボタンを、定速録音するときは定速ボタンを押す。<br>リーダーテープ分の送りをした後、1番目の曲番5から録音を始めます。<br>● テープの巻き取りが途中になっているテープを入れたときは、始めまで自動的に巻き戻します。<br>● 曲番3を録音したあと、A面の終端までは消去状態になります。<br>録音終了後、「DISC CHANG」が表示されます。<br>デッキは録音待機状態になります。<br>CD OPENボタンを押すと、テープの残時間を表示し、ミュージックカレンダーにA面に入っている曲番とB面に入っている曲番を3秒間ずつ交互に表示します。 | 録音をスタートしたとき<br>TAPE REC CD 5 0:01 |

● プログラムせずに録音を開始すると、バックスキップエディット録音で録音されます。

### これで録音を止めるには

CDを取り出し、ディスクぶたを閉める。

### 録音を途中で止めるには

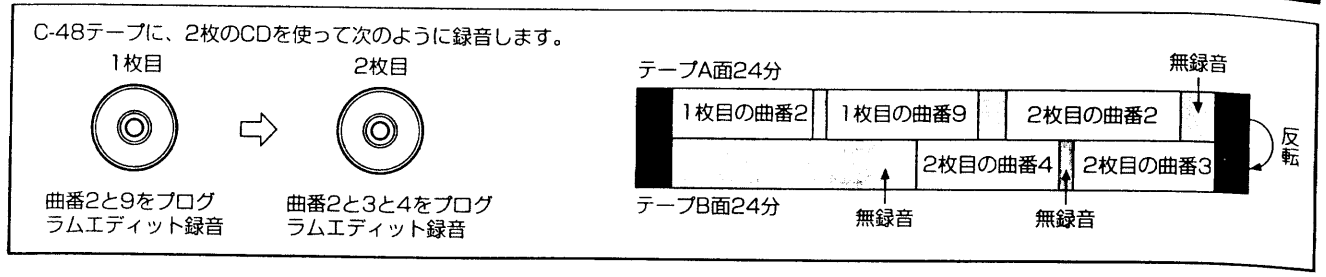
停止/クリアーボタンまたは、停止ボタンを押す。

### 続けて録音するには

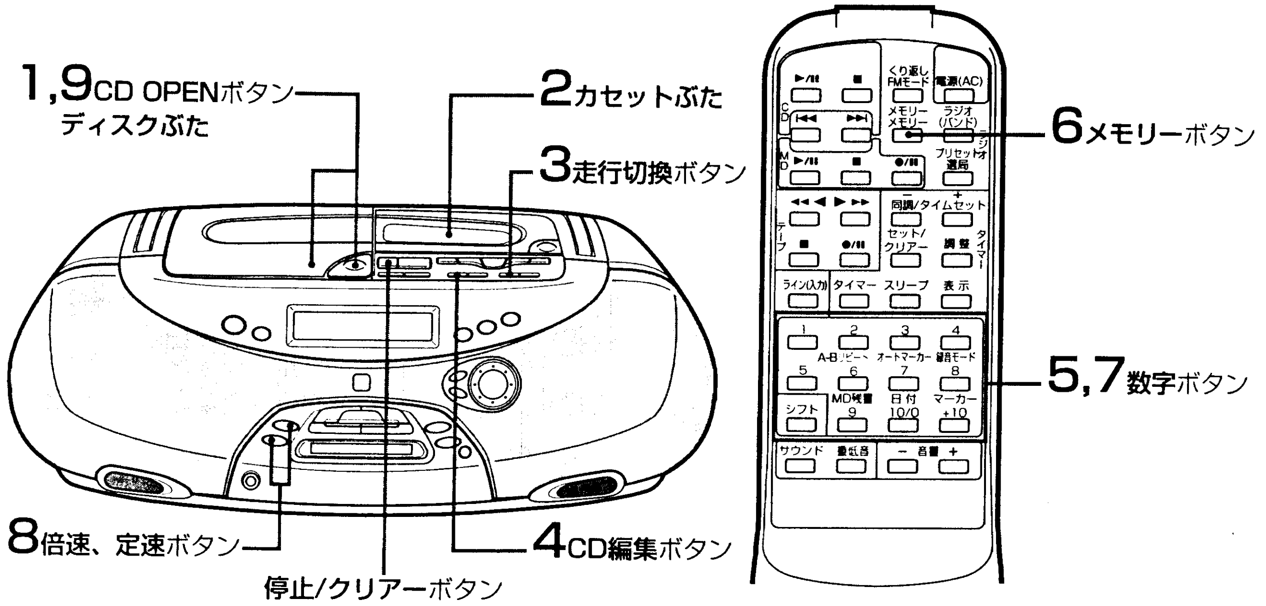
次のCDを入れてディスクぶたを閉め、7で押した点滅しているボタンを押す。

録音 / CD ➡ テープ

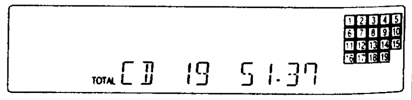
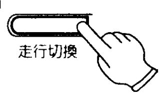
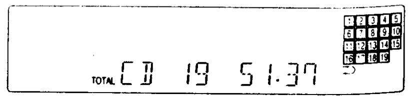
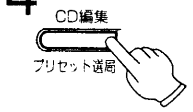
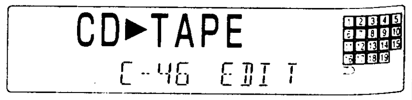
## コンティニュアスエディット（連続編集）録音



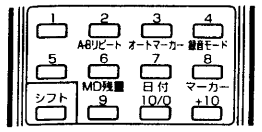
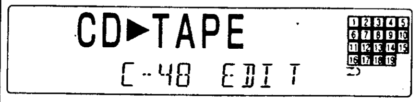
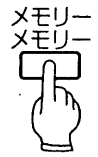
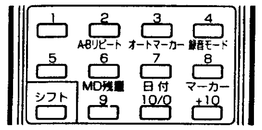
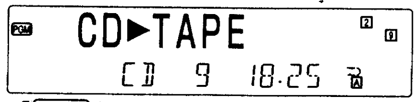
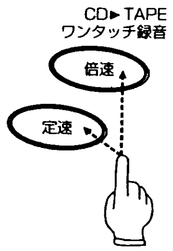
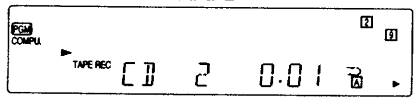
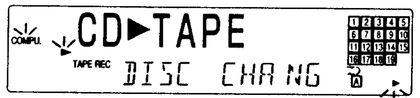
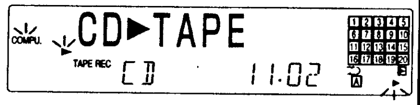
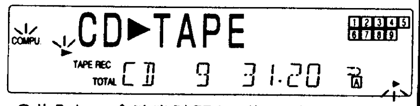

◆ 各曲を予約する要領は、P53〜54のプログラムエディット録音と同じです。




（停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする）

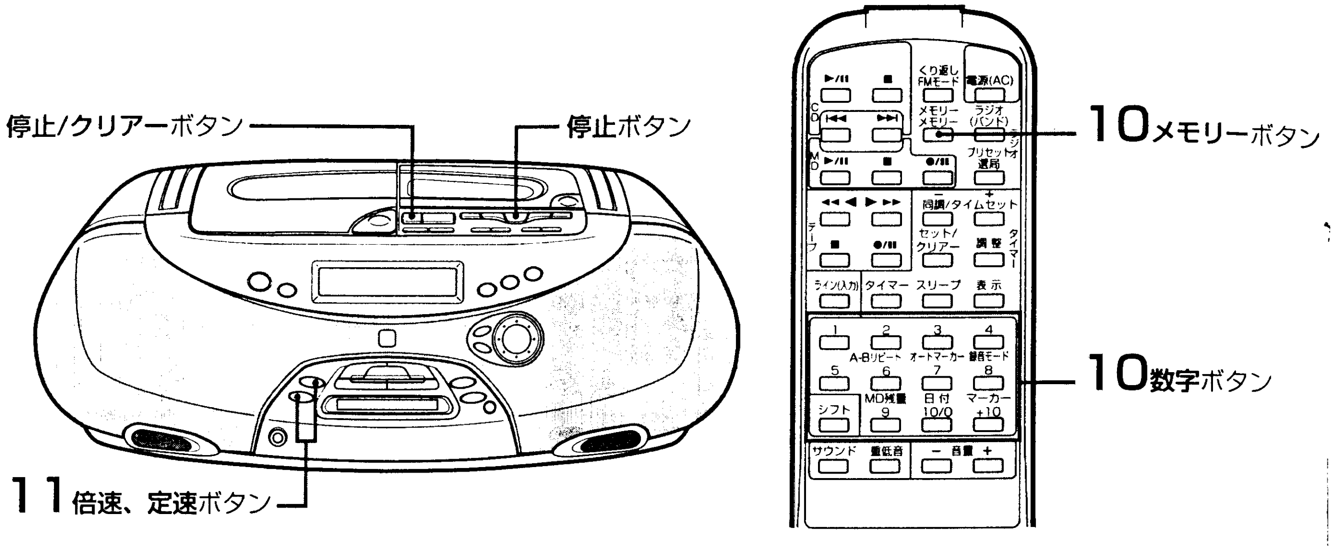
| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| | ● CDが入っているときは、停止状態にして2から始めてください。 | (例) |
| 1 | CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。 |  19曲入り 全演奏時間51分37秒のCDです |
| 2 | デッキにC-48の録音用テープを入れる。 | |
| 3  | 走行切換ボタンを押して表示部に「⊃」を表示させる。 |  |
| 4  | CD編集ボタンを3度押して、「C-46 EDIT」を表示させる。 |  |

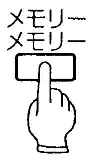
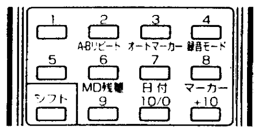
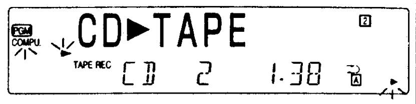
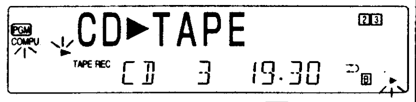
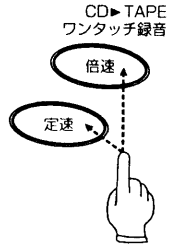
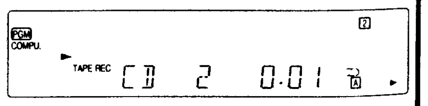


| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 5  | 数字ボタンで任意のテープ長を表示させる。<br>「C-48」のとき…+10を4度と8を押す。<br>（P53の4の操作） |  |
| 6  | メモリーボタンを押す。 | 「PGM」が点滅 |
| 7  | 録音したい曲番の数字ボタンを押し、予約する。<br>① 2のボタンを押す。<br>② 9のボタンを押す。<br>A面のテープ残時間を表示します。 |  「PGM」が点灯 |
| 8  | 倍速録音するときは倍速ボタンを、定速録音するときは定速ボタンを押す。<br>1番目の曲番2から録音を始めます。<br>● テープの巻き取りが途中になっているテープを入れたときは、始めまで自動的に巻き戻します。<br>1枚目のCDの録音が終わると、「DISC CHANG」が表示されます。<br>デッキは録音待機状態になります。 | 録音をスタートしたとき  ⇩  倍速または、定速ボタンと「COMPU.」「▶」が点滅 |
| 9 | CDを交換します。<br>CD OPENボタンを押したとき、A面の残時間が表示されます。<br>表示部にCDの内容が表示されます。 |  (例)  9曲入り 全演奏時間31分20秒のCDです |

つづく

## コンティニュアスエディット（連続編集）録音（つづき）




| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 10 メモリー   | メモリーボタンを押してから録音したい曲番の数字ボタンを押し、予約する。<br>① 2のボタンを押す。<br>A面のテープ残時間を表示します。<br>② 3のボタンを押す。<br>曲番3はA面に入らないため、B面への録音となります。<br>B面のテープ残時間を表示します。<br>③ 4のボタンを押す。<br>● 予約中に「ERROR」表示がでると、それ以上の曲は録音できません。 |   「PGM」が点灯<br>  「B」が点灯<br> |
| 11   | 前ページの8で押した点滅しているボタンを押す。<br>予約した順番に録音を始めます。<br>● 曲番2の録音が終わると、A面の終端までは消去状態になります。<br>CDが2枚目以降で、ディスクぶたを開けた状態で倍速または定速ボタンを押すと、デッキはテープの残りの部分を消去します。<br>2枚目のCDの録音が終わると、「DISC CHANG」が表示されます。<br>デッキは録音待機状態になります。<br>9〜11と同じ操作で3枚目以降を録音できます。 |   |

### これで録音を止めるには

CDを取り出し、ディスクぶたを閉める。

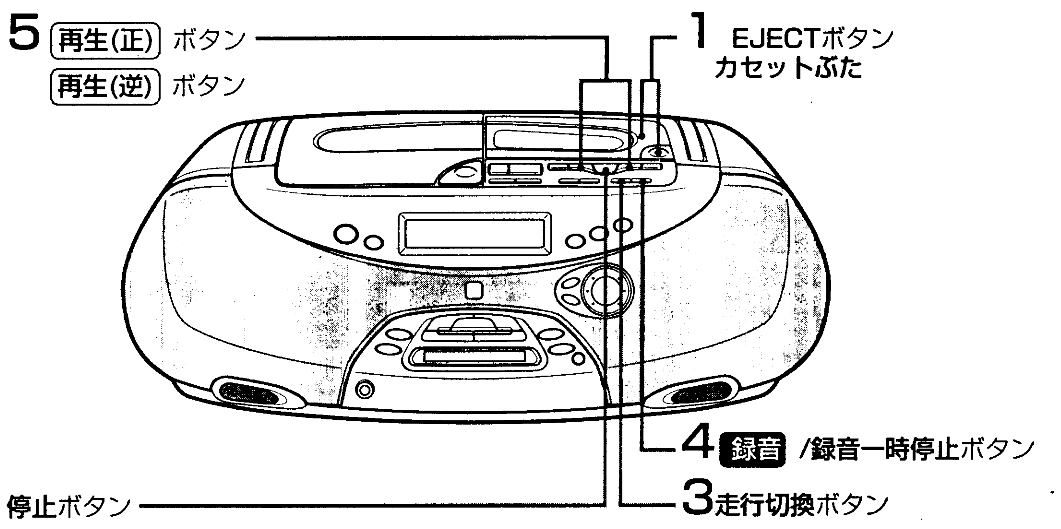
### 録音を途中で止めるには

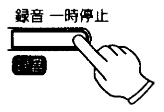
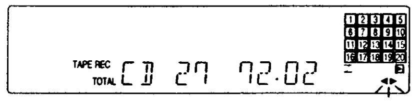
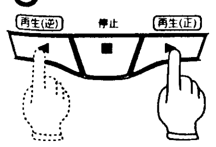
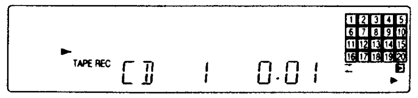
停止／クリアーボタンまたは、停止ボタンを押す。





倍速録音はできません。5秒間のオートスペースを入れたくない場合などに便利です。




| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | EJECTボタンを押して、録音用のテープを入れる。 | |
| 2 | 録音するファンクション（音源）を選ぶ<br>CDを録音するとき（シンクロ録音）：<br>停止／クリアーボタンを押し、ファンクションをCDにします。<br>MDを録音するとき（シンクロ録音）：<br>MDの■ボタンを押し、ファンクションをMDにします。<br>CDまたはMDの希望の曲を録音するとき：<br>● 希望の曲から録音するときは、スキップ機能で曲番を選んでおきます。 P32<br>● 希望の曲だけを録音するときは、プログラムをしておきます。 P29〜30<br>ラジオ・テレビ音声を録音するとき：<br>放送を受信する。 P39,42,44 | |
| 3 | 走行切換ボタンを押してリバースモードを選ぶ。 | |
| 4   | 録音／録音一時停止ボタンを押す。<br>録音待機状態になります。 |   CDファンクションのとき 点滅 |
| 5   | 再生（正）（または再生（逆））ボタンを押す。<br>録音が始まります。<br>● CDまたはMDを録音するときは、演奏が自動的にスタートし、録音が始まります。 |   点灯 |

### 録音を終わるときは

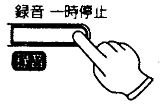
停止ボタンを押す。

**CDまたはMDシンクロ録音のときは**

● テープが全部巻き取られるとテープもCD（またはMD）も自動的に停止します。
● 停止ボタンを押すと、CD（MD）演奏も自動的に停止します。

## 録音を一時停止するとき

**録音 ／録音一時停止ボタンを押す**




● CD (MD) 録音中は、演奏は止まりません。

### 再び録音状態にするには

表示されている「▶」(または「◀」) と同じ方向のボタン (再生 (正)) または (再生 (逆)) を押す。

## 録音のときにビート音がでるとき

ラジオ・テレビ音声を録音中、ビート音 (「ピー」という音) が入ることがあります。このようなときは、リモコンで次の操作を行なってください。

**1** メモリーボタンを押す

PGM 表示が点滅します。

**2** PGM 表示が点滅している間に、▶▶| ボタンを押す

ボタンを押すたびに表示が変わります。
ビート音の少なくなる表示を選びます。

→ BC--1 → BC--2 → BC--3 ┐

## 簡単1曲録音 (CD ➡ テープ のみ)

ボタンを1つ押すだけで、お好みの1曲だけを録音することができます。

**録音したいCD曲の演奏中に、倍速または、定速ボタンを押す。**

あとは自動的に動作します。

①演奏中の曲の頭に戻って一時停止します。
②テープに無音部分を5秒間 (倍速では2.5秒間) つくります。録音は正方向から始まります。
③CD演奏がスタートし、テープ録音が始まります。
④曲が終わると、CDもテープも停止します。

## 途中から録音する

**CD (またはMD) 演奏中に、58ページの 4, 5 の操作をする**

そこから録音が始まります。

● 録音を停止ボタンを押して途中でやめたり、テープが全部巻き取られて自動的に停止すると、CD (MD) 演奏も自動的に止まります。

**ちょっとこれを!**

● 録音中に、サーチ操作 P32 をしますと、サーチ中のモニター音が録音されてしまいます。この場合は 録音 ／録音一時停止ボタンを押してからサーチしてください。

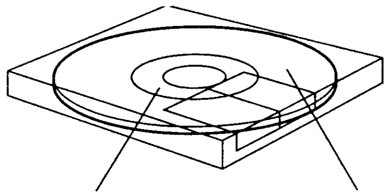


# MDに録音をする前に

MDへ録音 ・・・・・ CD、テープ、ラジオ・テレビ音声、マイク、ライン入力から録音できます。

### MDの書き込みについて

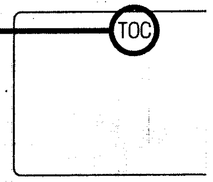
ミニディスクには、曲や声を録音する部分と、曲番や曲名などの情報を記録する部分があります。




ミニディスクは音声を録音したあとで、曲を認識するための情報 (TOC) を記録します。再生するときは、このTOCを手がかりとします。また、曲の編集をするときもTOCを書き換えることによっておこなわれます。
(TOC (トック):Table (テーブル) Of (オブ) Contents (コンテンツ))

**ご注意**

このTOCは次のようなときにMDに書き込まれるようになっています。
- 録音を停止したとき
- 他の入力に切り換えたとき
- MDの取出し操作をしたとき
- 電源を切ったとき
- MDファンクションのときに停止状態で5分間放置したとき

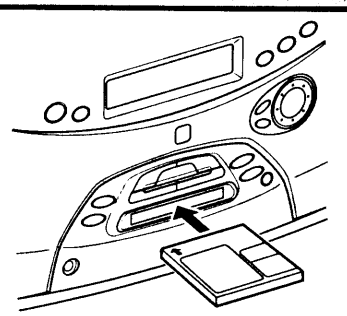



● 「TOC」表示が点灯しているときは、本体をたたいたり、揺らしたりして衝撃をあたえないでください。また、電源コードを抜いたりするとTOCが書き込まれないため、正しく再生できなくなります。

● CDなどからMDへ録音したとき、CDなどの曲番と録音されたMDの曲番とが一致しないことがあります。
このようなときは録音終了後、編集機能を使って曲番を修正してください。 P73~76

録音

## MDの入れかた

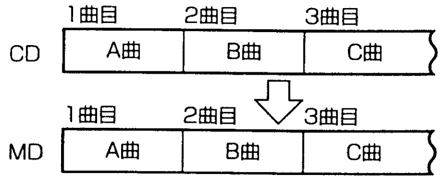


● ラベル面を上にして、MD上面の矢印の向きにしたがって挿入窓に確実に差し込みます。MDが自動的に引き込まれます。

## 曲番について

**CDから録音するとき**

CDと同じ所に1曲ごとに曲番が自動的につきます。（シンクロマーカー機能）




**ラジオ・テレビ音声から録音するとき**

1回の録音は、1曲としてひと続きで録音します。

● 録音したあとで、曲を分けることもできます。

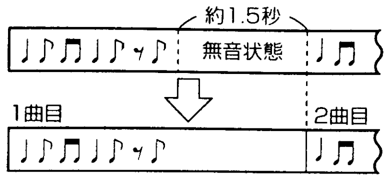
**テープ、LINE IN（入力）端子に接続した機器から録音するとき**

無音部分が約1.5秒以上続く所を曲間とみなして、曲番を自動的につけます。（オートマーカー機能 P71）

また、一定時間ごとに自動的に曲番をつけることもできます。（タイムオートマーカー機能 P71）

● オートマーカー機能を使わずに、ひと続きの曲として録音することもできます。

● オートマーカー機能を使って録音する信号によっては、正確な位置に曲番がつかないことがあります。




## MDの残り時間を確かめるには

リモコンのシフトボタンを押したままMD残量ボタンを押す。

● MDファンクション時に上記の操作をした場合、再度シフトボタンを押したままMD残量ボタンを押すと元の表示に戻ります。

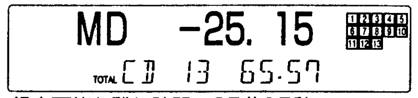
● MD以外のファンクション時に押すと約10秒間表示されたあと、元の表示に戻ります。

● MDの録音中に押すと録音可能時間が減っていきます。

MDファンクションでストップの場合

録音可能な残り時間　25分15秒

CDファンクションでストップの場合




録音可能な残り時間　25分15秒

CD ▶ MDデジタル録音はモノラルモードで録音することはできません。

## CD ▶ MD デジタル録音（オート録音）について

オート録音で次のような編集録音ができます。

### オートエディット（自動編集）録音 P63~64

曲番を変えずに全曲を録音します。最も簡単な方法です。

**基本操作：**

① CDを入れる。

② オートボタンを押して録音に必要なMDディスク長を確認する。

③ 確認したディスク長のMDを入れる。

④ オートボタンを押す。

### タイムエディット録音 P65~66

MDに録音できるCDの時間を計算し、全曲録音できるときは、そのまま録音します。

全曲録音できないときは、できるだけ多くの曲を録音するように、録音できなくなる次の曲から順番に計算します。

**基本操作：**

① CDを入れる。

② MDを入れる。

③ オートボタンを押す。

④ 全曲録音できるときは「ALL REC」を表示し、全曲録音できないときは「TIME REC」を表示して、できるだけ多くの曲を録音するように計算する。

⑤ オートボタンを押す。

● オート録音は、MDが以前に録音されていても、**全部消去してから録音を開始します。**以前の録音内容を残しMDの途中から録音したいときは、次の**シンクロ録音**または**マニュアル録音**をしてください。

## CD ▶ MD デジタル録音（シンクロ録音）について P67~68

MDに現在録音されている曲はそのまま残り、その続きから自動的に録音をスタートします。

**基本操作：**

① CDを入れる。

② MDを入れる。

③ メモリーボタンを押し、リモコンの数字ボタンで希望曲を予約する。または、特に予約しない。

④ シンクロボタンを押す。
（録音がスタートします。）

⑤ CDの曲が録音しきれないときは、録音できる曲を全部録音した後CDとMD共にストップする。
CDの曲が全て録音できるときは、CD録音終了後、CDとMDは停止状態になる。

⑥ MDに録音可能な時間が残っているときは、CDを交換し、③〜④の操作をすると続けて録音することができる。

録音

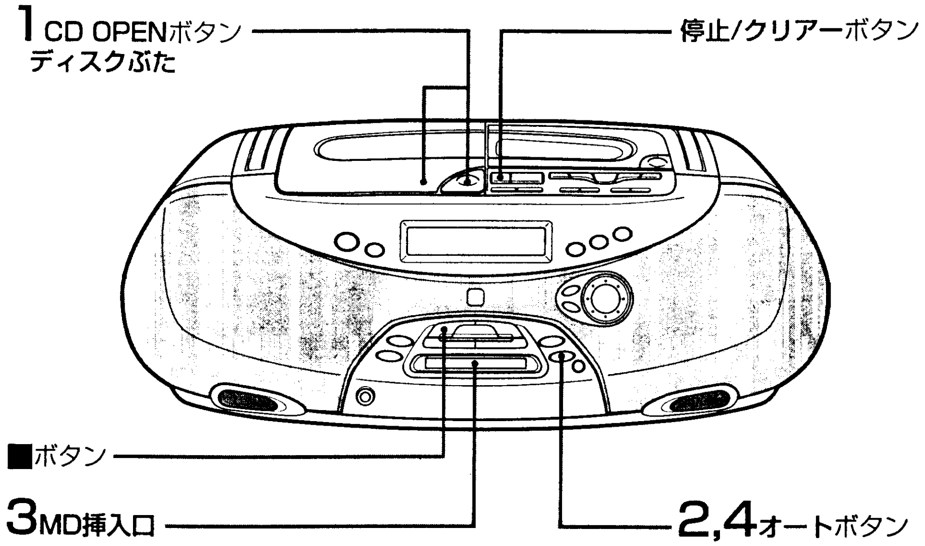
# MDに録音する CD ➡ MD

☞つづく

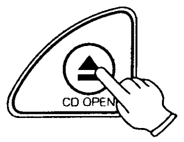
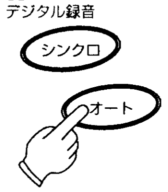
## オートエディット（自動編集）録音

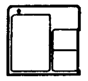
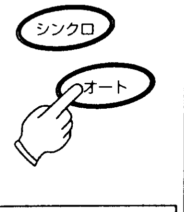
5曲入りのCD(全演奏時間47分20秒)を、
曲順を変えずに録音時間60分のMDに全部録音する場合。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CD | 1曲目 | 2曲目 | 3曲目 | 4曲目 | 5曲目 | |
| MD | 1曲目 | 2曲目 | 3曲目 | 4曲目 | 5曲目 | 無録音 |




停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| ● CDが入っているときは、停止状態にして2から始めてください。 | | |
| 1  | CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。 | CD OPEN<br>CD -- --.--<br>(例)<br>TOTAL CD 5 47.20<br>5曲入り 全演奏時間47分20秒のCDです |
| 2 CD▶MD デジタル録音  | オートボタンを押す。<br>このCDの録音に必要なMDディスク長を録音用60分、74分の中から選んで表示します。<br>ご注意<br>このとき、MDが挿入されていると、3 の表示になります。 | (例)録音用60分のMDが適当<br>CD▶MD 60<br>TOTAL CD 5 47.20 |

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 3  | CD演奏時間に合った録音用MDを入れる。<br>● オートボタンが数秒間点滅した後、点灯します。<br>● CDの全曲録音が可能なことを示す「ALL REC」が表示されます。<br>● 何も録音されていないMDのときは「START OK?」を表示し、MDが以前に録音されていたときは「ERASE OK?」を表示して、全部内容を消去してから録音を開始することを確認します。<br>● CDによっては「CAN' T REC」を表示することがあります。その場合はマニュアル録音 P69〜70 をしてください。 | 何も録音されていないMDの場合<br>START OK?<br>CD ALL REC<br>MDが以前に録音されていた場合<br>ERASE OK?<br>CD ALL REC |
| 4 CD▶MD デジタル録音  押した後は、全て自動的にはたらきます。 | オートボタンを押す。<br>曲番1から録音を始めます。<br>MDが以前に録音されていても、全部内容を消去してから録音を開始します。<br>● シンクロマーカー機能により、CDと同じところに1曲ごとに曲番が自動的につきます。<br>● 録音日時を自動的に記録します。<br>● 録音中に一時停止することはできません。<br>全曲録音終了後、CDとMDは自動的に停止します。 | 録音をスタートしたとき<br>REC CD 1 0.01<br>⇩<br>録音終了時<br>REC END<br>TOTAL CD 5 47.20 |

### 途中で録音を止めるには

停止／クリアーボタンまたは、MDの ■ ボタンを押す。
CDとMD両方がストップします。

## 簡単1曲録音（CD ➡ MD のみ）

ボタンを1つ押すだけで、お好みの1曲だけを録音することができます。

録音したいCD曲の演奏中に、オートボタンを押す。

あとは自動的に動作します。

①演奏中の曲の頭に戻って一時停止します。
②CD演奏がスタートし、MD録音が始まります。
● 録音済みの曲番の次に新しく曲番をつけ録音されます。
③曲が終わると、CDもMDも停止します。
「REC END」が表示されます。
● MDの残時間が少ないと録音が途中できれることがあります。

**ちょっとこれを！**

● 「TOC」表示が点滅中は、MDの操作はできません。
「TOC」表示が消えるまで待って操作してください。
● 「TOC READ」表示が点灯中は、MDの操作はできないことがあります。
「TOC READ」表示が消えるまで待って操作してください。
● CDの時間とMDに録音した時間は異なることがあります。

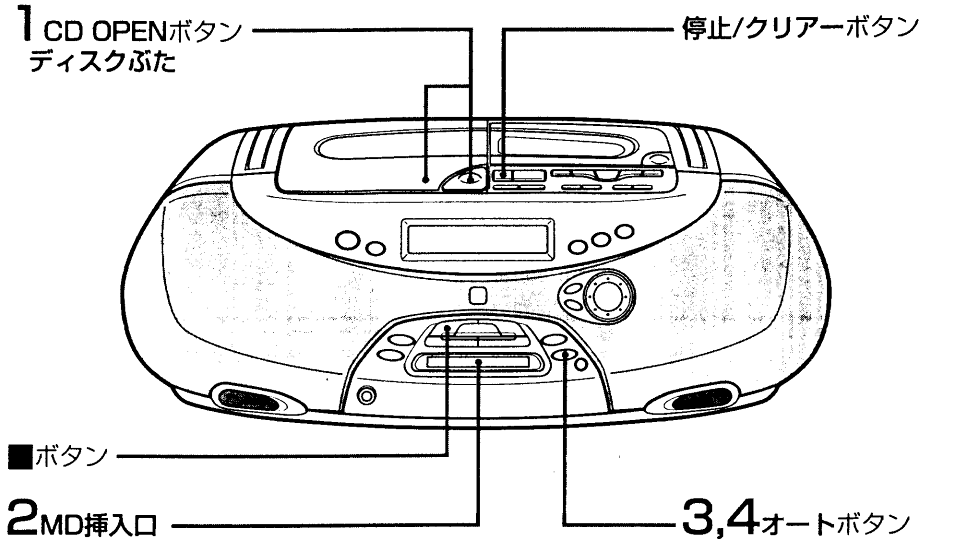
**ご注意**

● 「TOC」表示が点灯しているときは、本体をたたいたり、揺らしたりして衝撃をあたえないでください。また電源コードを抜いたりすると曲番など情報が正しく書き込まれません。

## タイムエディット録音

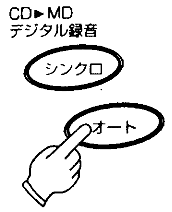
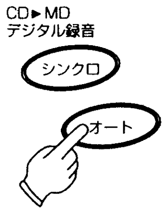
12曲入りのCD(全演奏時間65分18秒)を、
録音用60分のMDにできるだけ多くの曲を録音する場合。

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| CD | 1曲目 | 2曲目 | 3曲目 | 10曲目 | 11曲目 | 12曲目 |
| MD | 1曲目 | 2曲目 | 3曲目 | 10曲目 | 12曲目 | |




停止/クリアーボタンを押して、CDファンクションにする

| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| **1** CD OPENボタンを押して録音するCDを入れ、ディスクぶたを閉める。<br>表示部にCDの内容が表示されます。 | (例)<br>TOTAL CD 12 65.18<br>12曲入り 全演奏時間65分18秒のCDです |
| **2** 録音用60分のMDを入れる。 | |

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| **3**  | **オートボタンを押す。**<br>● オートボタンが数秒間点滅した後、点灯します。<br>CDの全曲を録音できない場合は「TIM REC」を表示し、できるだけ多くの曲を録音するように、録音できなくなる次の曲から順番に計算し、残量時間が最小になるように曲を自動的に選曲します。このときミュージックカレンダーに録音できる曲番を表示します。<br>また、CDの全曲が録音可能な場合は「ALL REC」を表示し、1曲目から順番に全曲録音されます。<br>● 何も録音されていないMDのときは「START OK?」を表示し、録音されているときは「ERASE OK?」を表示して、全部内容を消去してから録音を開始することを確認します。<br>● CDの曲が1曲も録音できない場合は「CAN'T REC」を表示します。 | 何も録音されていないMDで、CDの曲が全て録音できない場合<br>START OK?<br>CD TIM REC<br><br>MDが以前に録音されていて、CDの曲が全て録音できない場合<br>ERASE OK?<br>CD TIM REC<br><br>CDの曲が全て録音できる場合<br>START OK?<br>CD ALL REC |
| **4** <br>押したあとは、全て自動的にはたらきます。 | **オートボタンを押す。**<br>曲番1から録音を始めます。<br>MDが以前に録音されていても、全部内容を消去してから録音を開始します。<br>● シンクロマーカー機能により、CDと同じところに1曲ごとに曲番が自動的につきます。<br>● 録音日時を自動的に記録します。<br>● 録音中に一時停止することはできません。<br><br>録音終了後、CDとMDは自動的に停止します。<br>このとき、ミュージックカレンダーに録音した曲番を表示します。 | 録音をスタートしたとき<br>CD 1 0.01<br>⇩<br>録音終了時<br>REC END<br>TOTAL CD 12 65.18 |

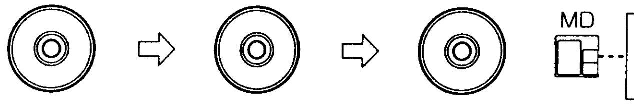
### 途中で録音を止めるには

停止／クリアーボタンまたは、MDの ■ ボタンを押す。
CDとMD両方がストップします。

録音 CD ➡ MD

## CD ▶ MD シンクロ録音

録音用60分のMDの途中から3枚のCDを使って次のように録音します。

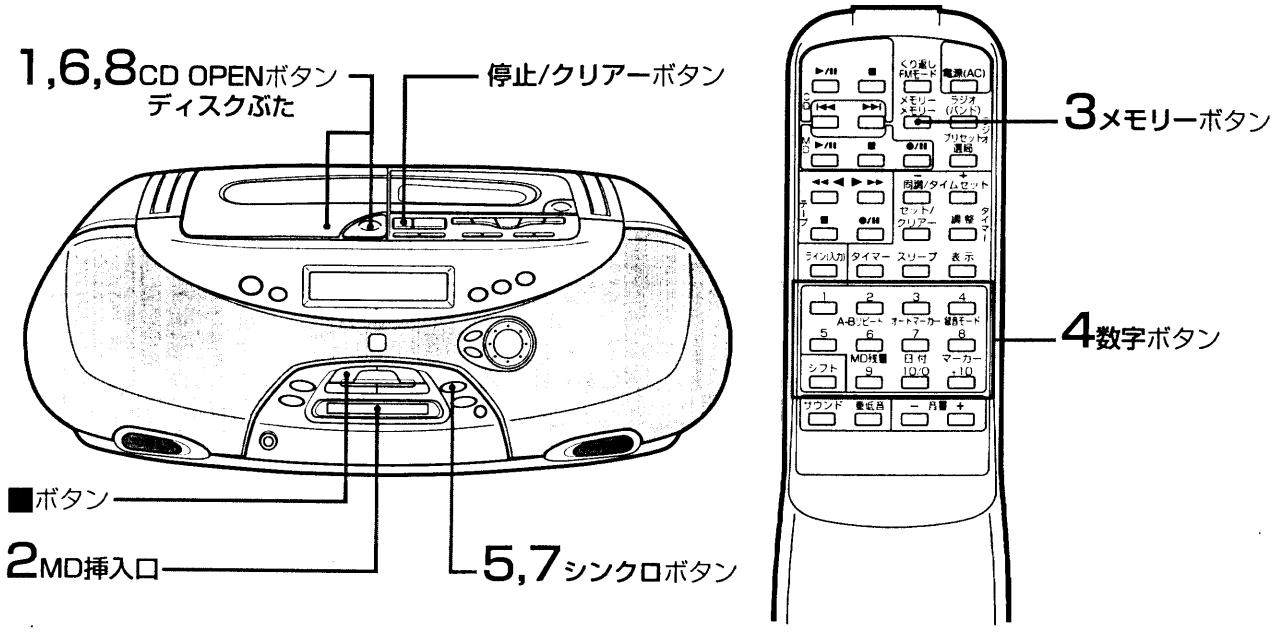



| 録音済 | 1枚目の曲番2 | 1枚目の曲番9 | 2枚目の全曲 | 3枚目の曲番3 | 3枚目の曲番7 | 3枚目の曲番12 | 無録音 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

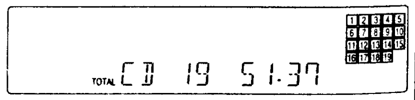
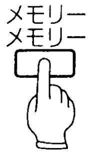
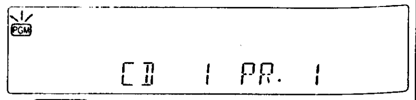
曲番2と9をプログラムシンクロ録音

6曲入りの全曲をシンクロ録音

曲番3と7と12をプログラムシンクロ録音

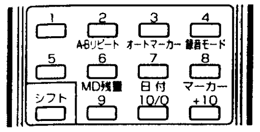
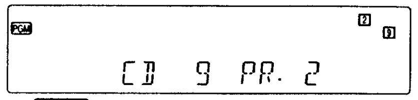
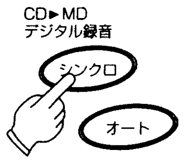
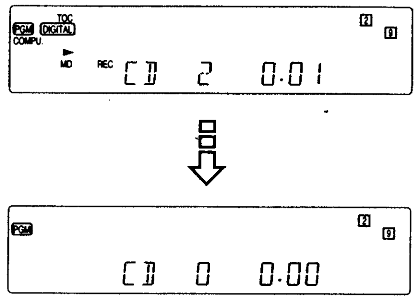
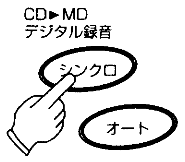
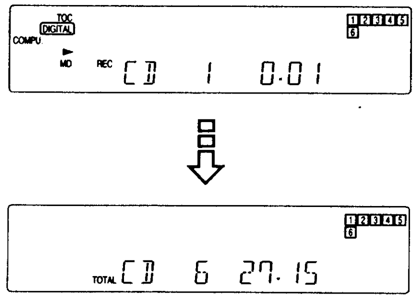



停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | 1枚目のCDを入れる。<br>表示部にCDの内容が表示されます。 | (例)<br><br>19曲入り　全演奏時間51分37秒のCDです |
| 2 | 途中まで録音済の録音用60分のMDを入れる。 | |
| 3  | メモリーボタンを押す。 | <br>「PGM」が点滅 |





| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 4  | 数字ボタンで録音する曲番を選ぶ。<br>① 1枚目のCDのとき…2と9を押す<br>② 3枚目のCDのとき…3と7と+10+2を押す | (例)1枚目のCD<br><br>「PGM」が点灯 |
| 5  | シンクロボタンを押す。<br>● シンクロボタンが数秒間点滅した後、点灯します。<br>プログラムした曲番の録音を始めます。<br>● 録音開始位置は、現在録音されている曲番の次の曲番から始まります。<br>（以前に録音されていたものはそのまま残ります。）<br>● シンクロマーカー機能により、CDと同じところに1曲ごとに曲番が自動的につきます。<br>● 録音日時を自動的に記録します。<br>録音が終わると、CDは停止します。<br>MDは停止状態になります。 | 録音をスタートしたとき<br> |
| 6 | CDを交換します。 | |
| 7  | シンクロボタンを押す。<br>2枚目のCDの全曲録音が終わると、CDは停止します。 | 録音をスタートしたとき<br> |
| 8 | CDを交換します。 | |
| 9 | 3~5と同様の操作を行なう。 | |

**途中で録音を止めるには**

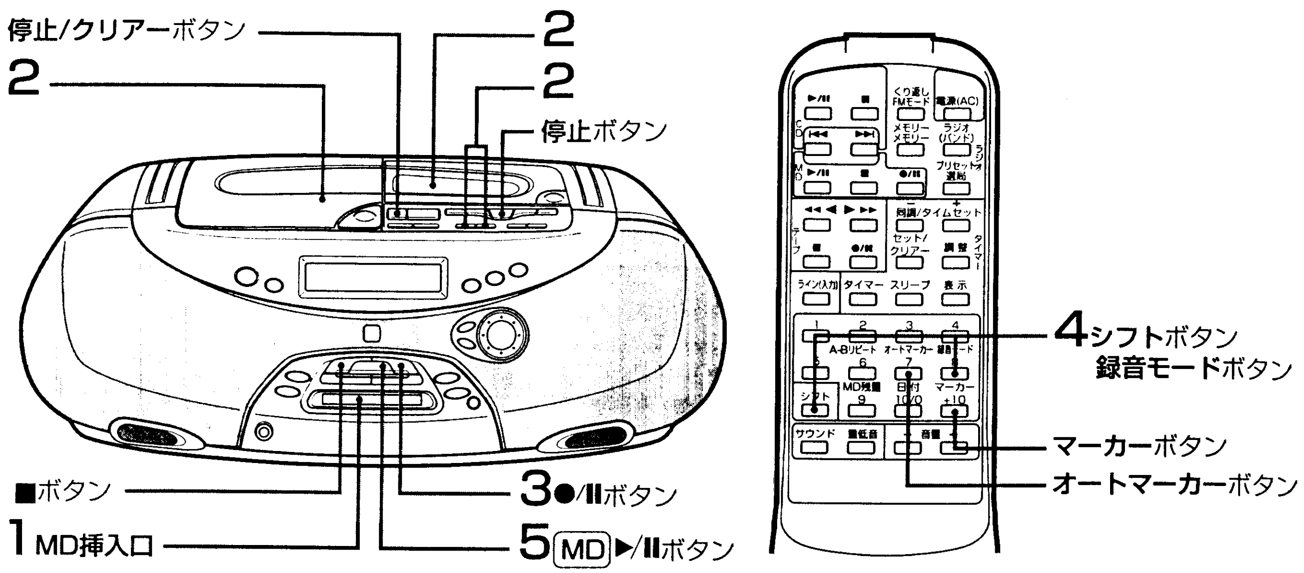
停止／クリアーボタンまたは、MDの ■ ボタンを押す。

**ちょっとこれを!**

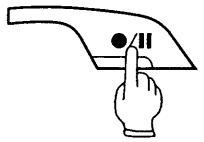
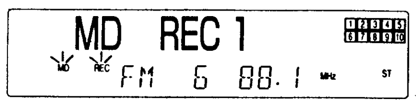
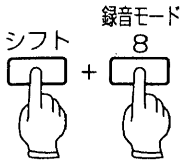
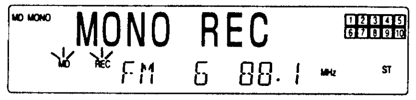
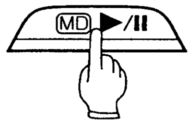
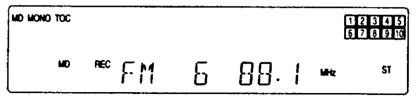
● MDの残時間が足りないと「CAN'T REC」が表示され、録音はできません。

録音 CD ➡ MD

途中まで録音済のMDに続けて録音する場合などに便利です。




| 操作とはたらき | | | 表示 |
|---|---|---|---|
| 1 MDを入れる。 | | | |
| 2 CD を録音するとき<br>CDを入れる。<br>停止／クリアーボタンを押して、CDファンクションにする。<br>● お好みの曲だけを録音するときは、あらかじめ予約しておいてください。 P29~30 | テープ を録音するとき<br>カセットテープを入れる。<br>● 再生を開始したいところを頭出ししておく。 P35~36<br>● 停止ボタンを押して、テープファンクションにする。 | ラジオ・テレビ音声 を録音するとき<br>録音したい放送を受信する。 P37~44<br>AM放送を録音するまえに<br>3で録音待機状態にしたあと、AMループアンテナを本体から離して、AM放送が最もきれいに聞こえるように調節しておいてください。 | |

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 3  | MDの ●/II ボタンを押す。<br>●「MD REC」が表示されて録音待機状態になります。<br>● 新しい録音用MDの場合は、録音待機状態になるまで約15秒かかります。<br>● CDを録音するときは、 DIGITAL が表示されます。 | (例)ラジオを録音するとき <br>「MD REC」が点滅 |
| 4  | シフトボタンを押しながら録音モードボタンを押し、ステレオ／モノラルを選ぶ。<br>●「MONO」を選ぶとモノラルで録音され、MDに録音できる時間が2倍になります。<br>● MDデジタル録音（オート／シンクロ録音）は常に「STEREO」モードで録音されます。<br>● モノラルモードはマニュアル録音のときのみできます。 | <br>「MD MONO」が点灯 |
| 5  | MD ▶/II ボタンを押す。<br>録音が始まります。 | <br>「MD REC」と「TOC」が点灯 |



### 録音を終えるときは

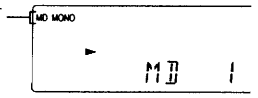
MDの ■ ボタンを押す。

MDとCD（または、MDとテープ）が両方とも同時に停止します。

### 録音済みの曲の録音モードを確かめるには

MDを演奏中、「MD MONO」が表示されるものはモノラル録音です。

「MD MONO」が点灯

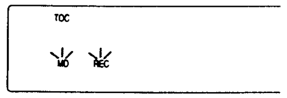


何も表示されないときはステレオ録音です。

## 録音を一時的に止めるには

録音中、MDの ●/II ボタンまたは、(MD) ▶/II ボタンを押す。
「MD REC」表示が点滅します。
録音を再開するときは、(MD) ▶/II ボタンを再度押します。
この時、自動的に曲番が1つ増えます。

● MDが一時停止しても、CDやTAPEの再生はそのまま続けます。

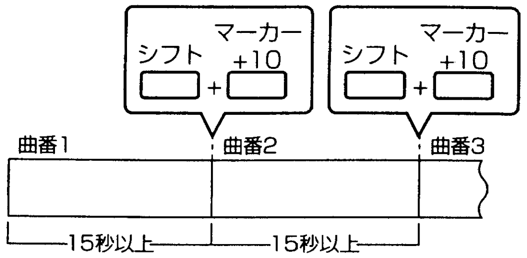



## 録音中に好きな所で曲番をつけるには

1回の録音は、1曲としてひと続きで録音されます。録音中に自分で曲番をつけることにより、好きな所で頭出しができるようになります。

録音中に、曲番をつけたい所でリモコンの**シフト**ボタンを押しながらマーカーボタンを押す。

● 曲番が1つ増えて録音が続きます。
● 誤って曲番をつけたときは、録音したあとで、曲をつなぐことができます。
● 曲番をつけるときは、15秒以上間をあけたあと、**シフト**ボタンを押しながらマーカーボタンを押します。




## 自動的に曲番をつける（オートマーカー機能）

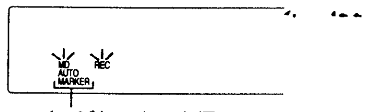
[テープ] ➡ [MD] または[LINE] ➡ [MD] に録音するときに無音部分が約1.5秒以上続く所を曲間とみなして、曲番を自動的につけます。
次のような場合は正常に動作しないことがありますが故障ではありません。

● 無音部分が短いとき
● 無音部分に雑音があるとき
● 極端に短い曲を録音したとき
● 特に音の小さい曲などを録音したとき
● 「TOC FULL」が表示されたとき

曲間に曲番がうまくつかなかったときは、DIVIDEまたはCOMBINE機能で [P75] で編集してください。
ラジオ・テレビ音声をMDに録音するときは、**オートマーカー機能**ははたらきません。

### オートマーカー機能のON／OFFのしかた

録音待機状態で「LEVEL」表示が出るまでリモコンの**シフト**ボタンと、**オートマーカー**ボタンをくり返し同時に押します。（オートマーカー機能ON）
オートマーカーインジケーターが消えるまで**シフト**ボタンと**オートマーカー**ボタンをくり返し同時に押します。（オートマーカー機能OFF）



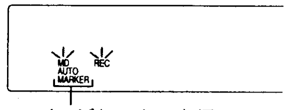
インジケーター点灯

## 一定時間ごとに曲番をつける（タイムオートマーカー機能）

指定した時間ごとに自動的に曲番をつけます。指定できる時間は次の8種類です。
2、3、5、10、15、20、30、45分

### タイムオートマーカー機能のON／OFFのしかた

録音待機状態で「TIME」表示が出るまでリモコンの**シフト**ボタンと、**オートマーカー**ボタンをくり返し同時に押します。「TIME」表示になったらMDリモコンのスキップ／サーチボタン（⏮、⏭）を押して時間を選びます。（タイムオートマーカー機能ON）
オートマーカーインジケーターが消えるまで**シフト**ボタンと**オートマーカー**ボタンをくり返し同時に押します。（タイムオートマーカー機能OFF）

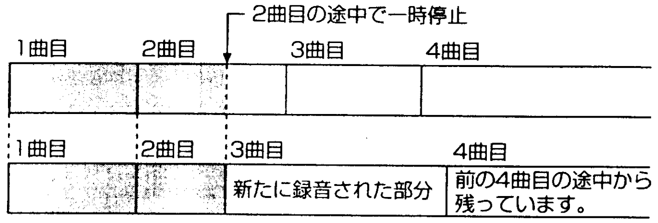


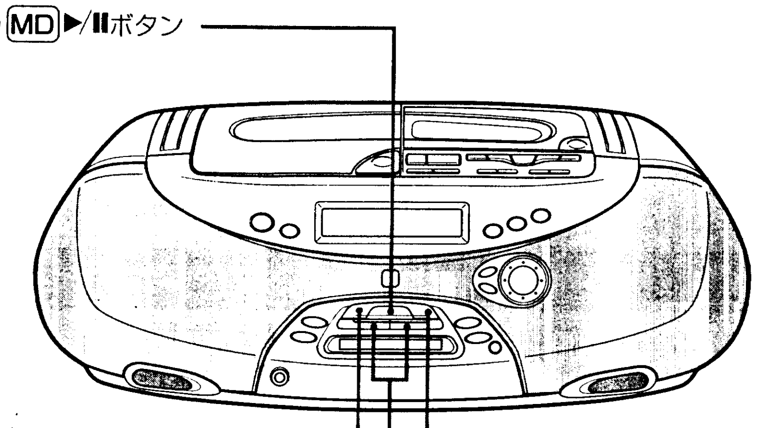
インジケーター点灯

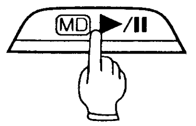
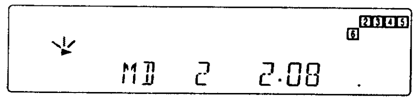
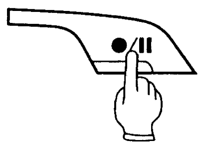
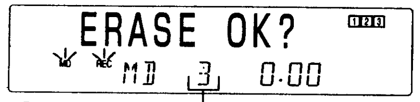
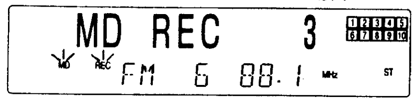
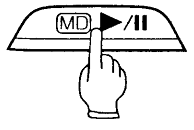
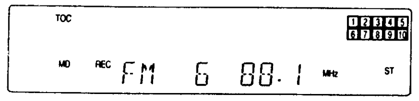


# MD録音をやり直す

録音をもう一度やり直すときなど、すでに録音された曲を途中から消して、新たに録音することができます。
カセットテープに録音するときのように、新しく録音された曲の長さによって、前の録音内容が消去されたり残ったりします。




| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1  | MDの再生中に新たに録音したいところで (MD) ▶/II ボタンを押す。<br>一時停止状態になります。<br>● 一時停止中にMDの ⏮ または ⏭ ボタンで選曲すると、曲の頭から録音を始めることができます。 |   「▶」が点滅 |
| 2  | MDの ●/II ボタンを押す。<br>録音待機状態になります。<br>● MD録音を中止する場合は、MDの ■ ボタンを押します。 |   「MD REC」が点滅 新しく録音される曲の曲番 |
| 3 | 録音したいファンクションモードに変更する。 | (例)チューナーファンクションの場合   |
| 4  | (MD) ▶/II ボタンを押す。<br>録音が始まります。 |   「TOC」と「MD REC」が点灯 |

### 録音を終えるときは

MDの ■ ボタンを押す。

録音

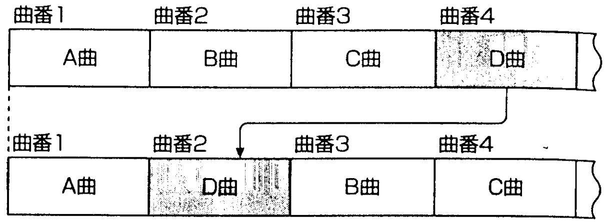
つづく

自分で録音したMDをあなただけのオリジナルMDにするため、次のような編集機能があります。

● MDが誤消去防止の状態のときは、「PROTECTED」または「TRKPROTECT」が表示され、MDを編集することはできません。
（「TRKPROTECT」）が表示されたときは、MOVE機能のみできます。）
漢字、ひらがなでディスク名や曲名が付けられたディスクはDISK／TRACK NAME機能以外の編集をすることはできません。

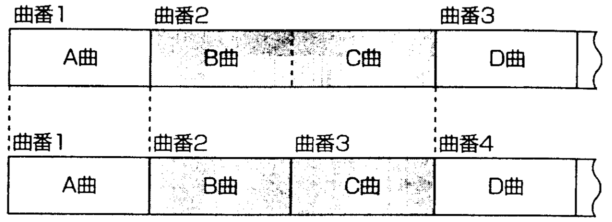
## 曲を移動する－MOVE（ムーブ）機能 P74

録音した曲の順序を1曲ずつ移動して、曲番を入れ換えるのがムーブ機能です。
プログラム演奏とは異なり、MDに直接記録されますので、電源を切ったり、MDを取り出しても変えた順序は変わりません。



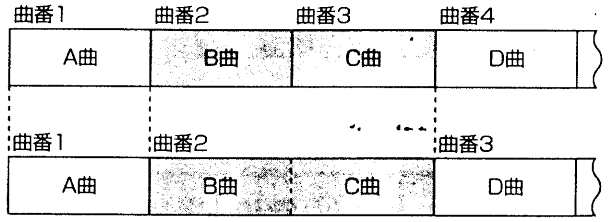

## 曲を分ける－DIVIDE（デバイド）機能 P75

1つの曲を途中から2つの曲に分けて曲番をつけるのがデバイド機能です。
本来2つの曲であったものが、曲間が短かくて1つの曲として録音されたときに、もとの2つの曲に戻すことができます。また、1つの曲を好きなところで頭出しが簡単にできるように分けるときなどに便利です。



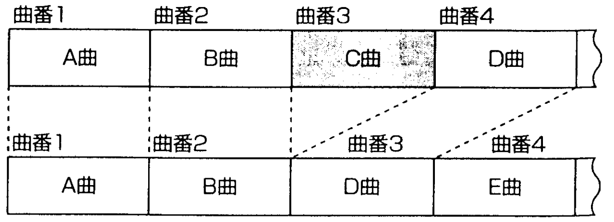

## 曲と曲をつなぐ－COMBINE（コンバイン）機能 P75

2曲目と3曲目など連続する2つの曲をつないで1曲にまとめるのがコンバイン機能です。
曲の途中に無音部分があり、本来1つの曲であるものが2つの曲として録音されたり、メドレー風に曲を続けたりしたいときに曲をつなぐことができます。




## 曲を消す－ERASE（イレース）機能 P76

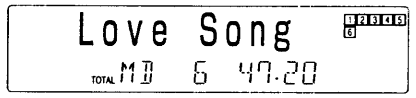
録音した曲を上から録音し直すことなく、曲番を指定するだけで簡単に消すのがイレース機能です。
MDに録音されている曲すべてを一度に消すことができるALL ERASE（オール イレース）機能もあります。



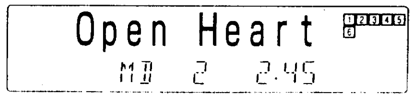

## ディスク名や曲名をつける－DISC（ディスク）／TRACK NAME（トラック ネーム）機能 P77～82

録音したMDにディスク名をつけたり、曲の1つ1つに曲名をつけたりするのがディスク／トラック ネーム機能です。文字の種類は、アルファベットの大文字／小文字、カタカナ、数字、記号があります。

（例）

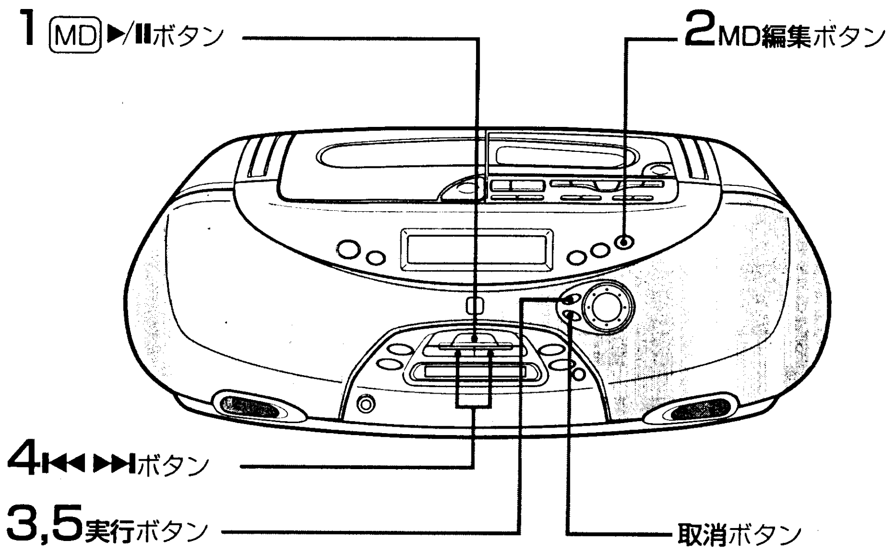


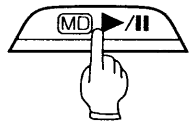
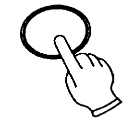
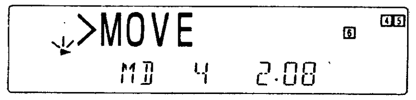
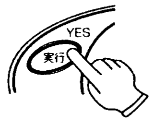
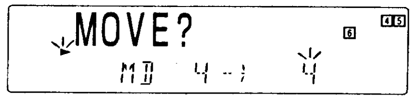
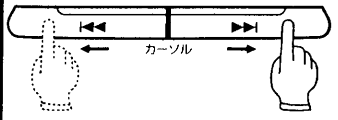
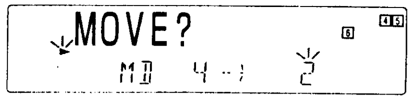
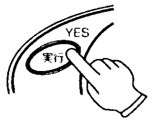

ディスク名表示




曲名表示






| 操作するボタン | 曲を移動する（MOVE（ムーブ）機能） |
| --- | --- |
| 1  | 移動させたい曲を演奏中、MD ▶/II ボタンを押す。<br>一時停止状態になります。 |
| 2  MD編集 | 「>MOVE」を表示させる。<br>● 停止状態で先に曲を選び、そのあとこの操作をすることもできます。<br>  |
| 3  YES 実行 |  <br>「4」が点滅 |
| 4   | MDのI◀◀ または ▶▶I ボタンで移動先を選ぶ。<br>● リモコンの1～9、10／0、+10ボタンを使って選ぶこともできます。<br>(例)曲番4を曲番2へ移動<br>  |
| 5  YES 実行 | 曲が移動して、移動した曲の頭で一時停止状態になります。<br>● 後ろに移動したときは、移動する曲以降から、移動後の曲番までの間は、曲番が1つずつ減ります。<br>● 前に移動したときは、移動する曲より前の曲番から、移動後の曲番までの間は、曲番が1つずつ増えます。 |

### 「COMPLETE」表示について

MDの各編集操作を行なったとき、「COMPLETE」が表示されますが、MDにその編集内容は書き込まれていません。
編集したあと、他のファンクションにすると書き込みをします。P60

**ご注意**

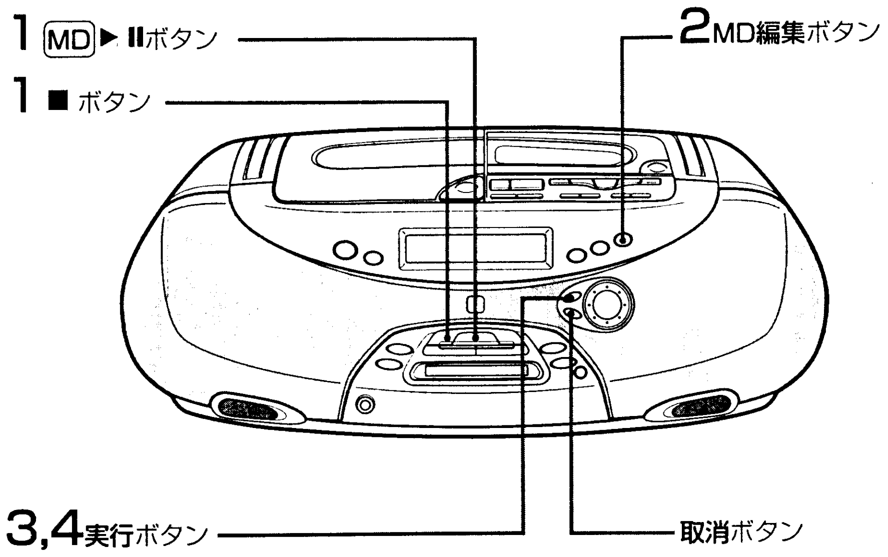
● データを書き込む前に電源コードを抜いたりすると、正しく再生することができなくなります。

### 途中で取り消したいときは

5の実行ボタンを押すまでに、取消ボタンを押してください。

編集

つづく




### 「COMPLETE」表示について

MDの各編集操作を行なったとき、「COMPLETE」が表示されますが、MDにその編集内容は書き込まれていません。
編集したあと、他のファンクションにすると書き込みをします。P60

**ご注意**

● データを書き込む前に電源コードを抜いたりすると、正しく再生することができなくなります。

### 途中で取り消したいときは

4 の実行ボタンを押すまでに、取消ボタンを押してください。

| 操作するボタン | 曲を分ける（DIVIDE 機能） | 曲と曲をつなぐ（COMBINE 機能） | 1曲ずつ消す（ERASE 機能） | すべての曲を消す（ALL ERASE 機能） |
|---|---|---|---|---|
| 1 MD ▶/II<br>● ALL ERASE機能のときのみ ■ | 演奏中に曲を分けたいところで MD ▶/II ボタンを押す。<br>一時停止状態になります。 | 連続した2つの曲のうしろの曲を演奏し、MD ▶/II ボタンを押す。<br>一時停止状態になります。 | 消したい曲を演奏し、MD ▶/II ボタンを押す。<br>一時停止にしなくてもERASEはできます。 | 消したいMDを入れ、MDの■ ボタンを押す。<br>MDファンクションにします。 |
| 2 MD編集<br>希望の編集機能を表示させる。 | 「>DIVIDE」を表示させる。<br>例）曲番2を分けるとき<br>>DIVIDE<br>MD 2 2.08 | 「>COMBINE」を表示させる。<br>例）曲番2と3をつなぐとき<br>>COMBINE<br>MD 3 2.08 | 「>ERASE」を表示させる。<br>例）曲番2を消すとき<br>>ERASE<br>MD 2 2.08 | 「>ALL ERASE」を表示させる。<br>例）6曲入りのMDの内容をすべて消すとき<br>>ALL ERASE<br>TOTAL MD 6 33.10 |
| 3 YES 実行 | DIVIDE?<br>MD 2 2.08 | COMBINE?<br>MD 2 + 3 | ERASE OK?<br>MD 2 2.08 | ERASE OK?<br>TOTAL MD 6 33.10 |
| 4 もう一度、実行ボタンを押す。<br>YES 実行 | 曲が分けられて、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。<br>● 分けた曲以降の曲番は、1つずつ増えます。<br>● 録音日時が記録されている曲を分けたときは、2つに分けた曲両方に同じ録音日時が記録されます。 | 2つの曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。<br>● つないだ曲以降の曲番は、1つずつ減ります。<br>● 曲名や録音日時が記録されている曲をつないだときは、次のようになります。<br>● 前の曲に記録されている曲名がつきます。<br>● 後ろの曲だけに記録されているときは、曲名はつきません。 | 曲が消されて、次の曲の頭で一時停止（再生）状態になります。<br>● 最終曲を消したときは、停止状態になります。<br>● 消した曲以降の曲番は、1つずつ減ります。 | すべての曲と曲名が消えます。 |
| | ● 曲の頭や終りで曲を分けることはできません。<br>●「TRKPROTECT」が表示されたときも曲を分けることはできません。 | ● 次のような曲はつなぐことはできません。<br>● ステレオモードで録音された曲とモノラルモードで録音された曲<br>● デジタル録音した曲とアナログ録音した曲<br>●「TRKPROTECT」が表示される曲 | ● 一度消すと、もとに戻すことはできません。消したい曲をよく確かめてから操作してください。<br>● 停止状態のときは、曲を選んだ状態でおこなってください。<br>●「TRKPROTECT」が表示される曲は消せません。 | ● 停止中に曲を選んでいるときは、すべての曲を消すことはできません。 |

編集

## ディスク名や曲名をつける前に

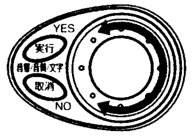
● 1枚のMDに、ディスク名は1つだけ、曲名は最大254曲つけることができます。

### 入力できる文字数について

| | | |
|---|---|---|
| ディスク名の入力文字数 | 最大100文字(スペース含む) | 100文字をこえると「NAME FULL」(ネーム フル)が表示されます。 |
| 曲名の入力文字数 | 最大100文字(スペース含む) | |
| 1枚のMDの入力文字数 | ディスク名と曲名を合わせて約1700文字(スペース含む) | 入力文字数をこえると「NAME FULL」(ネーム フル)が表示されます。 |

● カタカナを入力したときは、上記文字数より入力できる文字数は少なくなります。

### 文字の種類について

| 文字の種類 文字モード | 文字(記号)  |
|---|---|
| アルファベットの大文字(SELECT ABC) | ABCDEFGHIJKLM ➡<br>NOPQRSTUVWXYZ |
| アルファベットの小文字(SELECT abc) | abcdefghijklm ➡<br>nopqrstuvwxyz |
| カタカナ (SELECT アイウ) | アイウエオァィゥェォヴ ➡<br>カキクケコガギグゲゴ ➡<br>サシスセソザジズゼゾ ➡<br>タチツテトッダヂヅデド ➡<br>ナニヌネノ ➡<br>ハヒフヘホバビブベボパピプペポ ➡<br>マミムメモ ➡<br>ヤユヨャュョ ➡<br>ラリルレロワヲンー |
| 数字 (SELECT 123) | 1234567890 |
| 記号 (SELECT !?") | ! ? " & * , . ( ) + − / = ➡<br>' : ; # $ % @ ` < > _ (スペース) |

● カーソルボタン ➡ を2回以上押したとき、文字がそこに登録されていなければ「スペース」が入力されます。
● カーソルボタン ⬅ または ➡ は、押し続けると連続してカーソルが移動します。



つづく

### 文字の入力中に文字の種類を切り換えるには

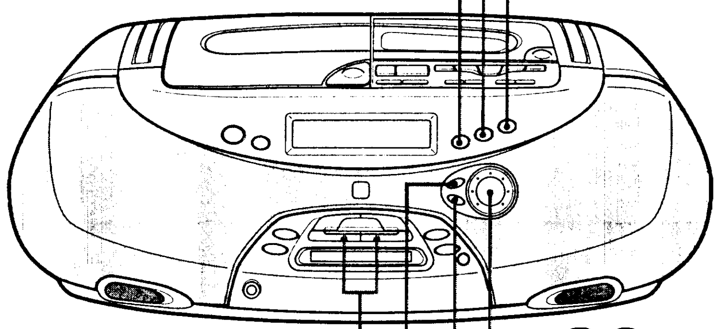
文字モードボタンを押すたびに次のように切り換わります。

アルファベットの大文字「SELECT ABC」 → アルファベットの小文字「SELECT abc」 → 数字「SELECT 123」 → カタカナ「SELECT アイウ」 → 記号「SELECT !?"」 → (アルファベットの大文字「SELECT ABC」に戻る)

● 文字の入力モードにしたときは、アルファベットの大文字入力モードが選択されています。

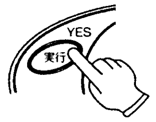
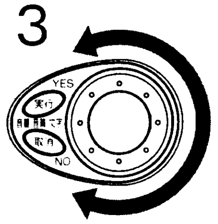
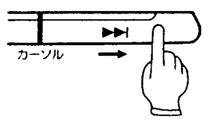
☞つづく

## ディスク名をつける（DISC NAME（ディスク ネーム）機能）

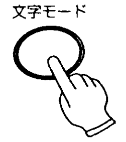
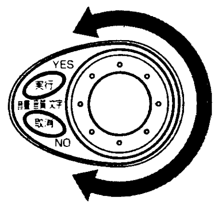
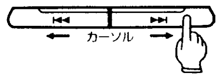
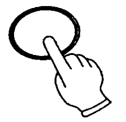
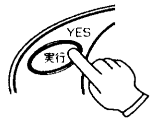



MDの■ボタンを押して、MDファンクションにする

（例）ディスク名「Love Song」を入力します。

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 1 MD編集 | 停止状態でMD編集ボタンを押して、「>NAME EDIT」を表示させる。 | >NAME EDIT / TOTAL MD 16 33.10 |
| 2  | 実行ボタンを押す。<br>文字入力状態になります。<br>● 操作を取り消したいときは取消ボタンを押してください。 | TOTAL MD 16 33.10<br>カーソルが点滅 |
| 3  | 音量／音質／文字ジョグダイヤルを回して、「L」を表示させる。 | L / TOTAL MD 16 33.10 |
| 4  | カーソルボタン➡を押す。<br>次の文字へカーソルが移動します。 | L / TOTAL MD 16 33.10<br>「L」が点灯、カーソルが点滅 |



| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 5 文字モード  | 文字モードボタンを押す。<br>アルファベットの小文字入力モードになります。 | SELECT abc / TOTAL MD 16 33.10 |
| 6   文字モード  | 音量／音質／文字ジョグダイヤルを回して、ご希望の文字を表示させてからカーソルボタン➡を押し、文字を入力する。<br>①「o」を表示させ、カーソルボタン➡を押す。<br>②「v」を表示させ、カーソルボタン➡を押す。<br>③「e」を表示させ、カーソルボタン➡を押す。<br>④ カーソルボタン➡を押してスペースを入れる。<br>⑤ 文字モードボタンを押して「SELECT ABC」を表示させ、アルファベットの大文字入力モードにする。<br>⑥「S」を表示させ、カーソルボタン➡を押す。<br>⑦ 文字モードボタンを押して「SELECT abc」を表示させ、アルファベットの小文字入力モードにする。<br>⑧「o」を表示させ、カーソルボタン➡を押す。<br>⑨「n」を表示させ、カーソルボタン➡を押す。<br>⑩「g」を表示させる。 | ①のときの表示<br>Lo / TOTAL MD 16 33.10<br>⇩<br>④のときの表示<br>Love / TOTAL MD 16 33.10<br>⇩<br>⑤のときの表示<br>SELECT ABC / TOTAL MD 16 33.10<br>⇩<br>⑥のときの表示<br>Love S / TOTAL MD 16 33.10<br>⇩<br>⑩のときの表示<br>Love Song / TOTAL MD 16 33.10 |
| 7  | 実行ボタンを押す。<br>ディスク名の入力が終わりました。<br>● 11文字以上の文字を入力したときは、1回スクロール表示した後、最初の10文字を表示します。 | TOC Love Song / TOTAL MD 16 33.10<br>「TOC」が点灯 |

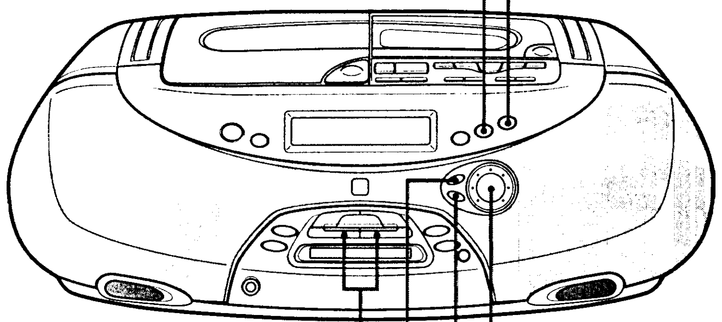
入力中に文字の入れまちがいに気づいたときは

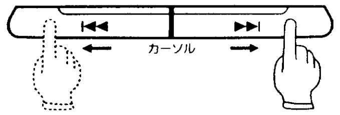
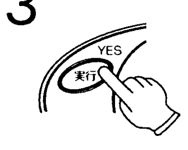
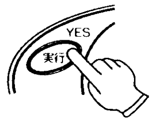
1 カーソルボタン⬅または➡を押して、修正したい文字を点滅させる。

2 削除（文字）ボタンを押して、文字を削除する。

3 正しい文字を入力する。

## 曲名をつける（TRACK NAME（トラック ネーム）機能）




| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1  | 曲名をつけたい曲をMDの ⏮ または ⏭ ボタンを押して選択する。<br>● 曲名をつけたい曲が演奏中や録音中または一時停止中でも、曲名をつけることができます。<br>演奏中や録音中は、曲名をつけたい曲が終わるまでに入力操作をして、実行ボタンを押してください。 | NO NAME<br>MD 3 3:35 |
| 2 | MD編集ボタンを押して、「>NAME EDIT」を表示させる。<br>● 操作を取り消したいときは取消ボタンを押してください。 | >NAME EDIT<br>MD 3 3:35 |
| 3  | 実行ボタンを押す。<br>● 文字入力状態になります。 | MD 3 3:35<br>カーソルが点滅 |
| 4 | 曲名を入力する。（P80 の6の操作） | Open Heart<br>MD 3 3:35 |
| 5  | 実行ボタンを押す。<br>曲名の入力が終わりました。<br>● 11文字以上の文字を入力したときは、1回スクロール表示した後、最初の10文字を表示します。 | TOC Open Heart<br>MD 3 3:35<br>「TOC」が点灯 |

● 「TRKPROTECT」が表示される曲は、曲名をつけることはできません。



## 登録しているディスク名と曲名を修正する

### 文字を追加する

**1** ディスク名または曲名の入力状態にする。
● ディスク名のときは、P79 の1〜2の操作。
● 曲名のときは、P81 の1〜3の操作。

**2** カーソルボタン⬅または➡で追加したい位置にカーソルを移動する。
（例）「o」と「g」のあいだに「n」を追加するとき

Love Sog

**3** 文字を入力する。
● カーソルより右の文字は、すべて1つずつ右へ移動します。
● 文字と文字のあいだに空白（スペース）を入れるには、文字モードを記号にして空白（スペース）を選んでください。

Love Song

**4** 実行ボタンを押す。

### 文字を削除する

**1** ディスク名または曲名の入力状態にする。
● ディスク名のときは、P79 の1〜2の操作。
● 曲名のときは、P81 の1〜3の操作。

**2** カーソルボタン⬅または➡で削除したい文字の上にカーソルを移動する。
（例）「n」を削除するとき

Love Sonng

**3** 削除（文字）ボタンを押す。
● カーソル上の文字が削除されます。
● カーソルより右の文字は、すべて1つずつ左へ移動します。

Love Song

**4** 実行ボタンを押す。

● 文字を変更したいときは、変更したい文字を削除した後、文字を入力（追加）してください。

## 登録しているディスク名と曲名を消去する

### ディスク名／曲名を消去する

**1** ディスク名または曲名の入力状態にする。
● ディスク名のときは、P79 の1〜2の操作。
● 曲名のときは、P81 の1〜3の操作。

**2** リモコンのセット／クリアーボタンを押す。
● 操作を取り消したいときは、取消ボタンを押してください。

NAME CLR?

**3** 実行ボタンを押す。
● ディスク名または、曲名が消去されました。

## 登録しているディスク名とすべての曲名を消去する

**1** ディスク名の入力状態にする。（P79 の1〜2の操作）

**2** リモコンのセット／クリアーボタンを2回押す。
● 操作を取り消したいときは、取消ボタンを押してください。

ALL NAME?

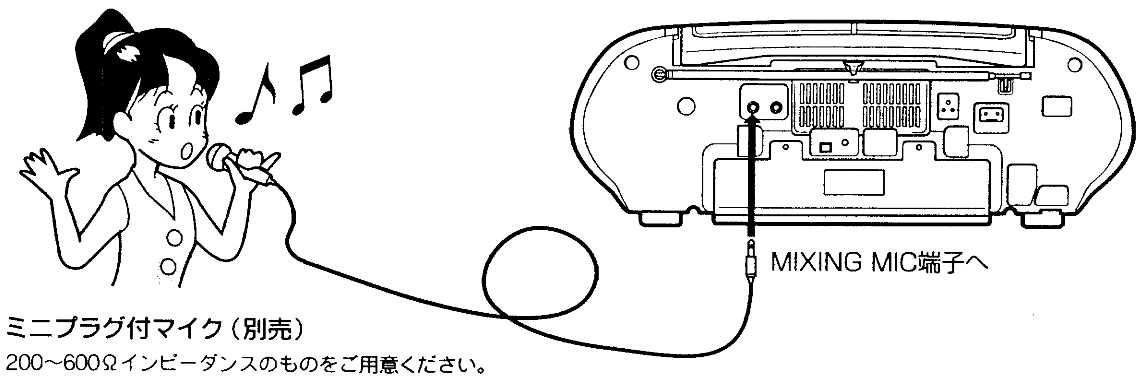
**3** 実行ボタンを押す。
● ディスク名とすべての曲名が消去されました。

# 他の機器を接続して使う

**接続上のご注意**
- 接続する前に、各機器の電源を切っておいてください。
- 接続コードはしっかり差し込んでください。
- コードを抜くときは必ずプラグを持って。
- くわしい操作は各機器の説明書をごらんください。

## マイクミキシングをするには

マイク（別売）を使ってCD、MD、テープ、ラジオ・テレビ音声、LINE IN端子に接続した音源とのミキシングができます。




**ミニプラグ付マイク（別売）**
200～600Ωインピーダンスのものをご用意ください。
標準プラグ付マイクの場合は、市販のプラグアダプターをご使用になると接続できます。

1 マイクを接続する。

2 電源を入れる。

3 ミキシングする音源（ソース）のファンクションにして、演奏状態にする。

4 マイクとミキシングソースの全体の音量を音量／音質／文字ジョグダイヤルで調節する。

**ちょっとこれを！**
- CDからMDへのマイクミキシング録音はできません。
- ミキシングをしているとき、ハウリング（ピーという音）が起こることがあります。そのときはマイクをできるだけスピーカーから離すか、音量を小さくしてください。
- 倍速ボタンでミキシングの音を正しく録音することはできません。
- CDまたはMDとのミキシング時は、演奏中のみマイクの音声がでます。停止または一時停止中は音は出ません。
- ミキシングをしないときは、マイクをMIXING MIC端子から抜いておいてください。

**ミキシングした音を録音するには……**
テープまたはMDを録音状態にしてください。

## マイクから録音するには

**テープへ録音するとき**

1 上記と同様にマイクを接続する。

2 デッキに録音用テープを入れる。

3 停止ボタンを押して表示部に「TAPE」を表示させる。

4 デッキを録音状態にする。

**MDへ録音するとき**

1 上記と同様にマイクを接続する。

2 MD挿入窓に録音用MDを入れる。

3 リモコンのライン（入力）ボタンを押して、ファンクションを「LINE」にする。
- LINE端子には何も接続しない。

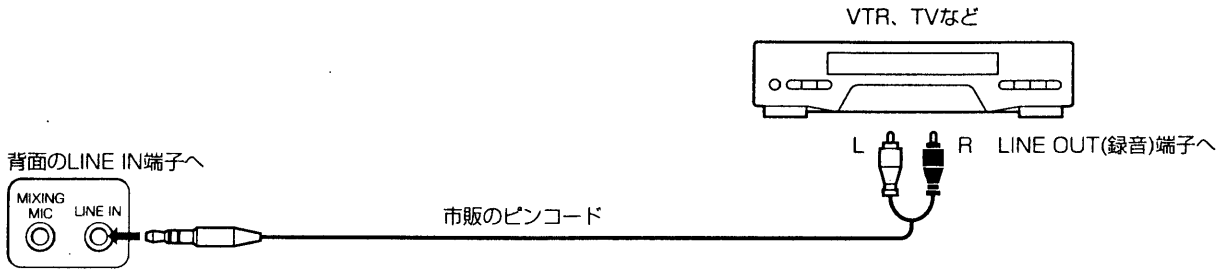
4 MDを録音状態にする。

- マイクの音はスピーカーでモニターできます。
- 事前に試し録音をすることをおすすめします。録音レベルはマイクと口元との距離で調節してください。



**LINE IN端子からの音をMDに録音するときは、オートマーカー機能が使えます。**P71
無音部分（約1.5秒以上）に曲番を自動的につけます。

## VTRやTVの音を聞いたり録音するには




**他の機器の音を本機で聞くには……**

1 リモコンのライン（入力）ボタンを押して表示部に「LINE」を表示させる。

2 接続した機器を音が出る状態にする。

3 本機の音量／音質／文字ジョグダイヤルまたは音質ボタンで音量と音質を調節します。

**他の機器の音を本機で録音するには……**

左記の1～3の操作をした後、本機のテープまたはMDを録音状態にする。

- 本体のスキップサーチ ▶▶| ボタンを押したまま実行ボタンを押すと、ライン入力の感度を「HIGH」または「LOW」に切り換えることができます。

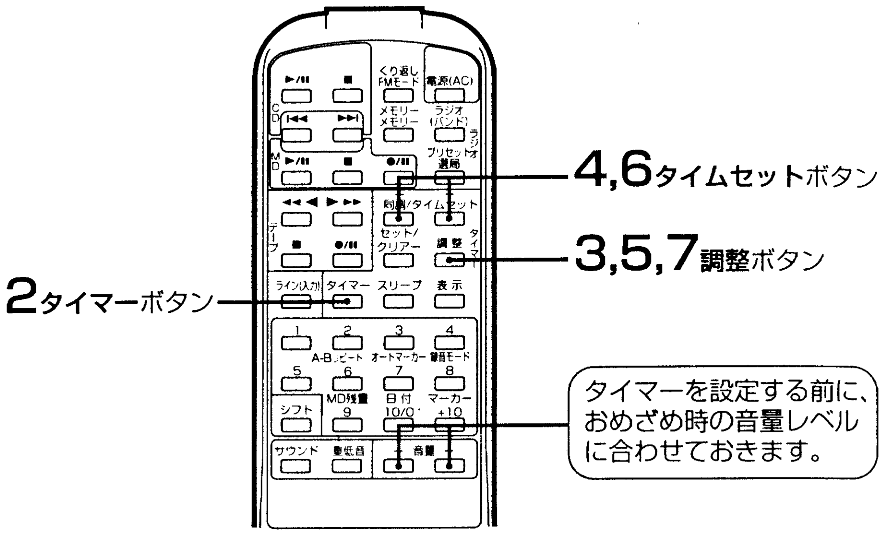
つづく

## タイマーで音楽を聞く

ON-OFFタイマーを設定しますとめざまし時計のかわりにラジオ・テレビ音声、テープ、CD、MDなどを鳴らすことができます。
おめざめ時に音がだんだん大きくなるフェードイン機能があります。
タイマーは一度設定すれば毎日同じ時刻に働きます。

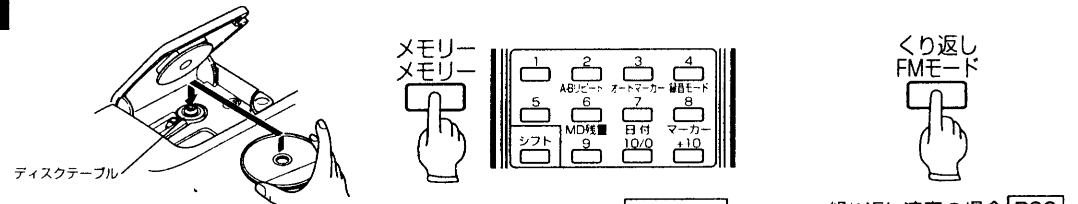
設定の流れ

1. 音源を選ぶ
2. ON時刻を設定する
3. OFF時刻を設定する
4. PLAYモードを選ぶ
5. 電源を切る



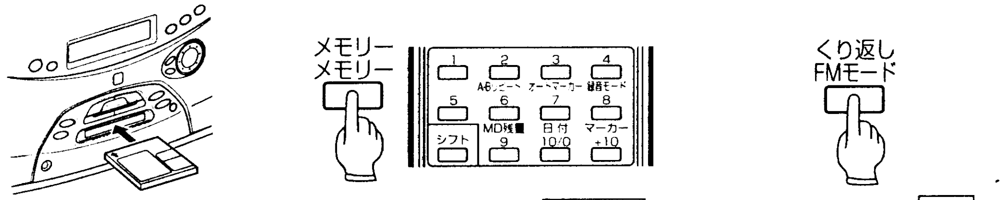

### タイマーを設定する前に　使う音源に合わせて準備します。

**CDを聞く**



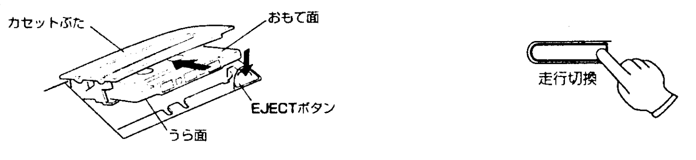

CDを入れる。　プログラム演奏の場合 P29～30　繰り返し演奏の場合 P32

**MDを聞く**



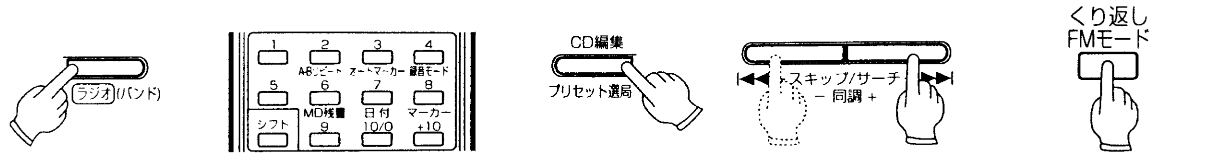

MDを入れる。　プログラム演奏の場合 P29～30　繰り返し演奏の場合 P32

**テープを聞く**




テープを入れる。　リバースモードを選ぶ。P34

**ラジオ・テレビ音声を聞く**　おめざめ時の放送を受信します。P37～44




P39　P39　P41～42　受信モードを選ぶ P37



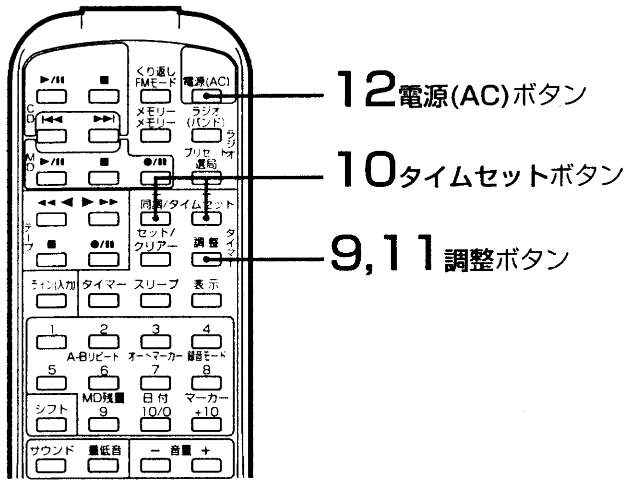
## (例) CD演奏で7:30(午前7時30分)におめざめし、8:15(午前8時15分)まで聞きます。

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | タイマー動作させたいファンクションにします。<br>● ご希望の音量レベルにしておきます。 | (例)CDの場合<br>TOTAL CD 11 48:43 |
| 2 タイマー | タイマーボタンを押す。<br>前回設定されたON時刻とファンクションが表示されます。<br>「⏲」表示が点灯します。 | ON TIME<br>MD 0:00<br>前回のファンクションが表示される |
| 3 調整 | 10秒以内に調整ボタンを押す。<br>現在のファンクションが表示され、「⏲」と「時」表示が点滅します。 | ON TIME<br>CD 0:00<br>現在のファンクション |
| 4 － 同調/タイムセット ＋ | タイムセットボタン(「＋」または「－」)を押して「時」表示を合わせる。<br>● ボタンを押し続けると、「時」表示は連続的に進みます。 | ON TIME<br>CD 7:00 |
| 5 調整 | 調整ボタンを押す。<br>「⏲」と「分」表示が点滅します。 | ON TIME<br>CD 7:00 |
| 6 － 同調/タイムセット ＋ | タイムセットボタン(「＋」または「－」)を押して「分」表示を合わせる。<br>● ボタンを押し続けると、「分」表示は連続的に進みます。<br>●「分」表示が「59」から「00」になっても、「時」表示は繰りあがりません。 | ON TIME<br>CD 7:30 |
| 7 調整 | 調整ボタンを押す。<br>これでON時刻の設定が終わりました。<br>今度は、OFF時刻に変わり「⏲」と「時」表示が点滅します。 | OFF TIME<br>CD 7:30 |
| 8 | 上記4～6と同様にOFF時刻を合わせる。<br>(例) CDでおめざめ | OFF TIME<br>CD 8:15 |

タイマー

つづく

## タイマーで音楽を聞く(つづき)




| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 9 調整 | **調整ボタンを押す。** これでOFF時刻の設定が終わりました。 前回設定されたタイマー動作モード(「PLAY」または「MD REC」または「TA REC」)と「◷」表示が点滅します。 | (例)MDの録音 TIMER MODE CD MD REC 前回のタイマー動作モードが表示される |
| 10 同調/タイムセット | **タイムセットボタン(「+」または「−」を押して「PLAY」を選ぶ。** ● ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。 → PLAY → MD REC → TA REC → | (例) TIMER MODE CD PLAY |
| 11 調整 | **調整ボタンを押す。** 点滅が止まり元の表示に戻ります。 「◷」表示が点灯します。 | (例) TOTAL CD 11 48.43 |
| 12 電源(AC) | **電源(AC)ボタンを押して電源を切る。** 表示部に年月日と現在時刻表示が残り、「◷」表示が点灯します。 | (例) '99. 07. 10 23:00 CLOCK |

これでタイマー演奏(再生)の設定が全て終わりました。

- これでタイマーON時刻が来ると、自動的に設定した内容で電源が入り、無音状態から設定された音量レベルまで音量が上がります。(フェードイン機能)
  - タイマー動作中は、「◷」表示が点滅します。
  - TAPE動作の場合は、必ずおもて面(▶)から再生を始めます。

  タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。
- タイマー動作中に電源(AC)ボタンを押すと、電源が切れ、タイマーの待機状態になります。

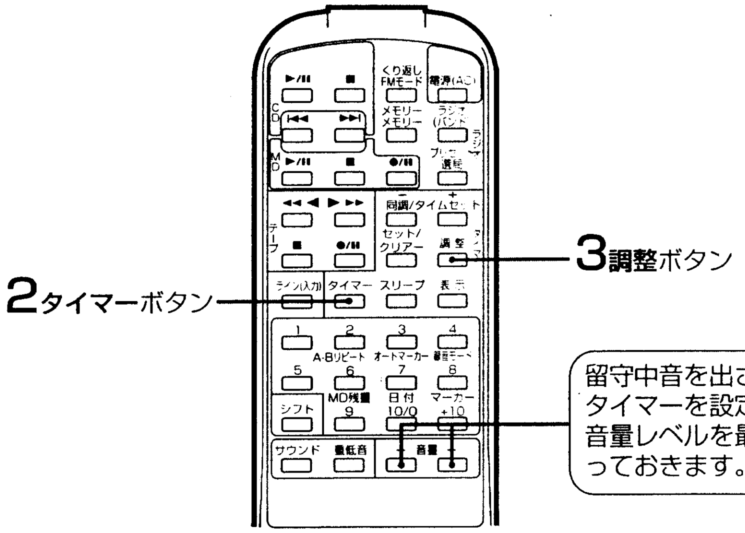


## 留守録音をする

設定した時刻に自動的に電源を入れ、お好みのラジオ・テレビ音声を留守録音することができます。
一度設定すれば、毎日同時刻の番組を留守録音することができます。

**設定の流れ**

音源を選ぶ
▼
ON時刻を設定する
▼
OFF時刻を設定する
▼
RECモードを選ぶ
▼
電源を切る

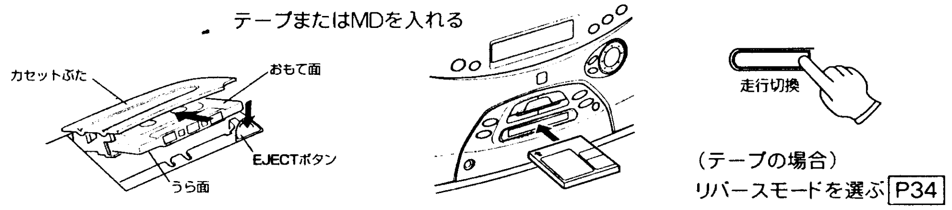



留守中音を出さないため、タイマーを設定する前に、音量レベルを最小にしぼっておきます。

### タイマーを設定する前に

ご希望の放送局を受信します。 P37~44

受信モードを決めます。 P37



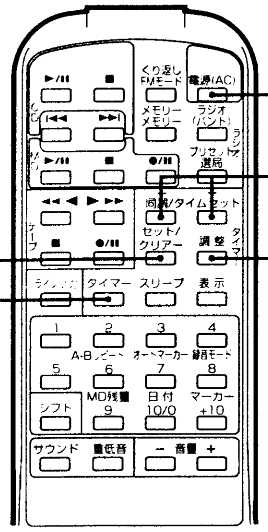

(テープの場合)
リバースモードを選ぶ P34

**(例) 14:45(午後2時45分)から15:15(午後3時15分)までFM放送をMDへ留守録音します。**

| 操作とはたらき | | 表示 |
|---|---|---|
| 1 | **留守録音する放送局を受信します。** | (例)FM放送のプリセット番号6の88.1MHzを受信 FM 6 88.1 MHz ST |
| 2 タイマー | **タイマーボタンを押す。** 前回設定されたON時刻とファンクションが表示されます。 「◷」表示が点灯します。 | (例) ON TIME CD 7:30 前回のファンクションが表示される |
| 3 調整 | **10秒以内に調整ボタンを押す。** チューナーのバンドが表示され、「◷」と「時」表示が点滅します。 | (例) ON TIME FM 7:30 |

タイマー

## 留守録音をする(つづき)



10電源(AC)ボタン
8タイムセットボタン
5,7,9調整ボタン
セット/クリアーボタン
タイマーボタン

| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| 4　P86 の4～6の要領でON時刻を合わせる。 | (例)14時45分<br>ON TIME<br>FM 14:45 |
| 5　調整<br>調整ボタンを押す。<br>これでON時刻の設定が終わりました。<br>今度は、「⏲」と「時」表示が点滅します。 | OFF TIME<br>FM 14:45 |
| 6　P86 の4～6の要領でOFF時刻を合わせる。 | (例)15時15分<br>OFF TIME<br>FM 15:15. |
| 7　調整<br>調整ボタンを押す。<br>これでOFF時刻の設定が終わりました。<br>前回設定されたタイマー動作モード(「PLAY」または「MD REC」または「TA REC」)と「⏲」表示が点滅します。 | (例)FM放送を聞く<br>TIMER MODE<br>FM PLAY |
| 8　同調/タイムセット<br>タイムセットボタン(「+」または「−」)を押して「MD REC」を選ぶ。<br>● ボタンを押すたびに次の順番で切り換わります。<br>→ PLAY → MD REC → TA REC →<br>● このとき、リモコンのシフトボタンと録音モードボタンを同時に押すと、モノラル録音になります。 | (例)「MD REC」を選択<br>TIMER MODE<br>FM MD REC |



| 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|
| 9　調整<br>調整ボタンを押す。<br>点滅が止まり元の表示に戻ります。<br>「⏲ REC」表示が点灯します。 | (例)<br>FM 6 88.1 |
| 10　電源(AC)<br>電源(AC)ボタンを押して電源を切る。<br>表示部に現在日時と現在時刻表示が残り、「⏲ REC」表示が点灯します。 | (例)<br>'99. 07. 10<br>23:00 |

これで留守録音の設定が全て終わりました。

◆ これで設定したタイマーON時刻(MD録音の場合は1分前)になると電源が入り、設定時刻になると自動的に設定した内容で録音を始めます。
- 留守録音の動作中は、「⏲ REC」表示が点滅します。
- テープの録音は、必ずおもて面(►)から始まります。
- 誤消去防止用のツメが折られたテープや誤消去防止状態になっているMDでは録音されません。

タイマーOFF時刻になれば、電源が切れ、タイマーの待機状態(毎日同じ動作をする)になります。

### テープにタイマー録音後、誤って録音されることを防ぐために

設定された留守録音の内容で、毎日録音するような場合、録音は常におもて面(►)から始まりますので、誤って前の録音を消去してしまう恐れがあります。これを防ぐためには、1回の録音が終わったら、必ずテープを入れ替えてください。

### タイマーの内容を確認するには

電源を入れた状態で、

1. タイマーボタンを押す。
   ON時刻とファンクションが10秒表示されます。
2. 10秒以内にタイマーボタンを押す。
   OFF時刻とファンクションが10秒表示されます。
3. 10秒以内にタイマーボタンを押す。
   タイマー動作モード(「PLAY」または「MD REC」または「TA REC」)とファンクションが10秒間表示されます。
4. もう一度タイマーボタンを押すと元の表示に戻ります。

● 内容を変更するときは、1、2、3の操作で変更したい表示を出し、調整ボタンを押してから内容を変更してください。(前記の「タイマーで音楽を聞くには」または「留守録音をするには」の要領で操作)

### タイマーを解除したり再び同じ内容で設定するには

タイマーが動作待機状態になっているときは、電源を入れる

1. タイマーボタンを押す。
   ON時刻とファンクションが10秒表示されます。
2. 10秒以内にセット/クリアーボタンを押す。

セット/クリアー

「⏲」または「⏲ REC」表示が消え
タイマーが解除されます。

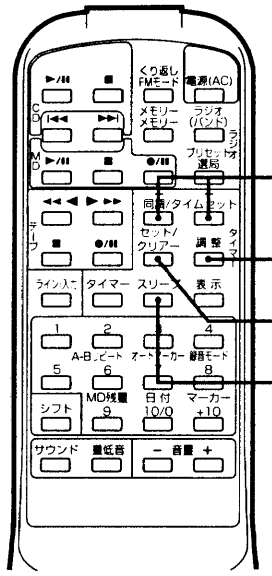
上記1、2の操作を繰り返すたびに、動作待機状態←→解除で交互に変わります。

3. 電源(AC)ボタンを押して電源を切る。

タイマー

## 音楽を聞きながら眠る（スリープ）

- おやすみ（スリープ）タイマーを設定しますと、CDやMD、テープ、ラジオ・テレビ音声を聞きながらおやすみになれます。
- スリープ時間には10～150分の中から10分間隔で選べます。
- スリープ終了時には、音がだんだん小さくなって消えるフェードアウト機能があります。
- スリープ時間は変更しないかぎりメモリーしています。




（例）現在動作中のファンクションで30分後に電源が切れるようにします。

| | 操作とはたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 1 スリープ | **スリープボタンを押す。**<br>前回設定したスリープ時間を表示します。<br>「SLEEP」表示が点灯します。 | (例)<br>SLEEP SET<br>SLEEP 60 |
| 2 調整 | **10秒以内に調整ボタンを押す。**<br>「SLEEP」表示とスリープ時間が点滅します。 | (例)<br>SLEEP SET<br>SLEEP 60 |
| 3 同調/タイムセット − + | **タイムセットボタン（「＋」または「－」）を押して、ご希望のスリープ時間を表示させる。**<br>●「＋」ボタンを押すたびに次の順でスリープ時間が変わります。（「－」ボタンを場合は逆の順）<br>→10→20→30 ············→150 | (例)30分<br>SLEEP SET<br>SLEEP 30 |
| 4 調整 | **調整ボタンを押す。**<br>表示部が元の表示に戻り、「SLEEP」表示が点滅します。 | (例)FM放送でおやすみ<br>SLEEP<br>FM 6 88.1 MHz ST |

これでおやすみ（スリープ）タイマーの設定が終わりました。

- スリープ残り時間が1分になると、だんだん音が小さくなり、残り時間が無くなると電源が切れます。
- スリープ動作にすると、表示部が自動的に暗くなります。



### 同じ内容で再びスリープを設定するには

1 スリープボタンを押す。
前回のスリープ時間が10秒間表示されます。

2 スリープ時間が表示されている間に、セット／クリアーボタンを押す。



表示部が元の表示に戻り、「SLEEP」表示が点滅し、スリープ状態になります。

上記1、2の操作を繰り返すたびに、スリープ状態←→解除で交互に変わります。

- スリープ残り時間を確認したいときは、スリープ動作中にスリープボタンを押すと表示部に残り時間が表示されます。

おやすみ（スリープタイマー）→おめざめ（ON-OFFタイマー）の連続動作ができます。
おやすみ時とおめざめ時に動作させるファンクションを変えることもできます。

1 P85～87で「タイマーで音楽を聞く」の1～11の要領でON-OFFタイマーを設定します。
（電源が入った状態で「◴」表示が点灯していること）

2 前ページの1～4の要領でスリープを設定します。

タイマー

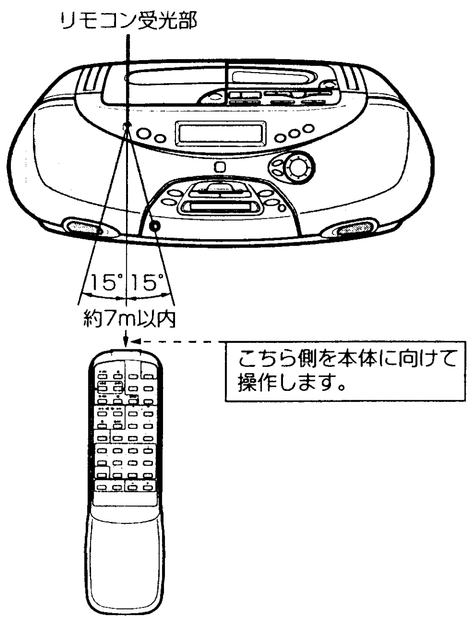
つづく

## リモコンでできる操作

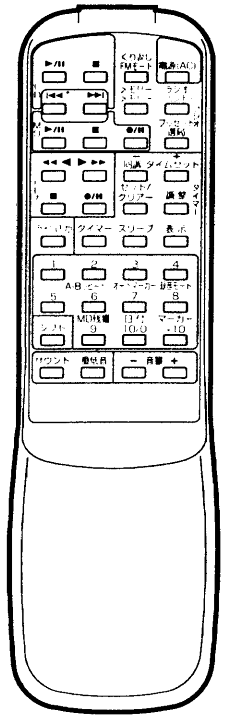
### リモコンで使える範囲

水平（垂直）方向で左右（上下）15°ずつ、直線距離で約7mまでの範囲です。それ以外の範囲では、リモコンで操作できないことがあります。

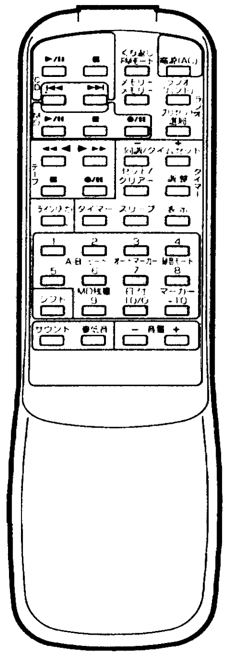
- リモコン受光部とリモコンとの間に障害物があると操作できません。
- 直射日光下やインバーター蛍光灯の近くでは正常に動作しないこともあります。

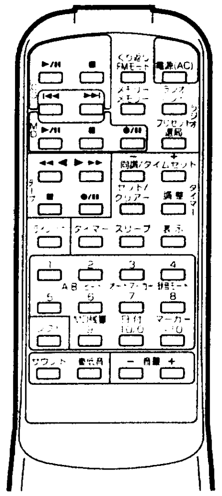



リモコンでファンクションを切り換える場合は切り換えたいファンクション（▶/II，◀◀ ◀，▶ ▶▶，■，ラジオ（バンド），ライン（入力））ボタンを押すだけで直接その動作がスタートします（ワンタッチ再生機能）。
例：TAPE動作からCD動作へ切り換える場合。CD ▶/II ボタンを押すだけでCD演奏がスタートする。

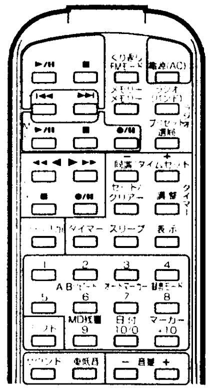
| CD部 | 操　　作 | 押すボタン |
|---|---|---|
|  | 1曲目から演奏する | [▶/II]（自動的にファンクションが「CD」になる） |
| | ご希望の曲から演奏する | CDファンクションで [1～9, 10/0, +10ボタン] |
| | プログラム演奏をする | CDファンクションで [メモリー] → [1～9, 10/0, +10ボタン] → [▶/II]（繰り返し操作） |
| | 演奏を一時的に止める | 演奏中に [▶/II]（もう一度押すと演奏） |
| | 飛び越し演奏をする | 演奏中に [I◀◀] または [▶▶I]（ポンと押す） |
| | 早送り・早戻しをする | 演奏中に [I◀◀] または [▶▶I]（押し続ける） |
| | 繰り返し(リピート)演奏をする | 演奏中または演奏前に [くり返し FMモード]（もう一度押すと解除） |
| | 演奏を止める（CDファンクションにする） | [■] |

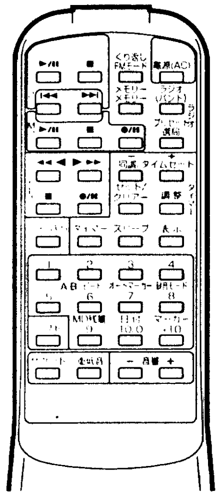


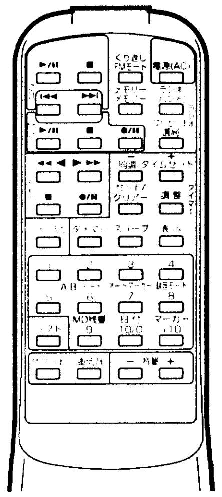
| MD部 | 操　　作 | 押すボタン |
|---|---|---|
|  | 1曲目から演奏する | [▶/II]（自動的にファンクションが「MD」になる） |
| | ご希望の曲から演奏する | MDファンクションで [1～9, 10/0, +10ボタン] |
| | プログラム演奏をする | MDファンクションで [メモリー] → [1～9, 10/0, +10ボタン] → [▶/II]（繰り返し操作） |
| | 演奏を一時的に止める | 演奏中に [▶/II]（もう一度押すと演奏） |
| | 飛び越し演奏をする | 演奏中に [I◀◀] または [▶▶I]（ポンと押す） |
| | 早送り・早戻しをする | 演奏中に [I◀◀] または [▶▶I]（押し続ける） |
| | 繰り返し(リピート)演奏をする | 演奏中または演奏前に [くり返し FMモード]（もう一度押すと解除） |
| | 録音を始める | [●/II] → [▶/II] |
| | 録音を一時停止する | 録音中に [●/II] または [▶/II] |
| | 演奏を止める(MDファンクションにする) | [■] |
| | MDの残り時間を見る | [シフト] + [MD残量 9] |
| | 録音モード(ステレオ/モノラル)を選ぶ | [シフト] + [録音モード 8] |
| | ご希望のところに曲番をつける(録音中) | [シフト] + [マーカー +10] |
| | オートマーカー、タイムオートマーカー機能のON/OFF | [シフト] + [オートマーカー 7] |
| | A-Bリピート機能のON/OFF | [シフト] + [A-Bリピート 6] |

| デッキ部 | 操　　作 | 押すボタン |
|---|---|---|
|  | テープを聞く | [◀◀ ◀] または [▶ ▶▶]（ポンと押す）（自動的にファンクションが「TAPE」になる） |
| | 早送り・巻き戻しをする | [◀◀ ◀] または [▶ ▶▶]（1秒以上押す） |
| | 曲の頭出しをする | 再生中に [◀◀ ◀] または [▶ ▶▶]（1秒以上押す） |
| | 録音を始める | [●/II] → [◀◀ ◀] または [▶ ▶▶] |
| | 録音を一時停止する | 録音中に [●/II] |
| | テープを止める(TAPEファンクションにする) | [■] |
| | テープカウンターのリセット | TAPEファンクションのときに [セット/クリアー] |

☞つづく

| 共通部 | 操作 | 押すボタン |
|---|---|---|
|  | 電源 入・切 | [電源(AC)] |
| | 音量調節 | [音量＋] または [−音量] |
| | お好みの音質で聞く | [サウンド] |
| | お好みの重低音効果で聞く | [重低音] |
| | LINEファンクションにする | [ライン(入力)] |
| | 表示内容を切り換える(現時刻・テープカウンターなど) | [表示] |

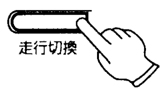
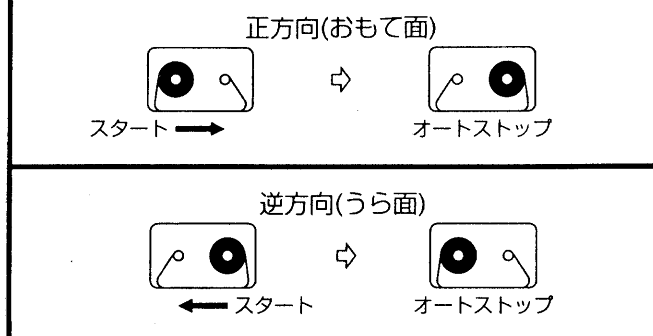
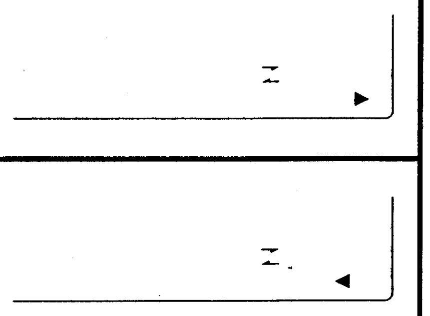
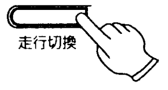
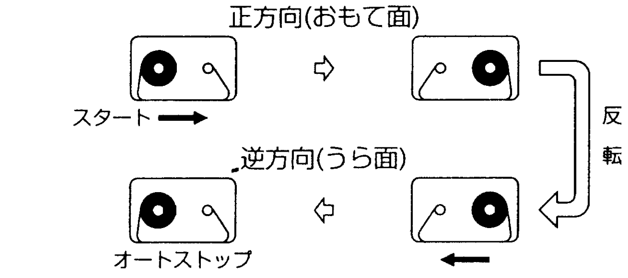
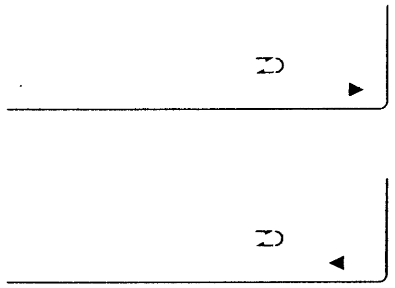
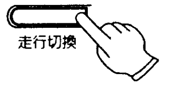
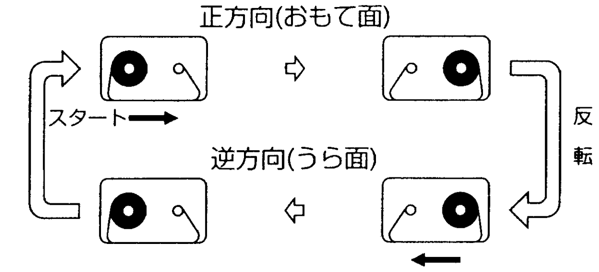
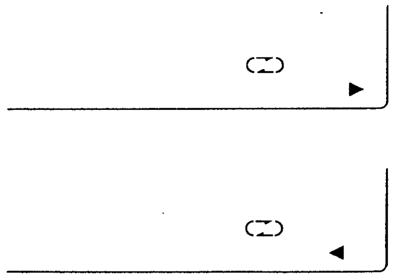
| チューナー部 | 操作 | 押すボタン |
|---|---|---|
|  | チューナー動作にする<br>バンドを選ぶ | [ラジオ(バンド)] |
| | 局をプリセットする | 選局後 [メモリー] → [1～10ボタン] |
| | プリセットされた局の放送を聞く | チューナー動作で [1～10ボタン] または<br>チューナー動作で [プリセット選局] (ポンポンと押す) |
| | プリセットスキャン選局する | チューナー動作で [プリセット選局] (0.5秒以上押す) |
| | モード(ステレオ／モノラル)を選ぶ | チューナー動作で [くり返し FMモード] |
| | 選局する | チューナー動作で [−同調/タイムセット] または [同調/タイムセット＋] |

| 時計部 | 操作 | 押すボタン |
|---|---|---|
|  | 年月日を合わせる | [シフト] + [日付 10/0] (同時に2回押す) → [−同調/タイムセット＋] → [調整] |
| | 現在時刻を合わせる | [調整] → [−同調/タイムセット＋] → [調整] |
| | タイマーを設定する | [タイマー] → [調整] → [−同調/タイムセット＋] → [調整]<br>(ON時間・OFF時間・タイマーモード) |
| | スリープを設定する | [スリープ] → [調整] → [−同調/タイムセット＋] → [調整] |
| | タイマー、スリープを前の設定と同じ内容で設定または、解除する | [タイマー] [スリープ] → [セット/クリアー] |



## リバースモードとテープ走行方向

本機のデッキはオートリバース機能を備えていますので走行切換ボタンを使って、テープを裏返すことなく連続してお楽しみいただけます。
リバースモードは、走行切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

| リバースモード | はたらき | 表示 |
|---|---|---|
| 片道再生<br><br>「⊐」を点灯させる。 | <br> |  |
| 往復再生<br><br>「⊐⊃」を点灯させる。 | <br><br>● 逆方向からスタートした場合は、片道再生となります。 |  |
| 連続再生<br><br>「⊂⊃」を点灯させる。 | <br><br>● オートストップは働きません。テープを止めるときは停止ボタンを押してください。 |  |

## カセットテープの消去のしかた

録音したテープに新しく録音すると、前の録音は自動的に消去されますが、新しく録音しないで消去するときは次のようにします。

1. MIXING MIC端子やLINE IN端子からマイクやコードをはずす。
2. リモコンのライン（入力）ボタンを押して表示部に「LINE」を表示させる。
3. デッキに消去するテープを入れる。
4. 走行切換ボタンを押して表示部にご希望のリバースモードを表示させる。
5. デッキを録音状態にする。（P58 の4、5参照）

## 時計の24時間表示⟷12時間表示切換

本機の時計は工場出荷時に、24時間表示にセットされていますが、12時間表示に切り換えることもできます。
次のようにして切り換えてください。

1 電源コードを接続して電源を入れる。

2 本体テープデッキの停止ボタンを押して表示部に「TAPE」を表示させる。

3 リモコンの表示ボタンを押して表示部の表示を「現在時刻表示」 P19 に切り換える。
- 必ず時間表示部に現在時刻が表示されている状態にしてください。

4 リモコンのメモリーボタンを押したまま本体テープデッキの停止ボタンを押す。
12時間表示に変わります。
（例）13:00→PM1:00
- ボタンを押すとき、リモコンと本体のリモコン受光部との間をさえぎらないようご注意ください。

再度4の操作をすると24時間表示に戻ります。

**ちょっとこれを!**

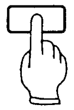
MDの録音日時は24時間表示のみです。12時間表示には変りません。



## 動作中に現在時刻表示やテープカウンター表示を確認したいとき

リモコンの表示ボタンを押すと、押すたびに次のように表示モードが切り換わります。

表示



**CD動作のとき**

※CD表示 → 現在時刻表示 → テープカウンター表示 →（CD表示に戻る）

**MD動作のとき**

※MD表示 → 現在時刻表示 → テープカウンター表示 →（MD表示に戻る）

**TAPE動作のとき**

※テープカウンター表示 → 現在時刻表示 →（テープカウンター表示に戻る）

**チューナー動作のとき**

※チューナー表示 → 現在時刻表示 → テープカウンター表示 →（チューナー表示に戻る）

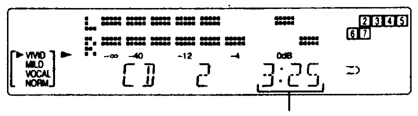
**LINE動作のとき**

現在時刻表示 → テープカウンター表示 →（現在時刻表示に戻る）

- 電源を入れたときや、ファンクションを切り換えたときは、上記※の表示モードになります。
- LINE動作時を除き、現在時刻表示に切り換えたときは、10秒後に※の表示モードに戻ります。
- テープカウンター表示はテープを装着している場合です。
  テープが入っていないときは、「－－－」表示になります。
- MD動作の表示は停止中の場合です。演奏中の表示は P32 をごらんください。

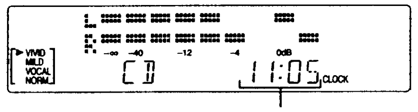
（表示例）

- CDファンクション時のCD表示（CD演奏中）



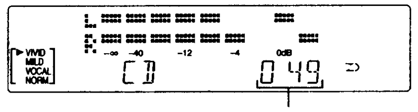

CD演奏時間

- CDファンクション時の現在時刻表示（CD演奏中）




現在時刻

- CDファンクション時のテープカウンター表示（CD演奏中）




テープカウンター

機能

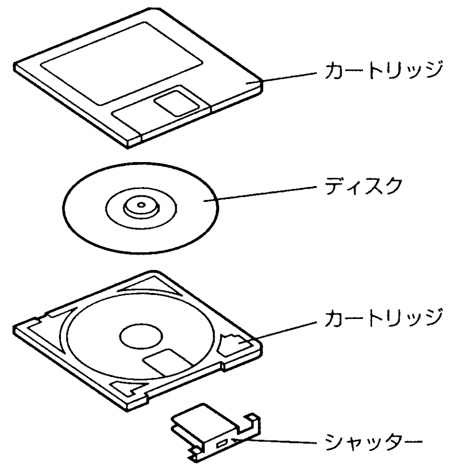
# ご参考に

## MD（ミニディスク）について一解説

### ミニディスクとは?

- 直径わずか64mmのディスクをカートリッジに収めたのがMD（ミニディスク）です。カートリッジの大きさも、68×72mm、厚さ5mmと小さく、ほこりに強くキズもつきにくく、指紋などを気にせず手軽に取扱えます。
- 録音、再生ともデジタル方式ですので、ノイズやひずみがきわめて少なく、CDに迫る高音質を実現しています。また、テープのようにからんだり、伸びたりすることがなく、音質も劣化せず耐久性に優れています。

**ミニディスクの構造（録音用）**




**お願い**

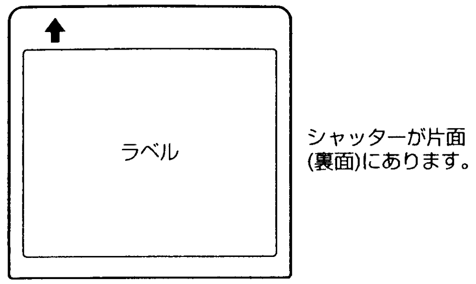
- ミニディスクは絶対に分解しないでください。

### MDの種類

MDには、再生専用のものと録音できるものと2種類があります。

**再生専用MD（ミニディスク）**

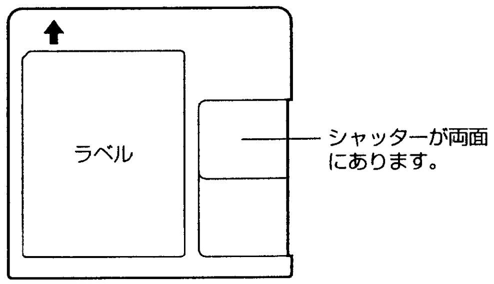
再生のみが可能なディスクで、市販の音楽ソフトはこのタイプです。また、CDと同じ光ディスクです。
再生は録音用MDと共通の光学ピックアップでおこないます。




**録音用MD（ミニディスク）**

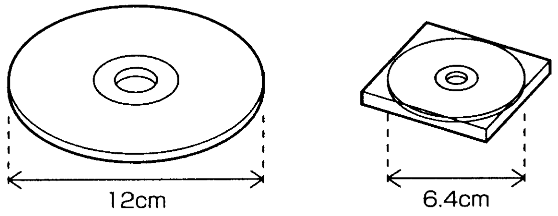
録音もできるいわゆる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使用しており、レーザーと磁気で記録しています。
くり返して録音することができます。
録音用MDには2種類あります。

- 60分用
- 74分用




### 音声圧縮技術「ATRAC」

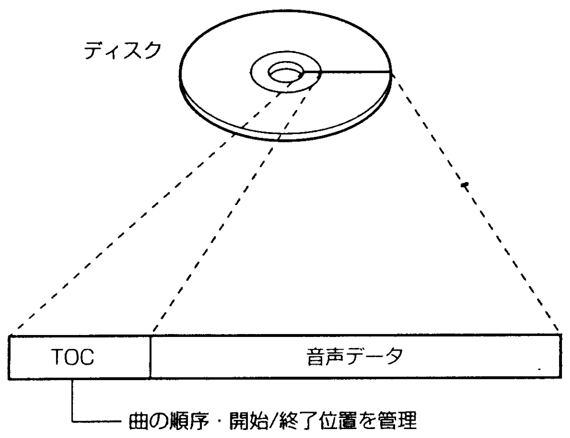
MDの直径はCDの約半分でありながら記録できる長さはほぼ同じです。それは、新しく開発された音声圧縮技術「ATRAC：Adaptive TRansform Acoustic Coding」によって可能になりました。ATRACは、人の耳には聴こえない音をカットして音楽データを約1／5に圧縮します。聴覚心理学に基づいて、データが取捨選択されるので、聴感上の音質が損なわれることはありません。





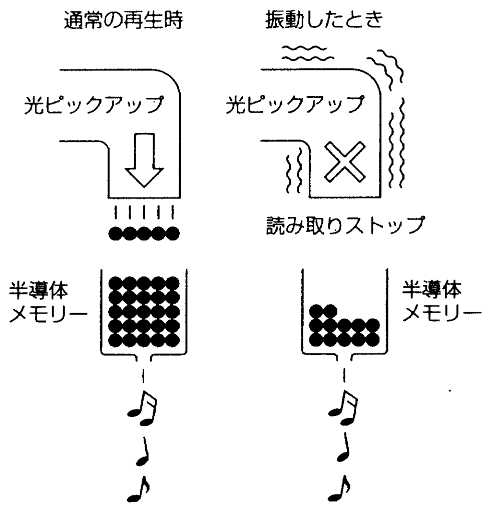

### 高速アクセス

MD（ミニディスク）の大きな特長は、選曲性の良さ、高速で目的の曲の頭出しができることです。しかも録音用ミニディスクでは、頭出しのみならず録音した曲の編集もすばやくおこなえます。これは曲の情報（開始位置・終了位置・順序など）をすべて「TOC：Table Of Contents」と呼ばれる領域で管理しているからです。この領域は音楽データとは別に存在しているので、TOCの情報を変更するだけで編集が可能になります。たとえば、テープで曲を消去するためには、消したい曲の頭から終わりまで無音で録音し直さなければなりません。これに対してMDの場合は、TOCの情報を書き換えるだけで曲を簡単に消去することができます。




### 音とびガードメモリー

従来の光・光磁気ディスクの弱点は、振動に弱く音とびしやすいことでしたが、MDでは新開発の耐振技術音とびガードメモリーを採用し、耐振性を大幅に向上させました。音とびガードメモリーとは、ディスクから読み取られたデータをすぐに再生するのではなく、一度半導体メモリーに約10秒間の情報を蓄積します。もし、再生中に振動などにより光学ピックアップが、データを一時的に読み取れなくなっても、半導体メモリーにデータが蓄えられているので、蓄積されたデータを送ることによって音が途切れることなく再生することができます。すなわち、半導体メモリーに蓄えられたデータがなくなる前に、光学ピックアップによるデータの読み取りが再開すれば、音とびは発生しないことになります。



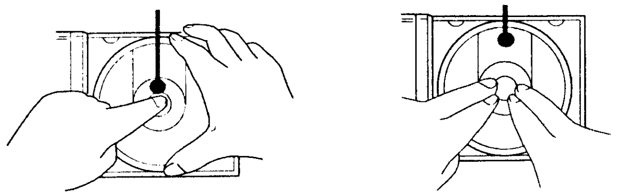

その他

# CD・MD・テープの取扱いと保管

☞つづく

## CDの取扱いと保管

ケースからの出し入れは




- レーベル面に紙を貼ったり字を書いたりしない。
- CDは曲げない。

### CDの保管について

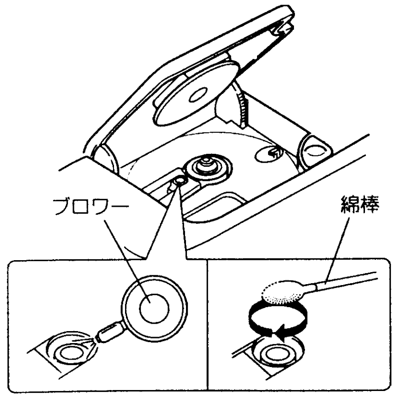
必ず専用ケースに入れて保管してください。
直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かないでください。

### 本機を持ち運びするときは

- CDを必ず取り出してください。
  入れたまま持ち運びすると、CDに傷をつけたり、故障の原因になります。

## ピックアップ（レンズ）のクリーニング

ディスク装着部のレンズが汚れますと、音とびが起きたり、演奏ができなくなったりします。

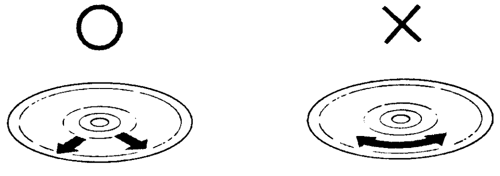



ほこりなどは、市販のブロワーでレンズを2、3回吹き、先のブラシでほこりをはき出します。
指紋などのよごれは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけて、レンズの中心から外に向かってぐるりとふきます。

- 本機の近くでヘアースプレーや加湿器を使用しないでください。レンズがくもったりすることがあります。

## CDのお手入れ

演奏する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
CDは必ず矢印方向にふいてください。

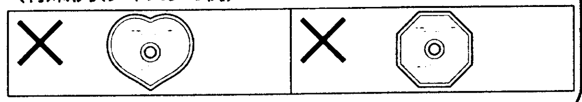



**シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーやスプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。**

**■ディスクについてのご注意**

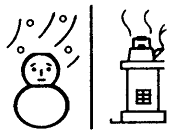
- **コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。**
- **ディスクレーベル面に disc のマークが入ったものなど、IEC規格に合致したものをご使用ください。**
- **ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。**

（特殊形状ディスクの例）



### 露（水滴）の発生について

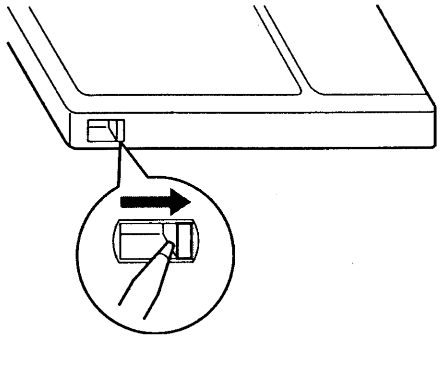
- 周囲の温度が急激に変化した場合、内部の光学レンズに露（水滴）が発生することがあり、この状態では正常にCDやMDの演奏ができないことがあります。このような場合、CDやMDを取り出してディスクぶたを開けたまま、使用される場所で約1時間放置した後、ご使用を開始してください。





## 録音したMDを誤って消さないために

MD側面についている誤消去防止つまみを矢印の方向に動かして、孔が開いた状態にします。録音したものは保護され、新しく録音ができなくなります。



**再び、録音や編集をするときは**

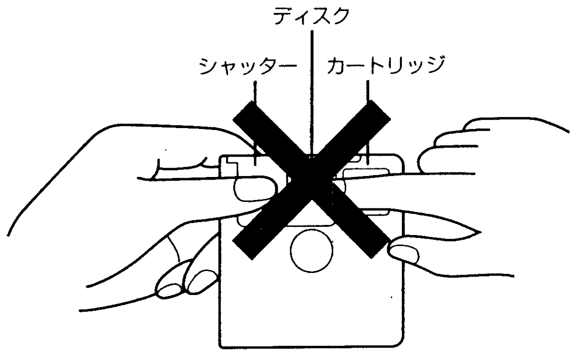
誤消去防止つまみをもとに戻し、孔を閉じた状態にします。

## MDの取扱いと保管

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ほこり・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取扱えるようになっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ぼこりやカートリッジのよごれやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことに注意してください。

**ディスクに直接触れない**

- シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターは無理に開けるとこわれます。



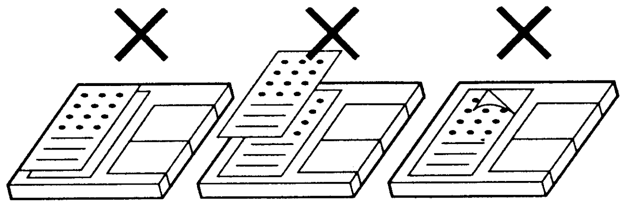

### MDの保管について

必ず専用ケースに入れて保管してください。
直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所や湿度の高い所には置かないでください。
また、砂浜などカートリッジの中に砂やほこりが入りやすい場所には放置しないでください。

## MDにラベルを貼り付けるときのご注意

MDカートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。
  （指定エリア以外には貼り付けないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。




## MDのお手入れ

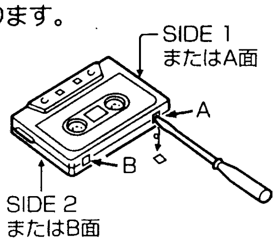
カートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた柔らかい布でふきとってください。

**シンナーやベンジン、スプレー静電防止剤などは絶対に使用しないでください。**

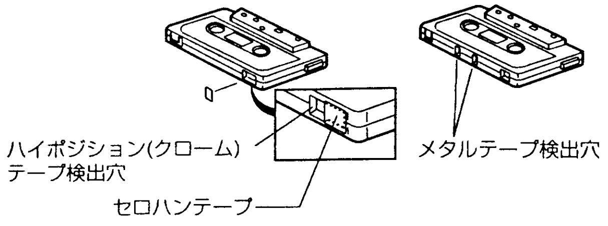
## 録音したテープを誤って消さないために

カセットテープの後ろ側にあるツメをドライバーなどで折れば誤消去の防止になります。

SIDE1またはA面…ツメA
SIDE2またはB面…ツメB




誤って折ったり、再び録音したいときは、セロハンテープなどで穴をふさぐと録音できるテープに復元します。ただし、クロームテープまたはメタルテープ検出穴はふさがないでください。



# CD・MD・テープの取扱いと保管

## カセットテープの保管

ご使用後は所定のケースに入れ、高温多湿、磁気、直射日光、チリ・ホコリの多い場所やカビの発生しやすい場所はさけて保管してください。

## テープヘッド部の清掃

### テープを再生または録音すると……

- 音が悪い
- きれいに録音できない
- 前の音が残っている
- テープが巻きつく

などの症状が出た場合、その多くはヘッドやピンチローラーおよびキャプスタンの汚れが原因となっていますので、市販のクリーニングテープをお買い求めの上、ヘッド部の清掃をしてください。清掃はできるだけ早い目に（約10時間程度使用ごとに）おこなってください。

### ヘッドの消磁

長い間使用していると、ヘッドが磁化されて雑音が入ったり、音質が悪くなったりします。市販のイレーサー（消磁器）をお買い求めのうえ、定期的にヘッドの消磁をしてください。

## キャビネットのクリーニング

やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、石けん水を少し布につけてふきとり、からぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

## 著作権について

- 放送やMD、CD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従ってそれらから録音したMDやテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）におたずねください。

社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）

〒105 東京都港区西新橋1-7-13 TEL(03)3502-6551(大代表) FAX(03)3508-8183

●北海道支部（業務地域　北海道）
〒060　札幌市中央区北1条西3-2　大和銀行札幌ビル
TEL（011）221-5088（代表）FAX（011）221-1311
●盛岡支部（業務地域　岩手・青森・秋田）
〒020　盛岡市盛岡駅前通15-20　ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL（019）652-3201（代表）FAX（019）652-4010
●仙台支部（業務地域　宮城・山形・福島）
〒980　仙台市青葉区中央2-1-7　仙台三和ビル
TEL（022）264-2266（代表）FAX（022）265-2706
●長野支部（業務地域　長野）
〒380　長野市南千歳2-12-1　日本団体生命長野ビル
TEL（026）225-7111（代表）FAX（026）223-4767
●大宮支部（業務地域　埼玉・栃木・群馬・新潟）
〒331　大宮市桜木町1-7-5　ソニックシティビル
TEL（048）643-5461（代表）FAX（048）643-3567
●上野支部（業務地域　東京都23区の城東地区・茨城）
〒110　東京都台東区上野2-7-13　交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL（03）3832-1033（代表）FAX（03）3832-1040
●東京支部（業務地域　東京都23区の東部・千葉）
〒104　東京都中央区銀座1-15-6　共同ビル銀座1丁目
TEL（03）3562-4455（代表）FAX（03）3562-4457
●西東京支部（業務地域　東京都23区の西部）
〒160　東京都新宿区新宿5-17-5　新宿中央ビル
TEL（03）3232-8301（代表）FAX（03）3232-7798
●東京イベント・コンサート支部（業務地域　東京都・千葉・茨城・山梨）
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160　東京都新宿区新宿5-17-5　新宿中央ビル
TEL（03）5286-1671（代表）FAX（03）5286-1670
●立川支部（業務地域　東京都の市・郡部・山梨）
〒190　立川市曙町2-22-20　立川センタービル
TEL（0425）29-1500（代表）FAX（0425）29-1515
●横浜支部（業務地域　神奈川）
〒231　横浜市中区本町1-3　綜通横浜ビル
TEL（045）662-6551（代表）FAX（045）662-6548
●静岡支部（業務地域　静岡）
〒420　静岡市御幸町11-30　エクセルワード静岡ビル
TEL（054）254-2621（代表）FAX（054）254-0285
●中部支部（業務地域　愛知・岐阜・三重）
〒450　名古屋市中村区名駅2-45-7　松岡ビル
TEL（052）583-7590（代表）FAX（052）583-7594
●北陸支部（業務地域　石川・富山・福井）
〒920　金沢市香林坊2-3-25　金沢日産生命ビル
TEL（0762）21-3602（代表）FAX（0762）21-6109
●京都支部（業務地域　京都・滋賀・奈良）
〒600　京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8　京都三井ビル
TEL（075）251-0134（代表）FAX（075）251-0414
●大阪支部（業務地域　大阪南部・和歌山）
〒542　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-0351（代表）FAX（06）244-1970
●大阪北支部（業務地域　大阪北部）
〒542　大阪市中央区南船場4-3-11　豊田ビル
TEL（06）244-7077（代表）FAX（06）244-1970
●神戸支部（業務地域　兵庫）
〒650　神戸市中央区海岸通6番地　建隆ビルII
TEL（078）322-0561（代表）FAX（078）322-0975
●中国支部（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730　広島市中区胡町4-21　朝日生命広島胡町ビル
TEL（082）249-6362（代表）FAX（082）246-4396
●四国支部（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛）
〒760　高松市寿町2-2-10　住友生命高松寿町ビル
TEL（0878）21-9191（代表）FAX（0878）22-5083
●九州支部（業務地域　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812　福岡市博多区博多駅前2-1-1　福岡朝日ビル
TEL（092）441-2285（代表）FAX（092）441-4218
●鹿児島支部（業務地域　鹿児島・宮崎）
〒892　鹿児島市東千石町1-38　アイムビル
TEL（099）224-6211（代表）FAX（099）224-6106
●那覇支部（業務地域　沖縄）
〒900　那覇市久茂地1-3-1　久茂地セントラルビル
[illegible]



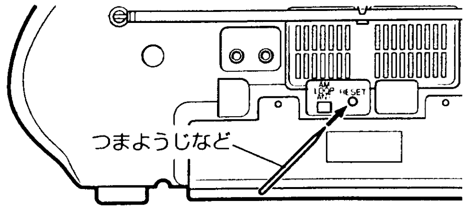
# 故障？その前にちょっとこれを！

つづく

操作を誤っていてもなかなか気がつかず、すぐ故障と思いがちですが、修理にお持ちになる前にもう一度次の点をお確かめください。それでも異常のある場合は、電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店へご連絡ください。

| | こんなときは | ここをお確かめください |
|---|---|---|
| CD関係 | 演奏がはじまらない | ● CDの位置がズレていませんか？ 25ページ<br>● CDを表裏逆に入れていませんか？ 25ページ<br>● CDに露がついていませんか？ 101ページ<br>● CDに傷がありませんか？ 25ページ<br>● CDスタビライザーを使用していませんか？ 25ページ<br>● CDを2枚重ねにしていませんか？ 25ページ |
| | 特定の箇所が正しく演奏されない | ● CDが汚れていませんか？ 101ページ<br>● CDに傷がありませんか？ 25ページ |
| MD関係 | 操作できない | ●「TOC」表示が点滅していませんか？ 64ページ<br>●「TOC READ」中ではないですか？ 64ページ |
| | 録音ができない | ● MDが誤消去防止状態になっていませんか？ 102ページ<br>● 再生専用MD（市販のソフトMD）を録音しようとしていませんか？ 99ページ |
| | 演奏がはじまらない | ● MDに露が付いていませんか？ 101ページ<br>● MDに傷がありませんか？ 105ページ |
| | 特定の箇所が正しく演奏されない | ● MDが汚れていませんか？ 102ページ<br>● MDに傷がありませんか？ 105ページ |
| テープ関係 | 録音ができない | ● テープの誤消去防止用のツメが折れていませんか？ 103ページ |
| | 自動頭出しでテープが停止しない | ● テープに無録音部分がつくられていますか？ 35ページ<br>● 無録音部分のスペースは約4秒以内になっていませんか？ 35ページ<br>● 曲間に雑音などが録音されていませんか？ 35ページ |
| その他 | 操作できない | ● 本機が露付き状態になっていませんか？ 101ページ<br>（約1時間待ってから操作してください。） |
| | タイマーが動作しない | ● 本機の電源が入っていませんか？ 電源ボタンを押して電源を切る 87ページ |
| リモコン関係 | リモコンで操作できない、または操作できても正常に動作しない | ● リモコンの乾電池は正しく挿入されていますか？ 18ページ<br>● 乾電池が消耗していませんか？ 18ページ<br>● CDやテープはセットされていますか？ 25、33ページ<br>● リモコンと本体との距離が離れすぎていたり、途中に障害物がありませんか？ 93ページ<br>● リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に正しく向けていますか？ 93ページ<br>● リモコンの受光部に強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）が当たっていませんか？ 93ページ |

**お願い**
- 表示や動作が異常になったときや、全てのメモリーした内容を消したい場合は、一度電源を切ってから背面のRESETボタンを押してください。この場合、時計や各種メモリーの設定をやり直してください。
- 「TOC」表示が点灯しているときは、RESETボタンを押さないでください。正しいMD再生ができなくなります。




### ON-OFFタイマーを解除したいとき

表示部に「◴」または「◴ REC」表示が点灯しているときはタイマーが動作待機状態になっています。
解除方法については P90 をごらんください。

## MD部エラー表示一覧表

表示部にエラー表示が出たときは、下記の表に従ってチェックしてください。

| 表　示 | 意　味 | このようにしてください |
|---|---|---|
| ノー ディスク<br>NO DISC | MDが入っていない。<br>または、データが読めない。 | MDを入れる。<br>または、もう一度入れ直す。 |
| ディスク エラー<br>DISC ERROR | ディスクにキズがついているためTOC情報が書き込めない。 | 他のMDと取り換える。 |
| ディスク<br>? DISC | データに異常がある。 | ALL ERASEしてみる、MDを入れ直してみるまたは、他のMDと取り換える。 |
| トック エラー<br>TOC ERROR | ディスクにキズがある、あるいはTOC情報が読めない。 | MDを入れ直してみる、MDを入れ直してみるまたは、他のMDと取り換える。 |
| ディスク フル<br>DISC FULL | ディスク上に録音できる空きがない。 | 他の録音用MDと取り換える。 |
| ブランク<br>BLANK MD | なにも記録されていない。<br>(音楽もディスク名も記録されていない。) | 再生するときは、録音されたMDと取り換える。 |
| プレイ オンリー<br>PLAY ONLY | 再生専用MDに録音や編集をしようとした。 | 録音用MDと取り換える。 |
| プロテクテッド<br>PROTECTED | MDが誤消去防止状態になっている。 | 誤消去防止ツマミをもとに戻す。 |
| トラック プロテクト<br>TRKPROTECT | 他のMDレコーダーでトラックプロテクト(曲の誤消去、編集防止)をかけた曲を編集しようとした。 | 誤消去防止状態に設定したMDレコーダーで編集をしてください。 |
| トック フル<br>TOC FULL | 曲番を登録する空きがない。 | 他の録音用MDと取り換える。 |
| キャント レコード<br>CAN'T REC | ショックなどで正しく録音できなかった。<br>または、ディスク上の録音できる空きが足りない。 | 録音をやり直す。または、他の録音用MDと取り換える |
| テンプ オーバー<br>TEMP OVER | 温度が高くなりすぎた。 | 電源を切ってしばらく休ませる。 |
| キャント エディット<br>Can't EDIT | 編集できない。 | 曲の停止位置を変えて、編集し直してみてください。 |
| ネーム フル<br>NAME FULL | ディスク名/曲名が100文字をこえている。<br>または、ディスクに入力されている文字数が約1700文字をこえている。<br>カタカナを多く入力しているディスクでは各制限文字数より少なくてもエラー表示する場合もある。 | ディスク名/曲名を短くしてください。 |
| ディフェクト<br>DEFECT | ディスクにキズがあるため、録音がとぎれる。 | 他の録音用MDと取り換える。 |
| キャント コピー<br>CAN'T COPY | コピー禁止またはデータCDから録音しようとした。 | コピー可能なもの(一般のCDなど)に換えてください。 |
| プッシュ イジェクト<br>PUSH EJECT | MDが正しく働いていません。 | MD取出しボタンを押してください。 |



## ミニディスクのシステム上の制約

ミニディスクは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状が出ることがあります。
これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。

| 症　状 | 制　約　事　項 |
|---|---|
| ● ミニディスクの最大録音時間に満たなくても"TOC FULL"が表示されることがある。 | MDシステムでは、TOCにディスク上の録音場所の区切りが登録されます。<br>何度も部分的に消去して録音をしたり、編集をくり返すと、曲数が最大(254曲)にならなくても、TOCの情報がいっぱいになり、録音できなくなります。<br>(このようなディスクは、ALL ERASE(オール イレース)機能を行なえば最初から使用できます。) |
| ● ミニディスクの最大録音時間に満たなくても"DISC FULL"が表示されることがある。 | ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。 |
| ● 短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある。 | ディスクの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の短い曲などは曲として数えられません。<br>このため、短い曲を消しても録音の残り時間が増えないことがあります。 |
| ● ディスクに録音した時間と残り時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある。 | 通常は、1クラスタ(約2秒)を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。<br>また、ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。<br>(録音中に"DEFECT(ディフェクト)"と表示され、MDの曲番が自動的に増えます。) |
| ● 編集で曲と曲をつなぐことができないことがある。 | 録音・編集をくり返しておこなったミニディスクではコンバイン機能を使えないことがあります。<br>また、CD、MDなどから録音した曲(デジタル録音)とラジオやテープなどから録音した曲(アナログ録音)をつなぐことはできません。また、モノラル録音した曲とステレオ録音した曲はつなぐことはできません。 |
| ● 録音された曲を早送り/早戻し再生すると、音がとぎれることがある。 | 録音・編集をくり返して行ったミニディスクでは、音がとぎれることがあります。 |

**ご注意**
- 本機のCDから録音したMD(デジタル入力)を、さらに他の機器を使ってデジタル入力で録音することができないしくみになっています。これは、SCMS(シリアルコピーマネジメントシステム)により定められた規格です。(アナログ入力による録音はできます。)
- CDからMDに録音したときに時間が異なることがあります。

# 保証とアフターサービス

## ■保証について

● この製品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

● 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

## ■補修用性能部品の保有期間について

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## ■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、次のことをお知らせください。

① 形名：CX-MD100
② 症状：できるだけくわしく
③ 道順：付近の目印も

## ■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

## ■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙（黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」）のご相談窓口にお問い合わせください。



# 仕様

| MDレコーダー部 | |
|---|---|
| ワウ・フラッター | 測定限界以下 |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz |
| コーディング | ATRAC<br>（Adaptive TRansform Acoustic Coding） |
| 録音方式 | 磁界変調オーバーライト方式 |

| CDプレーヤー部 | |
|---|---|
| ワウ・フラッター | 測定限界以下 |
| サンプリング周波数 | 44.1kHz |
| 復号化 | 16ビット直線 |
| エラー訂正方式 | CIRC<br>（クロスインターリーブリードソロモンコード） |
| ピックアップ | 光学式3ビーム半導体レーザー<br>（波長790nm） |

| テープレコーダー部 | |
|---|---|
| トラック方式 | 4トラック　2チャンネル　ステレオ |
| 録音方式 | 交流バイアス |
| 消去方式 | 交流消去 |
| テープ速度 | 4.8cm／秒 |
| 録音時間 | 往復60分（C-60） |
| 早送り・巻き戻し時間 | 110秒（C-60） |
| 周波数範囲 | ノーマルテープ 40～14,000Hz<br>ハイポジション（クローム）テープ 40～15,000Hz<br>メタルテープ　40～16,000Hz（再生のみ） |

| チューナー部 | |
|---|---|
| 受信周波数 | TV：1～3ch<br>FM：76～90MHz<br>AM：522～1,629kHz |
| アンテナ | TV／FM：ロッドアンテナ<br>AM：専用AM用ループアンテナ（付属） |

| 時計部 | |
|---|---|
| 精度 | 月差　約±30秒（周囲温度15℃にて） |
| 表示方式 | 年、月、日、時、分 |
| 電源 | AC 100V、50／60Hz |
| 停電保持時間 | 約50分 |
| 水晶振動数 | 32,768Hz |

| 共通部 | |
|---|---|
| スピーカー | 8cm　円形　3Ω×2 |
| 実用最大出力 | 7.0W+7.0W（EIAJ／AC） |
| 入力端子 | MIXING MIC端子（ミニジャック）×1<br>適合マイクインピーダンス 200～600Ω、入力感度 3mV<br>LINE IN端子（ステレオミニジャック）×1<br>入力インピーダンス 47kΩ以上、<br>入力　HIGH 500mV<br>LOW 2V |
| 出力端子 | PHONES端子（ステレオミニジャック）×1<br>インピーダンス 32Ω |
| アンテナ端子 | AM用専用端子×1 |
| 電源 | AC 100V、50／60Hz |
| 消費電力 | 35W |
| 最大外形寸法 | 486（幅）×166（高さ）×291.3（奥行）mm<br>（つまみ等突起物含む。ハンドル含まず） |
| 質量 | 約5.9kg |
| 付属品 | 電源コード×1、リモコン×1<br>単3形乾電池×2本（リモコン用）<br>AM用ループアンテナ×1 |

※上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。